

市民ワークショップ（地域別意見交換会）第1回 開催結果

市民ワークショップ（地域別意見交換会）開催日程・・・ 1

市民ワークショップ（地域別意見交換会）第1回 参加者数・ 2

【A 川内・応神】

川内・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

応神・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

【B 国府・不動・北井上・南井上】

国府・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

不動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

北井上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

南井上・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19

【C 入田・上八万】

入田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

上八万・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25

【D 多家良】

多家良・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

【E 昭和・津田】

昭和・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

津田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

【F 渭北・渭東・沖洲】

渭北・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

渭東・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

沖洲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

【G 佐古・加茂・加茂名】

佐古・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49

加茂・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

加茂名・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55

【H 内町・新町・東富田・西富田】

内町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

新町・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 61

東富田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64

西富田・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67

【I 八万・勝占】

八万・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70

勝占・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74

市民ワークショップ（地域別意見交換会） 開催日程

該当地域		日時		場所
		第1回	第2回	
A	川内・応神	令和3年11月14日（日）	令和4年1月23日（日）	川内公民館
		10時00分から	10時00分から	
B	国府・不動・ 北井上・南井上	令和3年11月12日（金）	令和4年2月4日（金）	南井上 コミュニティセンター
		18時30分から	18時30分から	
C	入田・上八万	令和3年11月19日（金）	令和4年2月18日（金）	一宮 コミュニティセンター
		19時00分から	19時00分から	
D	多家良	令和3年11月6日（土）	令和4年1月29日（土）	多家良中央 コミュニティセンター
		10時00分から	10時00分から	
E	昭和・津田	令和3年10月31日（日）	令和4年2月13日（日）	津田 コミュニティセンター
		10時00分から	10時00分から	
F	渭北・渭東・沖洲	令和3年10月26日（火）	令和4年1月19日（水）	沖洲 コミュニティセンター
		19時00分から	19時00分から	
G	佐古・加茂・加茂名	令和3年11月26日（金）	令和4年2月15日（火）	加茂 コミュニティセンター
		19時00分から	19時00分から	
H	内町・新町・ 東富田・西富田	令和3年10月29日（金）	令和4年1月21日（金）	徳島市役所
		19時00分から	19時00分から	
I	八万・勝占	令和3年11月22日（月）	令和4年2月7日（月）	八万中央 コミュニティセンター
		19時00分から	19時00分から	

市民ワークショップ（地域別意見交換会） 第1回 参加者数

地域		A			B				C			D		E			F				G			H				I			合計	割合				
地区名		川内	応神	計	国府	不動	北井上	南井上	計	入田	上八万	計	多家良	計	昭和	津田	計	渭北	渭東	沖洲	計	佐古	加茂	加茂名	計	内町	新町	東富田	西富田	計			八万	勝占	計	
参加人数		17	5	22	8	4	4	5	21	6	19	25	19	19	8	11	19	5	4	6	15	7	6	5	18	8	5	8	7	28	11	8	19	186	-	
性別	男	15	3	18	8	4	3	4	19	5	13	18	15	15	7	8	15	5	4	4	13	5	5	5	15	5	5	6	6	22	5	5	10	145	78.0%	
	女	2	2	4	0	0	1	1	2	1	6	7	4	4	1	3	4	0	0	2	2	2	1	0	3	3	0	2	1	6	6	3	9	41	22.0%	
年代	30歳代		0	0					0			0					0			1	1				1	1	1			2	1	1	5	2.7%		
	40歳代	1		1			1	1	2			0	2	2			0	1		1	2	1			1	2	1	2		5	1	1	14	7.5%		
	50歳代	1		1					0		1	1	3	3			0	1			1	2			2	3			3	6	2		2	16	8.6%	
	60歳代	5	2	7	2	2	1		5	1	1	2	9	9	1	5	6	3	1	1	5	2			1	3	1		3	1	5	3	4	7	49	26.3%
	70歳代	9	3	12	5	2	2	3	12	5	12	17	4	4	7	4	11			2	3	5		4	4	8	1	3	3	3	10	2	2	4	83	44.6%
	80歳以上	1		1	1			1	2		5	5		0		2	2		1		1	1	2			3					0	4		4	18	9.7%
	不明			0					0			0	1	1			0				0				0					0			0	1	0.5%	
電話、メールによる参加申込				0	2				2			0	6	6			0				0				0					0			0	8	-	
アンケート調査者からの参加申込				0					0			0	2	2			0	1			1				0				1	1		2	2	6	-	

A:川内地区

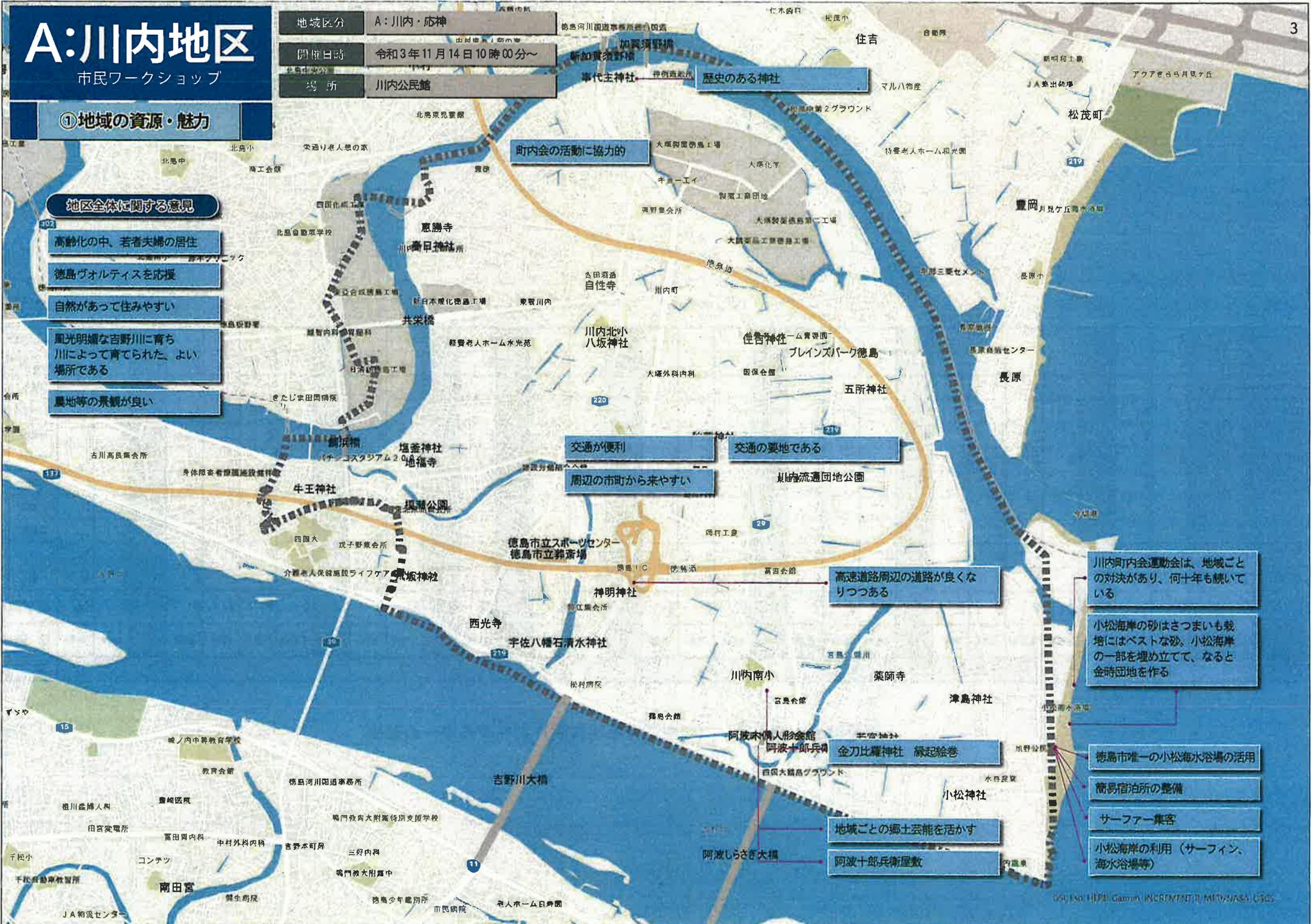
市民ワークショップ

地域区分 A:川内・応神
 開催日時 令和3年11月14日10時00分～
 場所 川内公民館

①地域の資源・魅力

地区全体に関する意見

- 高齢化の中、若者夫婦の居住
- 徳島ヴォルティスを応援
- 自然があって住みやすい
- 風光明媚な吉野川に育ち川によって育てられた、よい場所である
- 農地等の景観が良い



町内会の活動に協力的

歴史のある神社

交通が便利
 周辺の市町から来やすい

交通の要地である

高速道路周辺の道路が良くなりつつある

川内町内会運動会は、地域ごとの対決があり、何十年も続いている

小松海岸の砂はさつまいも栽培にはベストな砂。小松海岸の一部を埋め立てて、なんと金時畑地を作る

徳島市唯一の小松海水浴場の活用

簡易宿泊所の整備

サーファー集客

小松海岸の利用（サーフィン、海水浴場等）

金刀比羅神社 縁起絵巻

地域ごとの郷土芸能を活かす

阿波十郎兵衛屋敷

A:川内地区

市民ワークショップ

地域区分 A:川内・応神
開催日時 令和3年11月14日10時00分～
場所 川内公民館

②地域の課題

地区全体に関する意見

バスの時間と区間が使いにくい

コミュニティ、福祉バス、タクシーの利便性が悪い

バス停がなく病院、買物等に不便である

免許返納に対応する公共交通機関の整備

児童館がない(子どもの居場所)

店が少ない

大型の商業施設がない

コミュニティセンターがない

地元の祭りがなくなっている

低い土地が多いため、洪水対策が必要

トイレ・下水の整備が必要

防災死亡者ゼロ
避難路等の充実

緊急避難所の整備

新規住民の増加

町内会に加入しない家がある

若い人達が町内会の集まりに無関心である

子どもが少なく子育てづらい

流域下水が2市4町→1市4町に徳島市が除かれている

耕作放棄地と遊休地の増加

農家の高齢化と減少

高齢化 単身世帯の増加

高齢者ドライバーが増加市の政策で対応してほしい

高齢化(少子化)で団地は空き家

高齢化が進み、地域のつながりが少なくなった

空き家の管理をしてほしい

団地のうち約4割が空き家
空き家の増加、住民の減少

堤防工事が進んでいない

公園が少ない(川内北小)

北小学校の周りに住宅は増えてほしくない

町中にはバス停がなく、久木あるいは北島町鯛浜まで行くのが大変不便である

交差点の危険性が高い

ワンルームが多く1人暮らしの老人が入居しているので心配

学生用マンションに高齢者が入居することが増えている

市道の整備が遅れて、迷路のような道が多い

川の近いので防災面が心配

避難場所までのルート・時間が不安

公園が少ない(川内北小)

北小学校の周りに住宅は増えてほしくない

交差点の危険性が高い

市道の整備が遅れて、迷路のような道が多い

川の近いので防災面が心配

避難場所までのルート・時間が不安

バスの便(回数)少ない

小松、旭野、下別宮経由の循環バス

阿波十郎兵衛屋敷(観光資源)周辺の整備をしてほしい

県の施設のイベント情報が地区に知らされない

文化財の情報発信が出来ていない

東環状線が開通後、車のスピードが速く事故が心配

津波避難・川内南小・阿波しらさぎ大橋

釣り公園をつくってほしい

A:川内地区

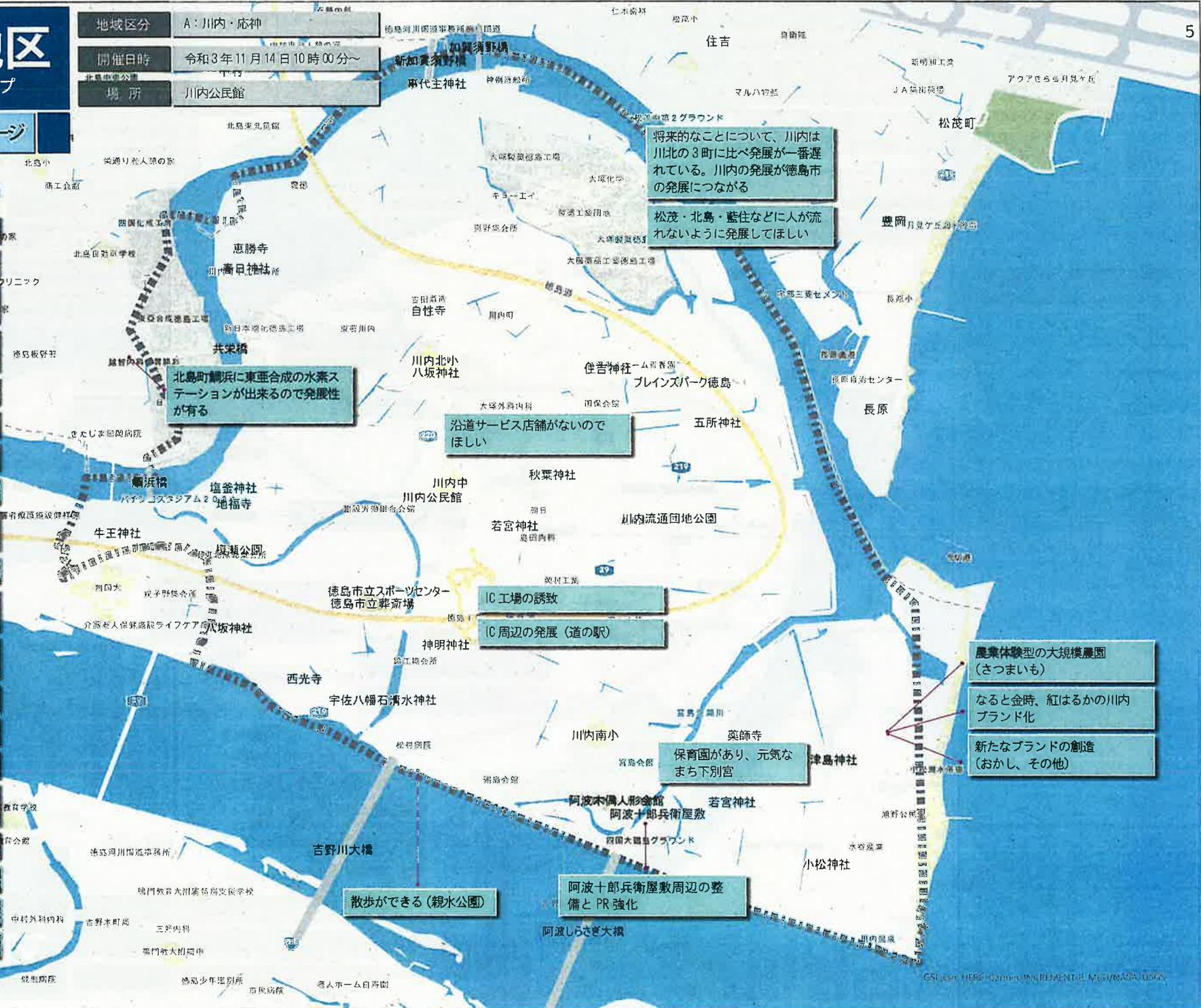
市民ワークショップ

地域区分	A:川内・応神
開催日時	令和3年11月14日10時00分～
場所	川内公民館

③住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

- 都市計画法・農地法改正
- ゆったりした生活
- 子ども、高齢者にやさしいまち(安全面で)
- 文化的なことに力を入れたまちづくり
- 健康づくりに力を入れる
- 文化財(88石仏、三十三石観音像)
- 安否確認やあいさつ
- 程よいコミュニティを
- 人と人のつながりのある地域(住宅の増加)
- 町民が集えるまち
- 様々な人が、安全で安心して暮らせるまち
- 皆が行ける)来れる町(通過だけでない)
- 散策できるマップ作成
- 節度のある商業施設の整備
- 道の駅が欲しい
- 農業地域の中にある良好な住宅地づくり
- 循環バスの整備(ルート増加)
- 川内町全体を通るバスルート
- 公共交通機関がしっかりしている
- 公共下水道の整備



将来的なことについて、川内は川北の3町に比べ発展が一番遅れている。川内の発展が徳島市の発展につながる

松茂・北島・藍住などに人が流れないように発展してほしい

北島町鯛浜に東亜合成の水素ステーションが出来るので発展性がある

沿道サービス店舗がないのでほしい

IC工場の誘致
IC周辺の発展(道の駅)

農業体験型の大規模農園(さつまいも)
なると金時、紅はるかの川内ブランド化
新たなブランドの創造(おかし、その他)

散歩ができる(親水公園)

阿波十郎兵衛屋敷周辺の整備とPR強化

保育園があり、元気なまち下別宮

川内地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 町内会の活動
 - ・イベント（運動会）が盛んで協力的
- 交通利便性
 - ・高速道路周辺の道路整備が進展
- 歴史文化資源
 - ・金刀比羅神社、事代主神社、阿波十郎兵衛屋敷、郷土芸能等
- 自然環境が良く住みやすい
 - ・吉野川や農地の景観
 - ・市内唯一の小松海岸（海水浴、サーフィン等）
- 若者の定住
- さつまいも栽培が盛ん

【地域に起こっている変化や課題】

- 道路・公共交通・交通安全対策の充実
 - ・交差点で危険な箇所がある
 - ・市道整備の遅れ（迷路のような道路）
 - ・東環状線の開通後、スピードを出す車が増え事故が心配
 - ・バス便が少ない、バス停の不足、ルートが不便
 - ・高齢者ドライバーの増加
- 生活を支える都市基盤の不足
 - ・公園が少ない
 - ・下水道が未整備
- 逃げ遅れ防止を含む防災対策の充実
 - ・津波に対し、避難場所までのルートや時間が不安
 - ・川が近く、低地であるため、洪水が心配
 - ・緊急避難場所の整備が必要
- 身近な生活施設の不足
 - ・大型の商業施設がない
 - ・コミュニティセンターがない
 - ・児童館など子どもの居場所となる施設がない
- 少子高齢化が顕著
 - ・子どもが少ない
 - ・学生用マンションへの単身高齢者の入居が増加
- 空き家や遊休地の増加
 - ・団地の高齢化が進行し空き家が発生（4割が空き家）
 - ・空き家の管理が必要
 - ・耕作放棄地の発生
 - ・農家の高齢化等による農業の衰退
- 歴史的文化的財の活用がされていない
 - ・情報発信が不足
 - ・駐車場等の周辺整備が必要
- 地域コミュニティの衰退
 - ・地元の祭りがなくなっている
 - ・高齢化により地域のつながりが希薄化
 - ・町内会に参加しない世帯がある

【住みたいまちのイメージ】

- 健康でゆったりした生活ができるまち
 - ・農業環境と調和した住宅地の形成
 - ・公共下水道の整備
- 地域コミュニティの活性化
 - ・子ども、高齢者にやさしいまち
 - ・人と人とのつながりのある地域
 - ・住民が集えるまち
- 子育て世代の定住
 - ・保育園があり、元気なまち
 - ・商業施設の整備
- 文化財等地域資源を活かしたまちづくり
 - ・阿波十郎兵衛屋敷周辺の整備とPR強化
 - ・88石仏、三十三石観音様
- 公共交通の充実と徳島IC周辺の活性化
 - ・循環バスの整備
 - ・川内町全体を通るバスルート
 - ・工場や集客施設の誘致
- 地域産業の振興
 - ・農業体験型の大規模農園（さつまいも）
 - ・なると金時・紅はるかかの川内ブランド化
 - ・新たなブランド製品の開発
 - ・水素ステーション（北島町）のまちづくりへの活用
- 歩いて楽しいまちづくり
 - ・散策マップの作成
 - ・散歩ができるまち（親水公園）

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の向上と居住環境の充実
 - ・身近な商業機能の充実
 - ・子育てしやすい環境づくり
 - ・円滑な交通を促すための道路網や公共交通の整備
 - ・空き家、遊休地の有効活用
 - ・農業環境の保全
 - ・生活排水等の環境対策
- 水と緑を活かした、歩いて楽しいまちづくり
 - ・小松海岸を核とした海辺のにぎわい拠点づくり
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用
 - ・農業を活かした交流活動の促進
 - ・次世代に向けた周辺3町（松茂町、北島町、藍住町）との連携
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・若者と高齢者が交流・連携する仕組みづくり
 - ・若い世代が参加したくなる仕組みづくり
 - ・地区外の多様な組織、団体、人との交流
- 浸水リスクの軽減、防災まちづくり
 - ・河川改修等の浸水対策
 - ・避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止

A: 応神地区

市民ワークショップ

地域区分	A: 川内・応神
開催日時	令和3年11月14日 10時00分～
場所	川内公民館

① 地域の魅力・資源 課題

地区全体に関する意見

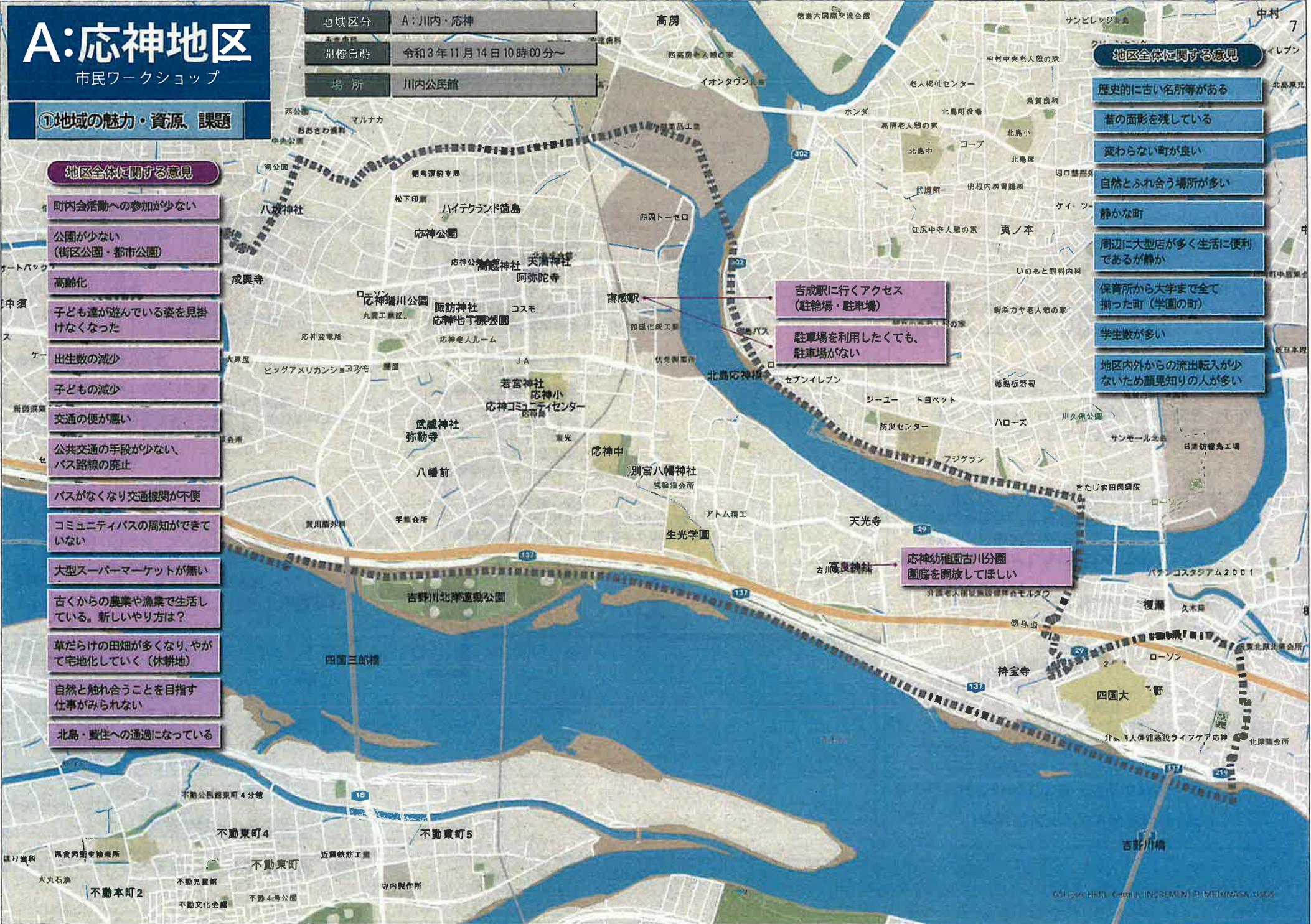
- 町内会活動への参加が少ない
- 公園が少ない
(街区公園・都市公園)
- 高齢化
- 子ども達が遊んでいる姿を見掛けなくなった
- 出生数の減少
- 子どもの減少
- 交通の便が悪い
- 公共交通の手段が少ない、バス路線の廃止
- バスがなくなり交通機関が不便
- コミュニティバスの周知ができていない
- 大型スーパーマーケットが無い
- 古くからの農業や漁業で生活している。新しいやり方は?
- 草だらけの田畑が多くなり、やがて宅地化していく(休耕地)
- 自然と触れ合うことを目指す仕事が見られない
- 北島・豊住への通過になっている

地区全体に関する意見

- 歴史的に古い名所等がある
- 昔の面影を残している
- 変わらない町が良い
- 自然とふれ合う場所が多い
- 静かな町
- 周辺に大型店が多く生活に便利であるが静か
- 保育所から大学まで全て揃った町(学園の町)
- 学生数が多い
- 地区内外からの流出転入が少ないため顔見知りの人が多い

吉成駅に行くアクセス(駐輪場・駐車場)
駐車場を利用したくても、駐車場がない

応神幼稚園古川分園
園庭を開放してほしい



A: 応神地区

市民ワークショップ

地域区分 A: 川内・応神
開催日時 令和3年11月14日 10時00分～
場所 川内公民館

② 住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

川を活かしたまちづくり

子どもの遊べる場所がほしい
(運動公園は大人のもの)

町民みんなが子育てに協力
できる町

町民の絆を大切に助け合える町

学園都市



応神地区におけるまちづくりの方向性 (案)

【地域の魅力や資源】

- 歴史的な文化がある
 - ・歴史的に古い名所等がある
 - ・昔の面影を残している
- 自然環境が充実している
 - ・自然とふれ合う場所が多い
- 地域コミュニティの繋がりががある
 - ・地区内外からの流出や転入が少ないため顔見知りの人が多い
 - ・静かなまち
 - ・変わらないまちが良い
- 生活利便性の充実
 - ・周辺に大型店が多く生活に便利であるが静か
- 充実した教育環境
 - ・保育所から大学まで全てそろったまち (学園のまち)
 - ・学生が多い

【地域に起こっている変化や課題】

- 吉成駅前等の整備
 - ・吉成駅に行くアクセスが不便
 - ・駐輪場、駐車場が不足
- 公共交通の不足
 - ・交通の便が悪い
 - ・バス路線の廃止により、公共交通の手段が少ない
 - ・コミュニティバスの周知ができていない
- 少子高齢化
 - ・高齢化
 - ・出生数の減少
 - ・子どもの減少
 - ・子ども達が遊んでいる姿を見掛けなくなった
- コミュニティ活動の減少
 - ・町内会活動への参加が少ない
- 子どもの遊び場の不足
 - ・公園が少ない (街区公園、都市公園)
 - ・園庭を開放してほしい (応神幼稚園古川分園)
- 大規模小売店の不足
 - ・大型スーパーマーケットがない
 - ・北島町、藍住町を目的地に、この地域は通過される
- 地域性を活かした新しい産業
 - ・古くからの農業や漁業で生活する人が多く新しい産業がない
 - ・自然と触れ合うことを目指す仕事が見られない
- 農業の衰退
 - ・休耕地の増加、宅地化

【住みたいまちのイメージ】

- 水辺や自然環境を活かした交流の場の形成
 - ・川を活かしたまち
 - ・子どもの遊べる場所がほしい
- 強いコミュニティに支えられた教育環境の充実
 - ・住民みんなが子育てに協力できるまち
 - ・住民の絆を大切に助け合えるまち
 - ・学園都市

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用
 - ・農業の活性化
- 生活利便性の向上
 - ・吉成駅前の駐輪場、駐車場の整備
 - ・大規模小売店の誘致
- 既存の交通ネットワークを活かした公共交通の整備
 - ・地域需要に応じたコミュニティバスの整備と周知
 - ・高齢者の移動を容易にする次世代モビリティに応じた環境整備
- 水と緑を活かした観光・交流空間の充実
 - ・水辺を活かした交流空間形成
 - ・水辺の歩行者空間のネットワーク化
 - ・水辺のにぎわい拠点づくり
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・子どもの見守り活動の推進
 - ・地域住民の間での交流促進
 - ・公園や広場の充実

B:国府地区

市民ワークショップ

地域区分 B: 国府・不動・北井上・南井上

開催日時 令和3年11月12日18時30分～

場所 南井上コミュニティセンター

① 地域の魅力・資源、課題

地区全体に関する意見

都市化混住化が進み浸水地域が増えている（排水路整備）

新しい住宅の増加

農地が少なくなっている、どこでも宅地が建っている

土地利用の規制が必要

必ずしも宅地化が良いとは限らない

都市施設の整備と市街化調整区域造成との時期

安心・安全面において、ハザードマップでは浸水深2m以上のエリアが広い

南北方向の幹線がない

店の元気がない

認定こども園がない

一人暮らしの家が多くなっている

人間関係が少なくなっている

年寄り若い人との接点がない

新しく入って来る人が町内会に入らない

都市計画道路がいつ出来るか分からない。昭和48年に決定している5本が今2本になっている

道路が狭いので車がかえて困っている

JR府中駅・駅舎が小型化・駐輪場が未整備

街路・下水などの投資不足

インフラの未整備

バス便が減り、公共交通の利用がしづらい

道路事情がよくない

幹線（R192）が未整備なので、渋滞・歩行が危険

舌洗池（ぜっせんいけ）地下水が湧き出ている。子ども達がたくさんザリガニ釣りに来ている

府中駅～R192の間の街路に通勤マイカーが集中しており、通学が危険

自然が多い

自然に恵まれている

空気がきれい

気延山

南環状線が通らない

南環状 道の駅

延命は限界集落 空き家 増

道路が狭い

生活道路に通過車両が入り危険

以西用水 月ノ輪 清らかな水 きれいな水

用水路が汚く臭い。大雨時に溢れる

歩いて暮らせないまち。整備が面的で駅周辺の中心が弱い

天狗久の資料がある

昔ながらの歴史文化

歴史と文化を誇るまち

阿波のまほろば・2000年の歴史・伝統文化

通路道

四国八十八ヶ所

四国八十八ヶ所 3ヶ所の整備及びお接待

歴史的な所

歩いて巡れるように整備 五ヶ所参り

八十八ヶ所札所が集中している観光資源として活用すべき一道の駅

豊玉姫を祭っている。王子和田津美神社はこじんまりした美しい神社

鮎喰川が残念 川に近付けない水に近付けない

天狗久の資料がある

昔ながらの歴史文化

歴史と文化を誇るまち

阿波のまほろば・2000年の歴史・伝統文化

通路道

四国八十八ヶ所

四国八十八ヶ所 3ヶ所の整備及びお接待

歴史的な所

歩いて巡れるように整備 五ヶ所参り

八十八ヶ所札所が集中している観光資源として活用すべき一道の駅

地区全体に関する意見

昔ながらの歴史文化

歴史と文化を誇るまち

阿波のまほろば・2000年の歴史・伝統文化

通路道

四国八十八ヶ所

四国八十八ヶ所 3ヶ所の整備及びお接待

歴史的な所

歩いて巡れるように整備 五ヶ所参り

八十八ヶ所札所が集中している観光資源として活用すべき一道の駅

ホテルがある

新しい分譲地が増えている

・静か・散歩・緑

災害が少ない

支援学校・障害者等施設が多く増えている

B:国府地区

市民ワークショップ

②住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

徳島市西部地域 副核
(住みやすい、子育て)

歩いて暮らせるまちにしたい

安心 安全のまち

交通が便利

買物がしやすい

教育・福祉

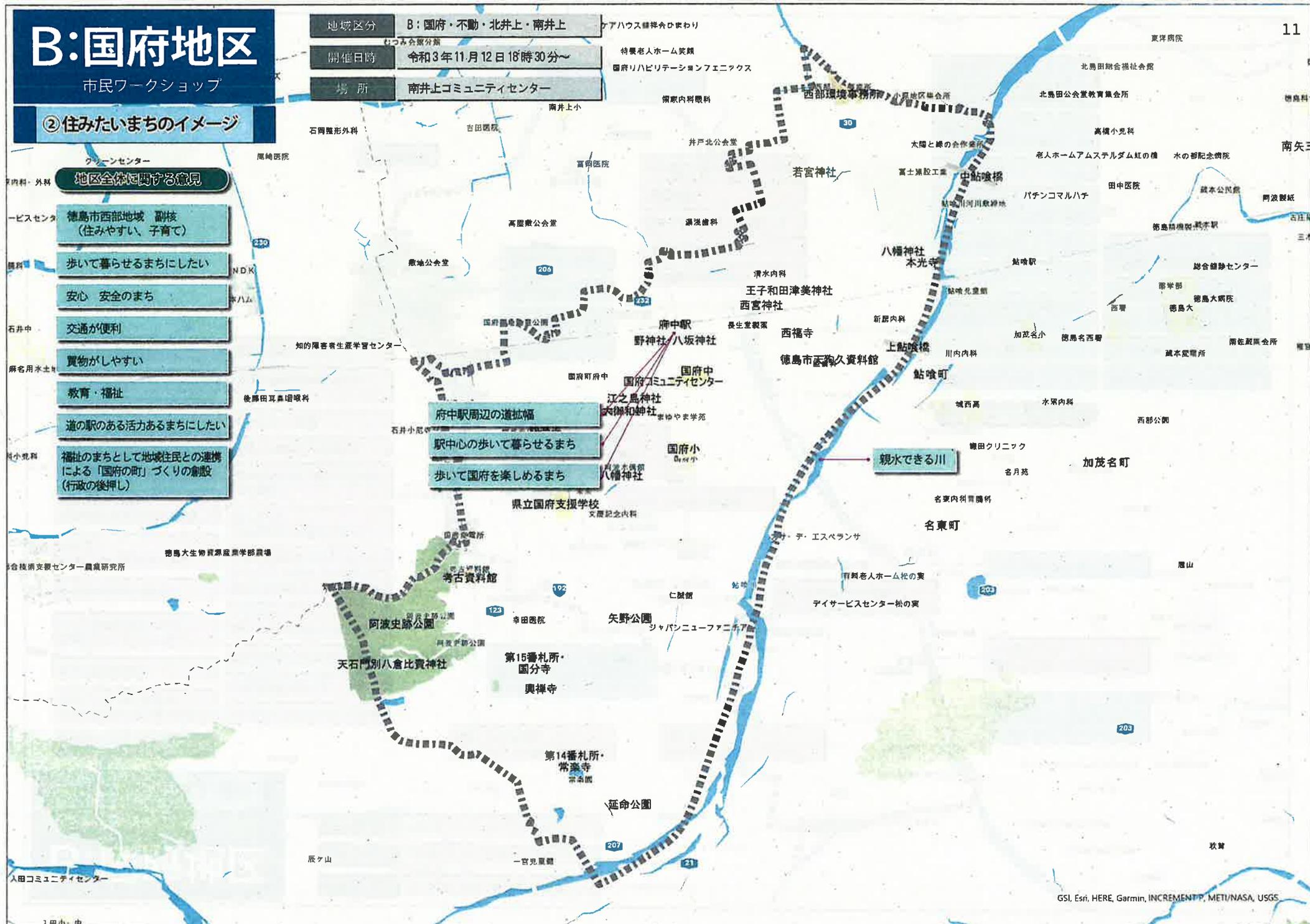
道の駅のある活力あるまちにしたい

福祉のまちとして地域住民との連携
による「国府の町」づくりの創設
(行政の後押し)

地域区分	B:国府・不動・北井上・南井上
開催日時	令和3年11月12日18時30分～
場所	南井上コミュニティセンター

- 府中駅周辺の道拡幅
- 駅中心の歩いて暮らせるまち
- 歩いて国府を楽しめるまち

親水できる川



国府地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 豊かな水と緑の景観資源
 - ・きれいな水
 - ・自然に恵まれている
 - ・空気がきれい
 - ・静かで緑があり散歩しやすい
 - ・ホテルがある
 - ・気延山
 - ・以西用水
- 歴史文化資源の保全
 - ・歴史と文化を誇れるまち
 - ・阿波のまほろば
(2000年の歴史・伝統文化)
 - ・通路道
 - ・四国八十八ヶ所の札所が集中
 - ・八倉比賣神社
 - ・舌洗池（地下水が湧き出ている）
 - ・豊玉姫を祭る王子和田津美神社
 - ・天狗久の資料展示
- 住みやすい地域
 - ・新しい分譲地が増加
 - ・災害が少ない
 - ・支援学校や障害者施設等の増加

【地域に起こっている変化や課題】

- 幹線道路とその周辺整備
 - ・幹線（R192）が未整備で渋滞、歩行が危険
 - ・南北方向の幹線がない
 - ・府中駅～R192間の街路に、通勤マイカーが集中し通学が危険
 - ・南環状線の整備が進まない
 - ・南環状線に道の駅を設置
(全線開通のメドがたつまで計画休止)
 - 商業施設の充実
 - 地域コミュニティ形成
 - ・一人暮らしの増加
 - ・新しく入って来る人が町内会に入らない
 - ・人間関係が少なくなっている
 - ・高齢者と若い人との接点がない
 - 認定こども園の整備が必要
 - 空き家の活用が必要
 - ・限界集落（延命地区）
 - ・空き家の増加
 - 府中駅を中心としたまちづくり
 - ・歩いて暮らせない
 - ・駅周辺の面的整備が必要
 - ・駅舎が小型化
 - ・駅の駐輪場が未整備
 - ・バス便が減少し、公共交通利用しづらい
 - 土地利用の規制
 - ・新しい住宅の増加
 - ・農地が減少し、宅地造成が増加
 - ・都市施設の整備に伴い市街化調整区域での造成が進んでいる
- 安全で便利な生活道路整備
 - ・生活道路に通過車両が入り危険
 - ・都市計画道路が未整備
 - ・道路が狭い
 - ・道路事情がよくない
- 水辺空間の整備
 - ・鮎喰川
- 浸水対策
 - ・浸水深2m以上のエリアが広い
 - ・都市化混住化が進み浸水地域が増加（排水路整備が必要）
- 用水路の整備、維持管理
 - ・用水路が汚く臭い
 - ・大雨時に溢れる
 - ・街路、下水等への投資不足
 - ・インフラの未整備

【住みたいまちのイメージ】

- 府中駅を中心に歩いて暮らせるまち
 - ・徳島市西部地域の拠点に（副核）
 - ・駅中心の歩いて暮らせるまち
 - ・駅周辺の道路拡幅、駐輪場の整備
- 来街者に対する魅力的な場所の整備
 - ・道の駅がある活力あるまち
 - ・交通が便利
 - ・買い物しやすい
 - ・親水できる川
- 誰もが豊かな生活が送れるまち
 - ・安全安心のまち
 - ・教育、福祉の充実
 - ・住みやすく子育てしやすいまち
 - ・福祉の町として、地域住民との連携による「国府の町」づくりの創設

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 自然や歴史文化資源を活かした良好な住環境の形成
 - ・自然環境や歴史文化資源の保全
(四国八十八ヶ所、八倉比賣神社等)
 - ・自然環境や歴史文化資源と調和した住環境
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用（四国八十八ヶ所等）
 - ・水辺を活かした親水空間の整備
 - ・豊かな自然環境の保全
 - ・地域資源を活用した交流拠点の整備
- 歩いて暮らせるまちづくりの推進
 - ・駅中心の歩いて暮らせるまち
 - ・安全で便利な生活道路の整備
(南環状線、国道192号線等)
- 浸水リスクの軽減、防災まちづくり
 - ・河川改修等の浸水対策
 - ・避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・地域住民の交流促進

B:不動地区

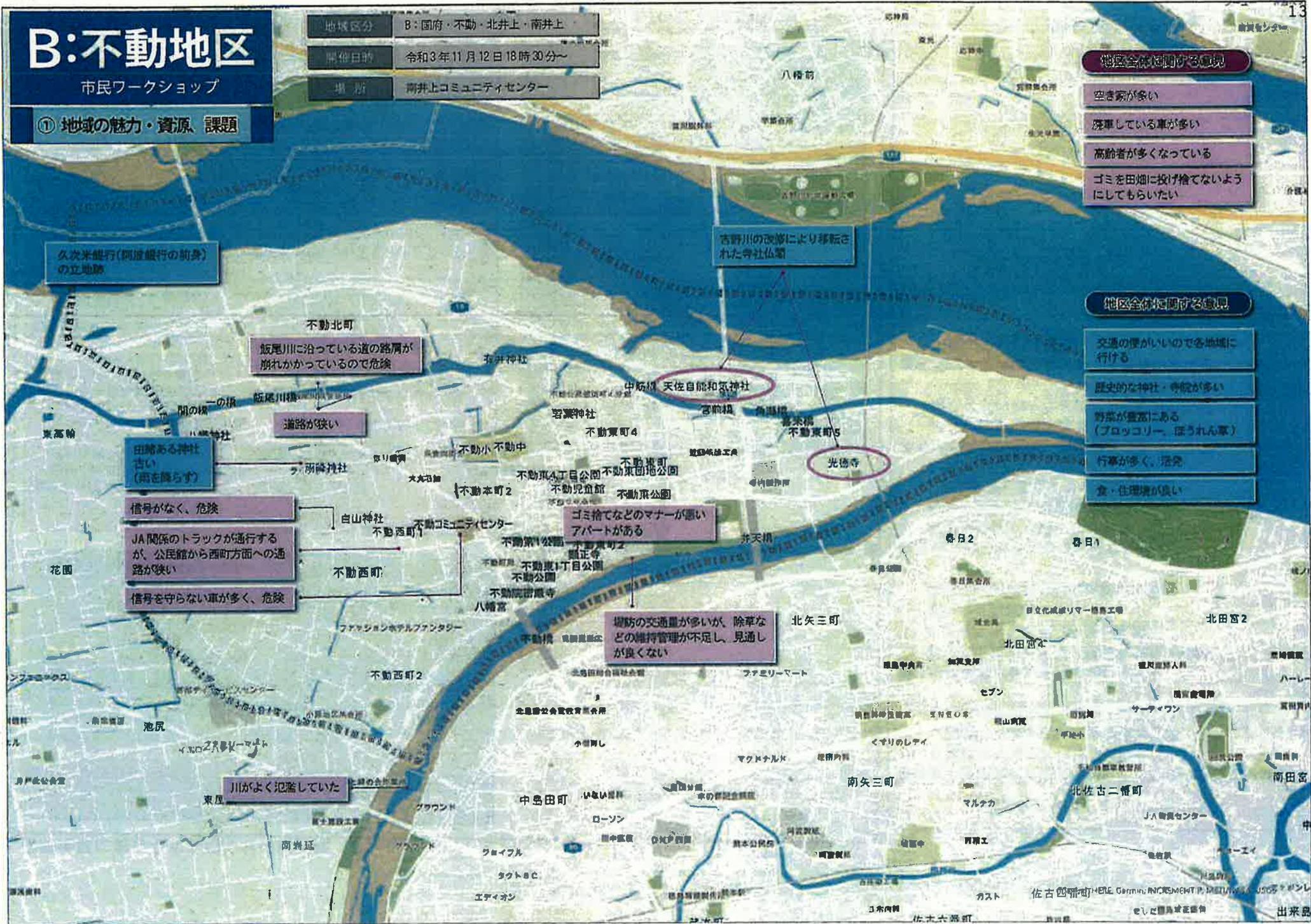
市民ワークショップ

① 地域の魅力・資源、課題

地域区分	B: 国府・不動・北井上・南井上
開催日時	令和3年11月12日 18時30分～
場所	南井上コミュニティセンター

- ### 地区全体に関する意見
- 空き家が多い
 - 駐車している車が多い
 - 高齢者が多くなっている
 - ゴミを田畑に投げ捨てないようにしてほしい

- ### 地区全体に関する意見
- 交通の便がいいので各地域に行ける
 - 歴史的な神社・寺院が多い
 - 野原が豊富にある(プロコクロー、ぼうれん草)
 - 行事が多く、活発
 - 食・住環境が良い



久次米能行(阿波銀行の前身)の立地跡

古野川の改修により移転された寺社仏閣

飯尾川に沿っている道の路肩が崩れかかっているので危険

道路が狭い

田舎ある神社古い(雨を降らす)

信号がなく、危険

JA関係のトラックが通行するが、公民館から西町方面への通路が狭い

信号を守らない車が多く、危険

ゴミ捨てなどのマナーが悪いアパートがある

掘削の交通量が多いが、除草などの維持管理が不足し、見通しが良くない

川がよく氾濫していた

B:不動地区

市民ワークショップ

地域区分	B: 国府・不動・北井上・南井上
開催日時	令和3年11月12日 18時30分～
場所	南井上コミュニティセンター

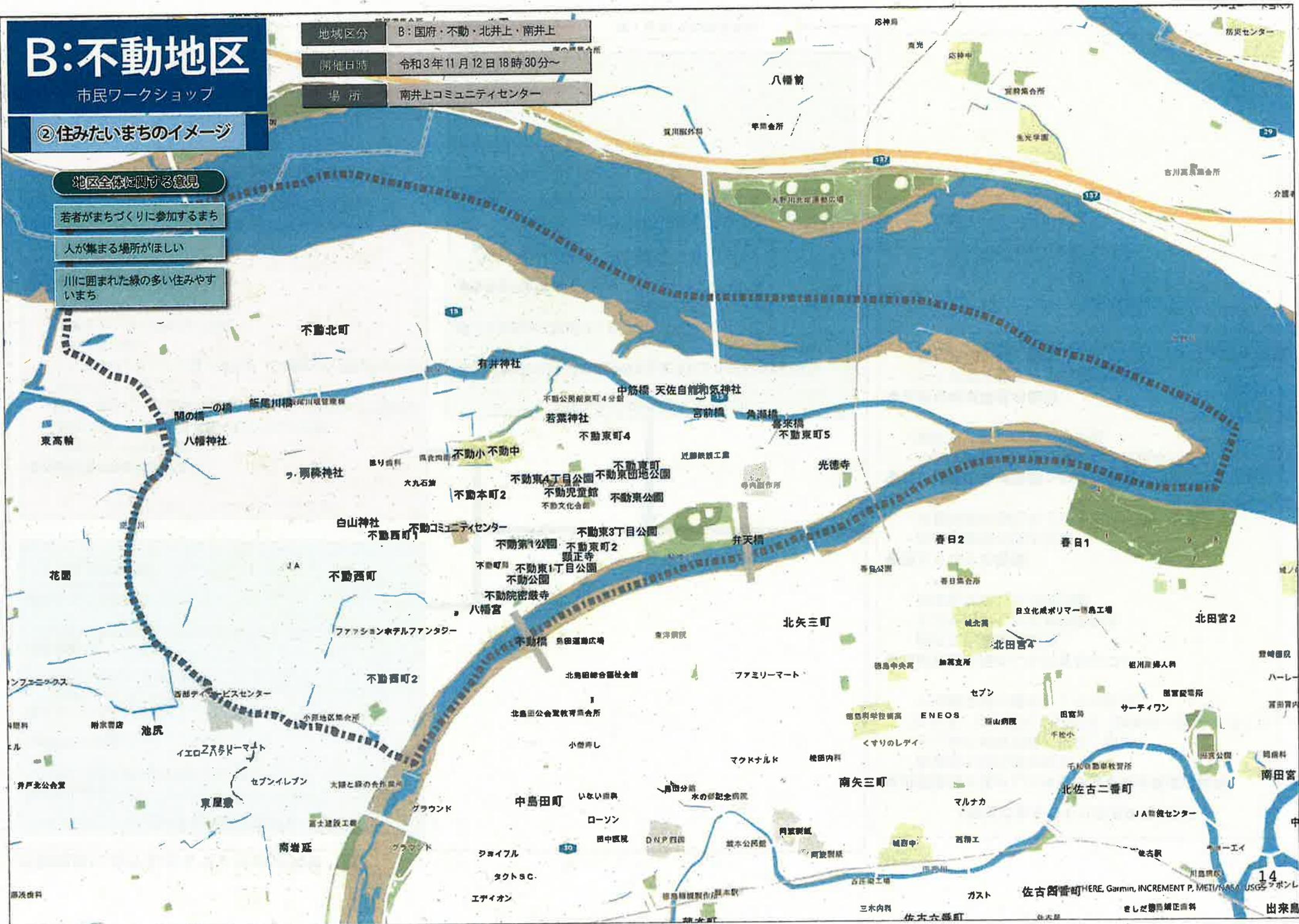
②住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

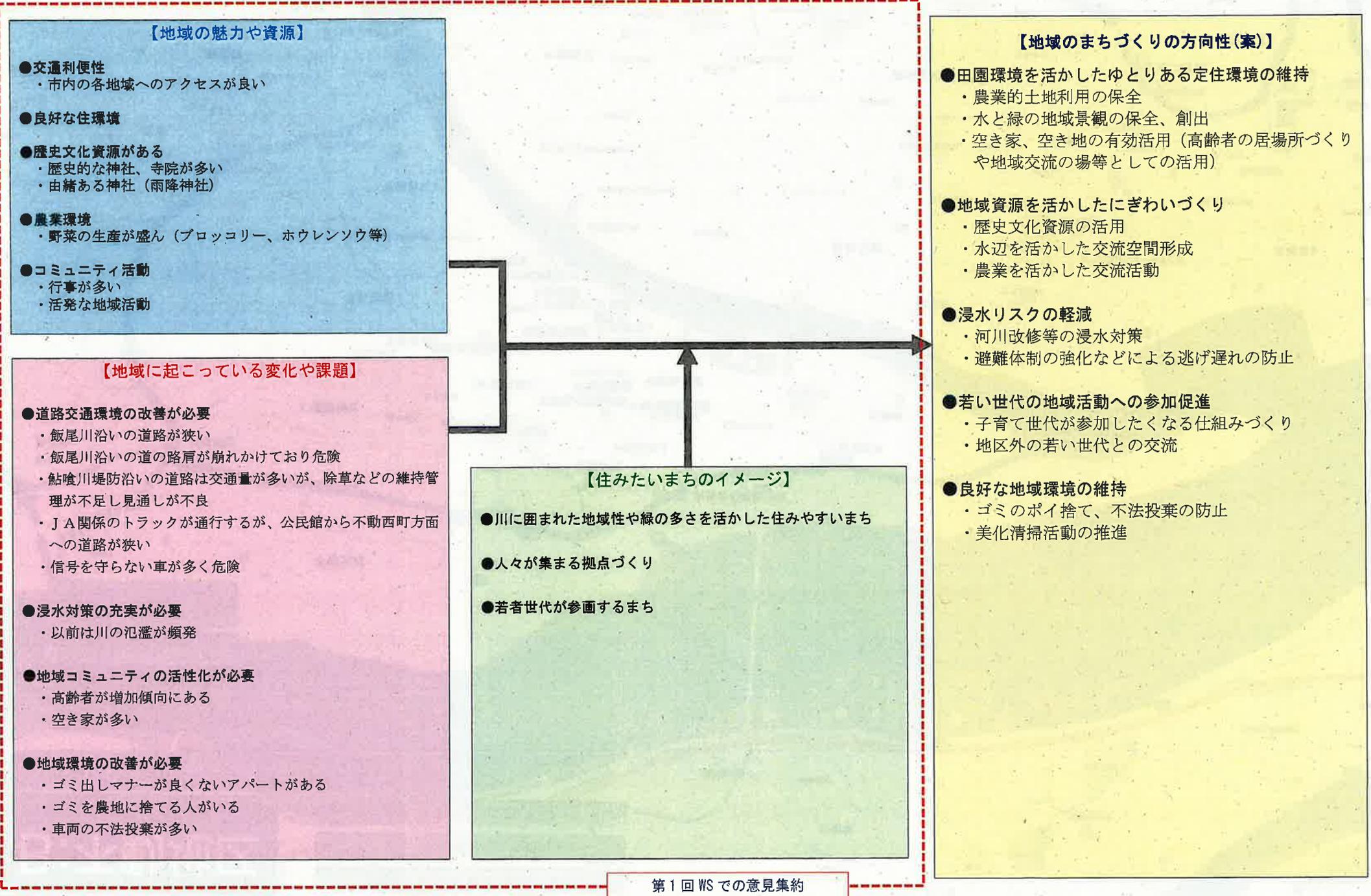
若者がまちづくりに参加するまち

人が集まる場所がほしい

川に囲まれた緑の多い住みやすいまち



不動産におけるまちづくりの方向性（案）

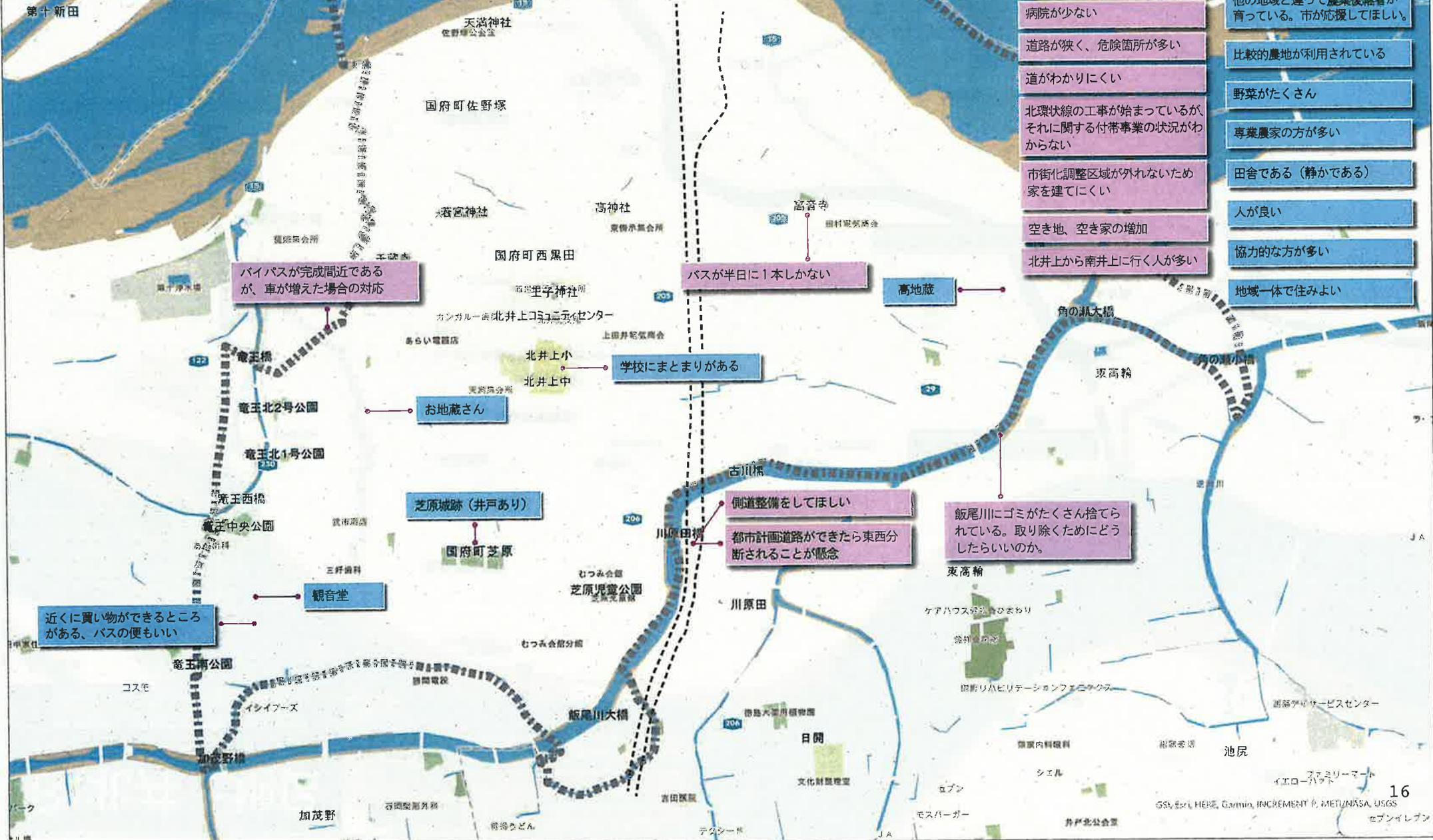


B:北井上地区

市民ワークショップ

① 地域の魅力・資源、課題

地域区分	B: 国府・不動・北井上・南井上
開催日時	令和3年11月12日 18時30分～
場所	南井上コミュニティセンター



- ### 地区全体に関する意見
- 農業の担い手不足
 - 高齢化の進行、子どもが少ない
 - 病院が少ない
 - 道路が狭く、危険箇所が多い
 - 道がわかりにくい
 - 北環状線の工事が始まっているが、それに関する付帯事業の状況がわからない
 - 市街化調整区域が外れないため家を建てるのにくい
 - 空き地、空き家の増加
 - 北井上から南井上に行く人が多い

- ### 地区全体に関する意見
- 文化遺産がたくさんある
15ヶ所以上 城跡・地蔵
 - 他の地域と違って農業後継者が育っている。市が応援してほしい。
 - 比較的農地が利用されている
 - 野菜がたくさん
 - 専業農家の方が多い
 - 田舎である（静かである）
 - 人が良い
 - 協力的な方が多い
 - 地域一体で住みよい

バイパスが完成間近であるが、車が増えた場合の対応

バスが半日に1本しかない

学校にまとまりがある

お地藏さん

芝原城跡(井戸あり)

観音堂

近くに買い物ができるところがある、バスの便もよい

側道整備をしてほしい
都市計画道路ができれば東西分断されることが懸念

飯尾川にゴミがたくさん捨てられている。取り除くためにどうしたらいいのか。

北井上地区におけるまちづくりの方向性(案)

【地域の魅力や資源】

- 歴史文化資源が保全されている
 - ・城跡、地蔵等の文化遺跡が15ヶ所以上ある(高地蔵、芝原城跡など)
- 地域コミュニティが充実
 - ・学校にまとまりがある
 - ・人が良い
 - ・協力的な人が多い
- 買い物環境や交通など、生活の利便性が高い
 - ・西側地域は近くに買い物ができるところがある
 - ・バスの便が良い
- 農業が盛ん
 - ・比較的農地が利用されている
 - ・野菜がたくさん育てられている
 - ・専業農家の方が多い
 - ・他の地域と違って農業後継者が育っている
- 静かな生活環境
 - ・田舎である(静かである)

【地域に起こっている変化や課題】

- 高齢者が住みやすい地域づくり
 - ・農業の担い手不足
 - ・高齢化の進行
 - ・子どもが少ない
 - ・病院が少ない
 - ・市街化調整区域であるため家を建てるににくい
- 道路交通環境の改善
 - ・都市計画道路の側道を整備してほしい
 - ・道がわかりにくい
 - ・道路が狭く、危険箇所多い
 - ・バイパス完成後、さらに車が増えた場合の対応
 - ・都市計画道路ができれば、東西分断されることが懸念
 - ・北環状線道路工事が開始されたが、関連する付帯事業の状況がわからない
- 空き家、空き地の有効活用
 - ・空き家、空き地の増加
- 公共交通の充実が課題
 - ・地区の東側地域は、バスが半日に1本しかない
- 環境保全対策
 - ・飯尾川にゴミがたくさん捨てられている

【住みたいまちのイメージ】

- 安心安全な子どもの多いまち
 - ・子どもが多い
 - ・街灯が多く安全なまちへ
- 生活が便利なまち
 - ・買い物が便利になってほしい
- 自然豊かなまち
 - ・ホテルが戻ってきてほしい
- 住民同士が連携し、協働するまち
 - ・お互いさまが通じるまち

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・農業的土地利用の保全
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・空き家、空き地の有効活用(高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用)
 - ・子育てしやすい環境づくり
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・若者と高齢者が交流、連携する仕組みづくり
 - ・ゴミのポイ捨て、不法投棄の防止
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用
 - ・農業を活かした交流活動
- 安全安心なまちの実現
 - ・街灯が多く安全なまちづくり
 - ・安全で便利な生活道路の整備

B:南井上地区

市民ワークショップ

地区区分 B:国府・不動・北井上・南井上

開催日時 令和3年11月12日 18時30分～

場所 南井上コミュニティセンター

① 地域の魅力・資源、課題

地区全体に関する意見

- 高齢化が進行
- コミュニティ意識の希薄化
- 混住化
- 新しい住宅の乱開発・道路面
- 世帯数は増え、人口が急速に増えているのに道路事情が悪い
- 基盤整備不足（道路・下水）
- 道が狭い
- 空き家対策（各地区の公会堂も）
- 梅雨や台風の時期、道路が冠水し、危険で汚い
- 高齢化に伴い市のバス無料券を配布しているが利用するバスが少ない、市営バスを小型化、路線の変更・増便

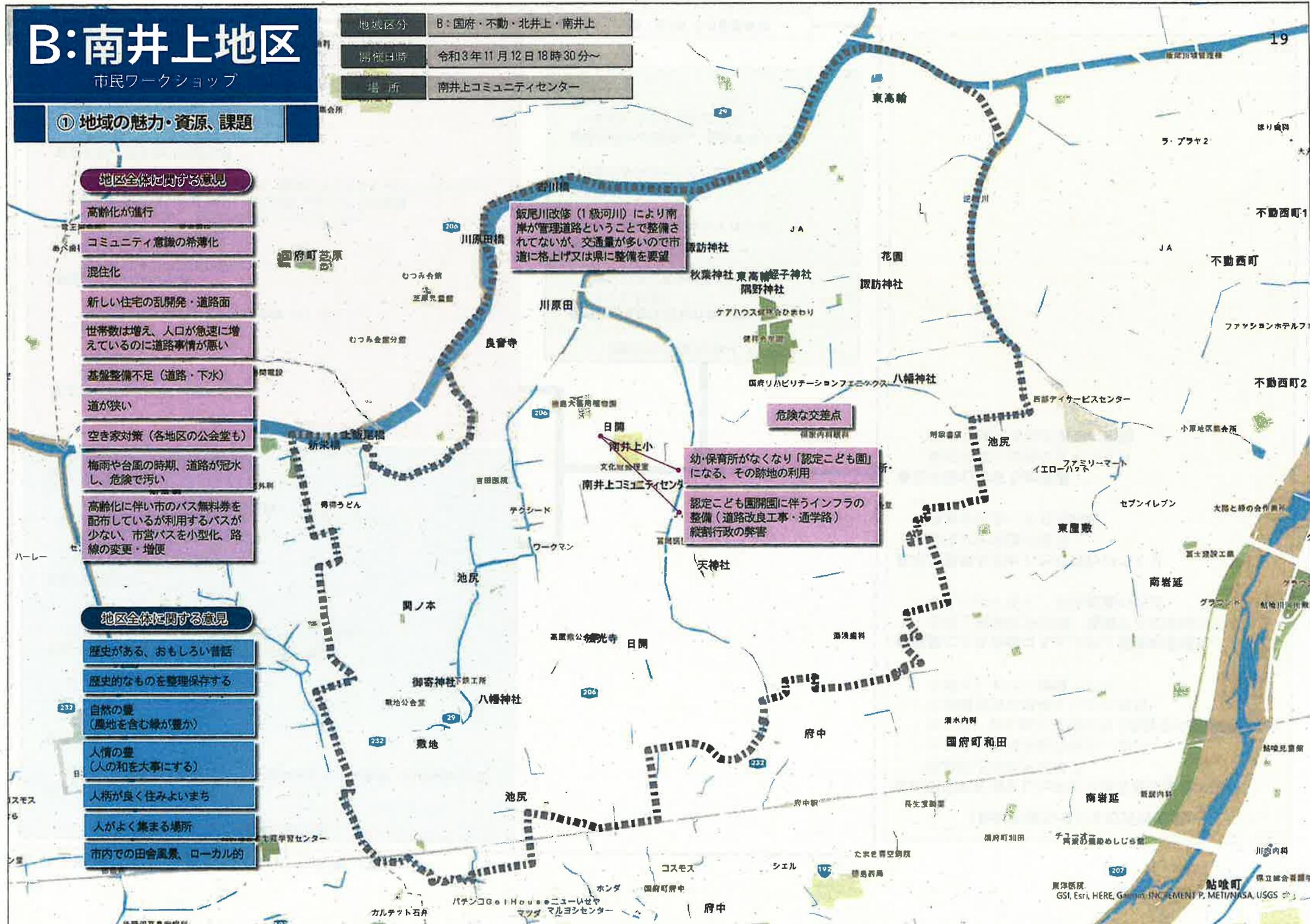
地区全体に関する意見

- 歴史がある、おもしろい昔話
- 歴史的なものを整理保存する
- 自然の豊（農地を含む緑が豊か）
- 人情の豊（人の和を大事にする）
- 人柄が良く住みよいまち
- 人がよく集まる場所
- 市内での田舎風景、ローカル的

飯尾川改修（1級河川）により南岸が管理道路ということで整備されていないが、交通量が多いので市道に格上げ又は渠に整備を要望

危険な交差点

幼・保育所がなくなり「認定こども園」になる、その跡地の利用
認定こども園開園に伴うインフラの整備（道路改良工事・通学路）
縦割行政の弊害



B:南井上地区

市民ワークショップ

② 住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

地域社会とのつながり強い

農業振興策
都市計画の線引きと農業者の育成

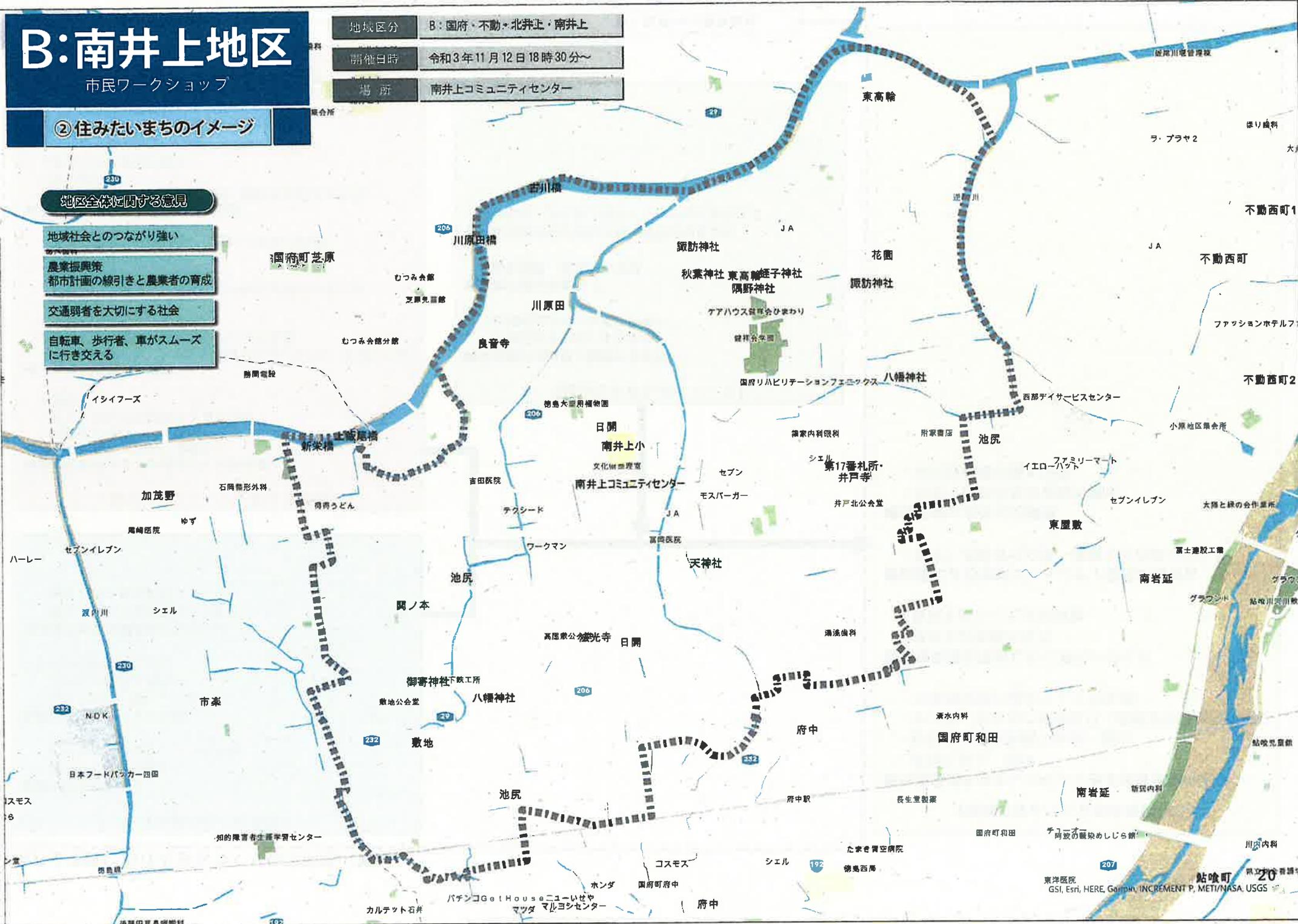
交通弱者を大切に作る社会

自転車、歩行者、車がスムーズ
に行き交える

地域区分 B: 国府・不動・北井上・南井上

開催日時 令和3年11月12日 18時30分～

場所 南井上コミュニティセンター



南井上地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 豊かな自然がある
 - ・農地を含む緑が豊か
 - ・市内での田舎風景、ローカルの
- 地域コミュニティが充実
 - ・人柄が良く、住みよいまち
 - ・人がよく集まる場所
 - ・人の和を大事にする
- 歴史文化資源が保全されている
 - ・歴史的なものを整理保存する
 - ・おもしろい昔話がある

【地域に起こっている変化や課題】

- 高齢者が住みやすい地域づくりが必要
 - ・コミュニティ意識の希薄化
 - ・高齢化が進行
 - ・新しい住宅の乱開発による人口増
 - ・混住化
- インフラの整備が課題
 - ・人口が増加する一方で基盤整備が不足している（道路、下水）
 - ・認定こども園の開園に伴うインフラ整備（道路改良工事、通学路）
 - ・道が狭い
 - ・飯尾川の南岸が管理道路のため整備されていないが、交通量が多い
 - ・危険な交差点がある
 - ・道路が冠水し危険で汚い（梅雨や台風の時期）
- 空き家、空き地の有効活用が必要
 - ・南井上幼稚園、南井上保育所の閉園後の跡地の利用
 - ・空き家対策
 - ・各地区の公会堂の活用
- 公共交通の充実が課題
 - ・バスの本数が少ない（市バス無料券を配布しているが利用するバスが少ない）
 - ・市営バスの小型化、路線の変更、増便が必要

【住みたいまちのイメージ】

- 住民同士が連携し協働するまち
 - ・交通弱者を大切にする社会
 - ・地域社会とのつながりが強い
- 農業が盛んなまち
 - ・農業振興、農業者の育成
- 道路交通環境が整備された安全安心なまち
 - ・自転車、歩行者、車がスムーズに行き交える

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・農地の保全、継承
 - ・緑豊かな地域景観の保全、創出
 - ・空き家、空き地の有効活用（高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用）
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用
 - ・農業を活かした交流活動
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・若者と高齢者が交流、連携する仕組みづくり
- 安全安心なまちの実現
 - ・安全で便利な生活道路の整備
 - ・河川改修等の浸水対策

C:入田地区

市民ワークショップ

①地域の魅力・資源、課題

地区全体に関する意見

空き家が増えており、空き家対策が今後必要になる

入田町の全市・全県での知名度が低い

耕作放棄地が増えてきている

全市・全県的な施設が少ない

畑にもう少し人が出て畑仕事をしている人を見たい

周辺地域の行政から見放され、中心市街地ばかりの行政対策で地方はおざなりである

農業後継者の減少

ゴミのポイ捨て

少子高齢化

道路が狭い

若い人の流出を止めたい

土地が複雑

地域に子どもが少ない

猿・猪・鹿 動物による作物妨害

幼稚園児の確保

隣人との距離が増えた

子ども教育支援が必要(幼稚園)

協調性に欠ける

延長保育がない

役員のなり手不足

保育所がない

こども園がほしい

地域区分 C:入田・上八万

開催日時 令和3年11月19日19時00分~

場所 一宮コミュニティセンター

刑務所がある

キャンプによる汚染。特に御食川、ゴミ置場、トイレの設置

春日の大クス

無形文化財がある

幼・小・中一体化

川遊びが出来る

ライフル射撃場がある

入田瓦窯跡

内ノ御田須恵窯跡

文化財施設、古墳

安都真遺跡

銅鐸出土地

洪水ハザードマップが入田だけ作成されていない。今後のゲリラ豪雨による災害の心配。

ゴルフ場がある

建治の滝

建治の山

スポーツ施設、球技場がある

新四国88か所の参拝ルート
~建治寺~

山に囲まれたのどかな田舎

自然豊かな新四国88か所の参拝

大日寺の奥の院

四国三十六不動尊霊場
第12番祀所

地区全体に関する意見

自然。心が豊か、自己主張

自然が豊か

季節感を感じる

空が広い

住みやすい

治安が良い

人が優しい

C:入田地区

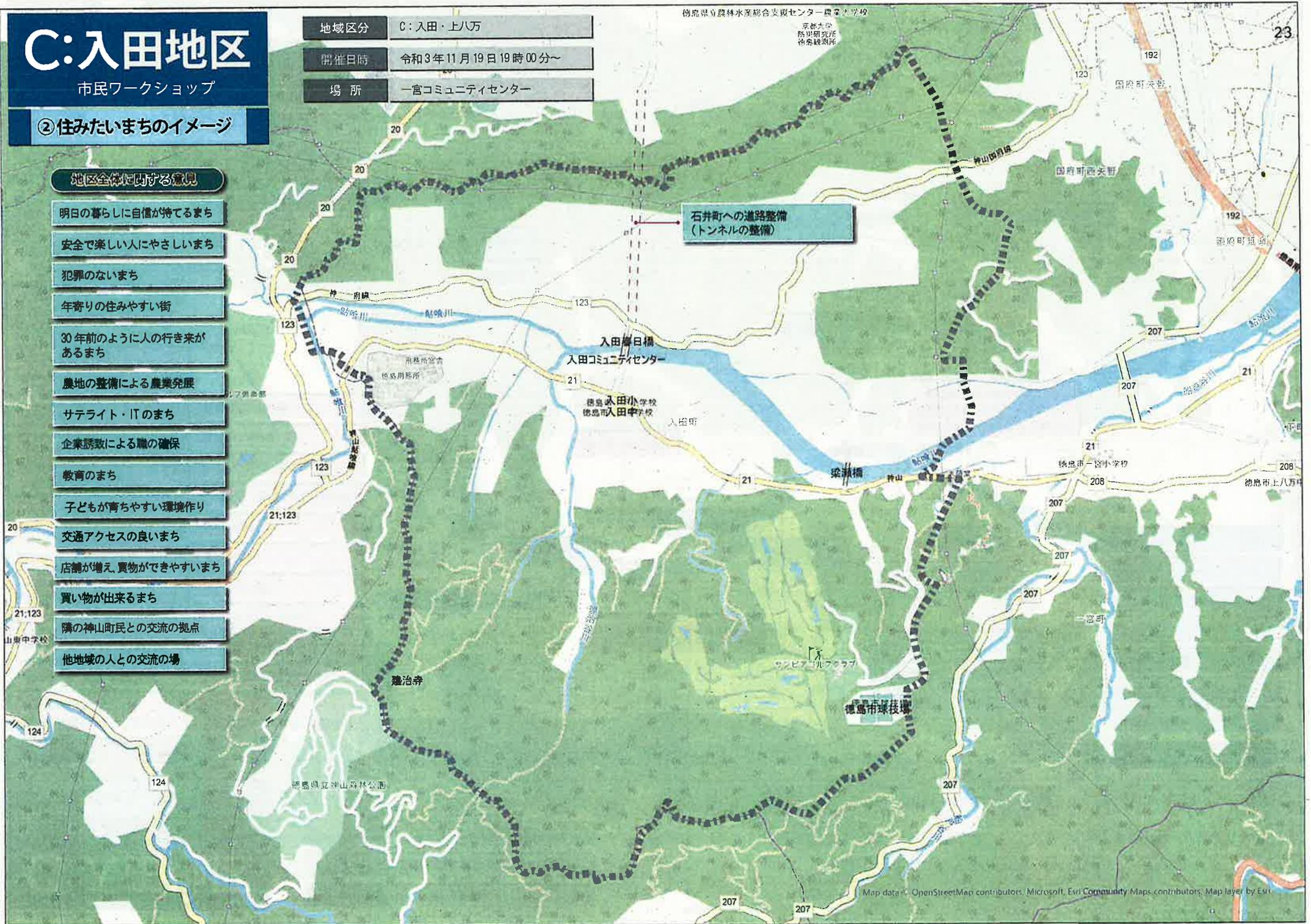
市民ワークショップ

地域区分	C:入田・上八万
開催日時	令和3年11月19日 19時00分～
場所	一宮コミュニティセンター

②住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

- 明日の暮らしに自信が持てるまち
- 安全で楽しい人にやさしいまち
- 犯罪のないまち
- 年寄りの住みやすい街
- 30年前のように人の行き来があるまち
- 農地の整備による農業発展
- サテライト・ITのまち
- 企業誘致による職の確保
- 教育のまち
- 子どもが育ちやすい環境作り
- 交通アクセスの良いまち
- 店舗が増え、買物ができやすいまち
- 買い物ができるまち
- 隣の神山町民との交流の拠点
- 他地域の人との交流の場



入田地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 歴史文化資源がある
 - ・春日の大楠
 - ・文化財施設
(内ノ御田須恵竊跡、入田瓦釜跡、安都真遺跡、古墳、銅鐸出土等)
 - ・新四国八十八ヶ所の参拝ルート
 - ・建治の滝、建治の山
- 豊かな自然環境がある
 - ・山に囲まれたのどかな田舎
 - ・季節を感じられる
 - ・空が広い
 - ・川遊びができる
- 安全安心な生活がある
 - ・治安が良い
 - ・人が優しい
 - ・住みやすい
- スポーツ施設がある
 - ・ゴルフ場がある
 - ・球技場がある
 - ・ライフル射撃場がある

【地域に起こっている変化や課題】

- 地域コミュニティの活性化
 - ・協調性がない
 - ・役員のなり手不足
 - ・隣人と距離ができた
- 地域の清掃活動
 - ・ゴミのポイ捨てが多い
 - ・キャンプによる環境汚染
 - ・鮎喰川にゴミ置場、トイレの設置
- 空き家、耕作放棄地への対策
 - ・空き家の増加
 - ・耕作放棄地の増加
- 若者が転入しやすい環境不足
 - ・人口の老年比率が高い
 - ・地域に子どもがいない
 - ・高齢化が進んでいる
 - ・若い人の流出を止めたい
- 子育てのしやすい環境
 - ・子ども教育支援（幼稚園設置）
 - ・幼稚園児の確保
 - ・子どもが少ない
 - ・延長保育がない
 - ・保育所がない
 - ・幼、小、中の一体化
- 道路の安全性
 - ・土地が複雑
 - ・道路狭小な箇所がある
- 防災力の強化
 - ・洪水ハザードマップが入田地区だけ作成されていない
 - ・ゲリラ豪雨の被害が心配
- 農業従事者の減少
 - ・少子化による農業後継者の減少
 - ・畑仕事をする人が増えてほしい
- 鳥獣被害対策
- 地域の知名度向上
 - ・入田町の全市・全県での知名度が低い
 - ・全市、全県的な施設が少ない
- 地域の活性化対策
 - ・中心市街地の対策ばかりで、地方はおざなりである

【住みたいまちのイメージ】

- 他地域と交流しにぎわいのあるまち
 - ・30年前のように人の往来が多くなってほしい
 - ・他地域（神山町など）の人との交流の拠点
- 先端的農業技術のあるまち
 - ・農地の整備による農業発展
- 教育の盛んなまち
 - ・教育のまち
- 商業施設が整備されたまち
 - ・店舗が増え、買物ができるまち
- 産業が盛んなまち
 - ・企業誘致による職の確保
 - ・サテライトオフィスの設置、ITのまち
- 道路整備の行き届いたまち
 - ・交通アクセスの良いまち
 - ・石井町への道路整備（トンネルの整備）
- 安全安心で人にやさしいまち
 - ・明日の暮らしに自信が持てるまち
 - ・犯罪のないまち
 - ・子どもが育ちやすい環境作り
 - ・安全で楽しく人にやさしいまち
 - ・高齢者の住みやすいまち

【地域のまちづくりの方向性(案)】

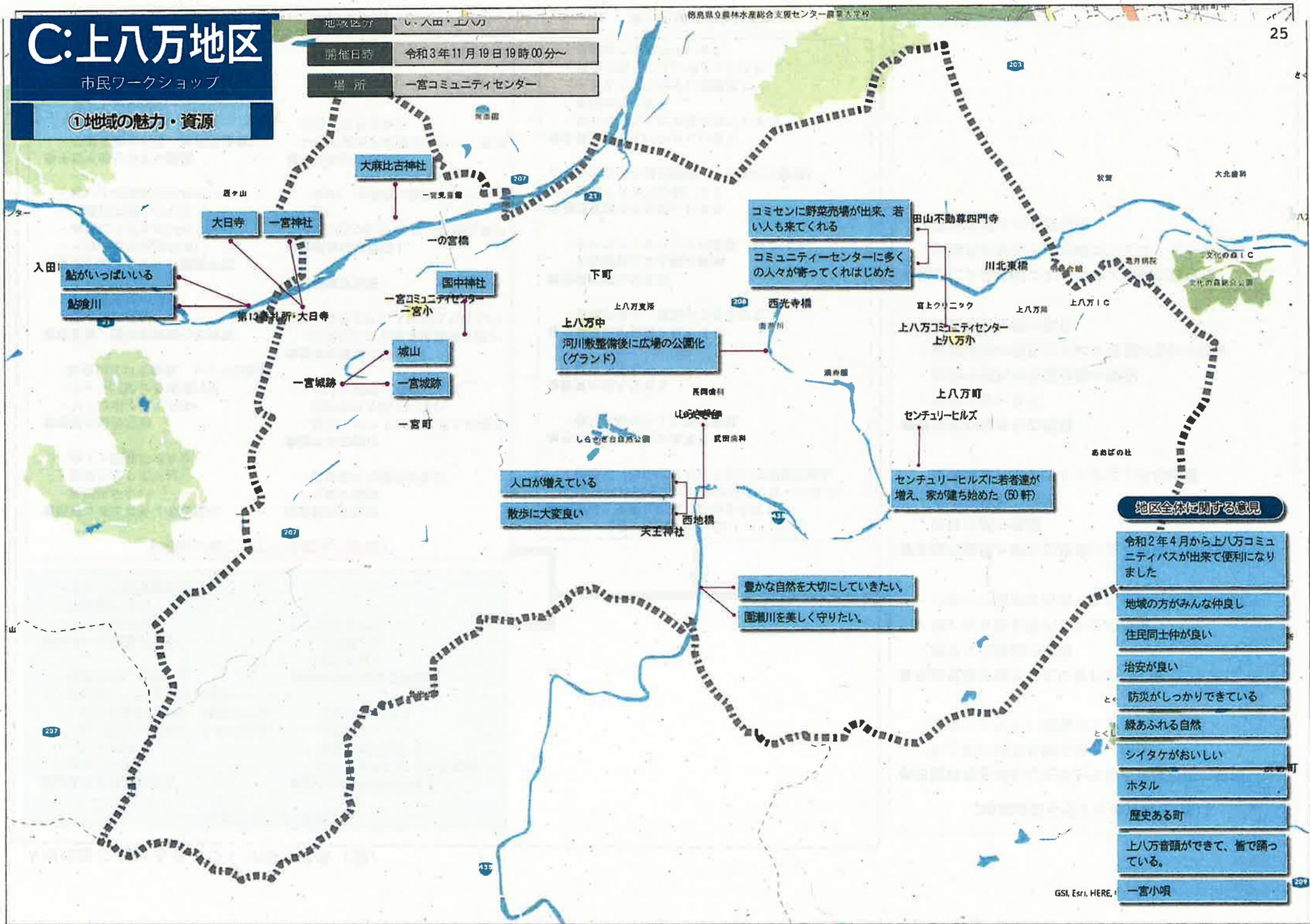
- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・子育てしやすい環境づくり
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用
 - ・豊かな自然を活かした交流活動
 - ・スポーツ施設を活用したにぎわい拠点づくり
- 農業の振興と新たな産業による地域の活性化
 - ・就農支援の促進
 - ・耕作放棄地の活用
 - ・企業誘致、サテライトオフィスの設置
- 安全安心なまちの実現
 - ・犯罪のないまち
 - ・安全で便利な生活道路の整備
 - ・避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
 - ・鳥獣被害対策の強化
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・多世代が参加する地域コミュニティへの支援
 - ・隣接地域との交流促進

C:上八万地区

市民ワークショップ

①地域の魅力・資源

地域区分	い・入田・上八万
開催日時	令和3年11月19日19時00分～
場所	一宮コミュニティセンター



コミセンに野菜売場が出来、若い人も来てくれる
コミュニティセンターに多くの人々が寄ってくればじめた

上八万中
河川敷整備後に広場の公園化(グラウンド)

上八万町
センチュリーヒルズ
センチュリーヒルズに若者連が増え、家が建ち始めた(50軒)

人口が増えている
散歩が大変良い

豊かな自然を大切にしていきたい。
圃場川を美しく守りたい。

地区全体に関する意見

- 令和2年4月から上八万コミュニティバスが出来て便利になりました
- 地域の方がみんな仲よし
- 住民同士仲が良い
- 治安が良い
- 防災がしっかりできている
- 緑あふれる自然
- シイタケがおいしい
- ホテル
- 歴史ある町
- 上八万音頭ができて、皆で踊っている。
- 一宮小唄

C:上八万地区

市民ワークショップ

②地域の課題

地域区分 C:入田・上八万
開催日時 令和3年11月19日19時00分～
場所 一宮コミュニティセンター

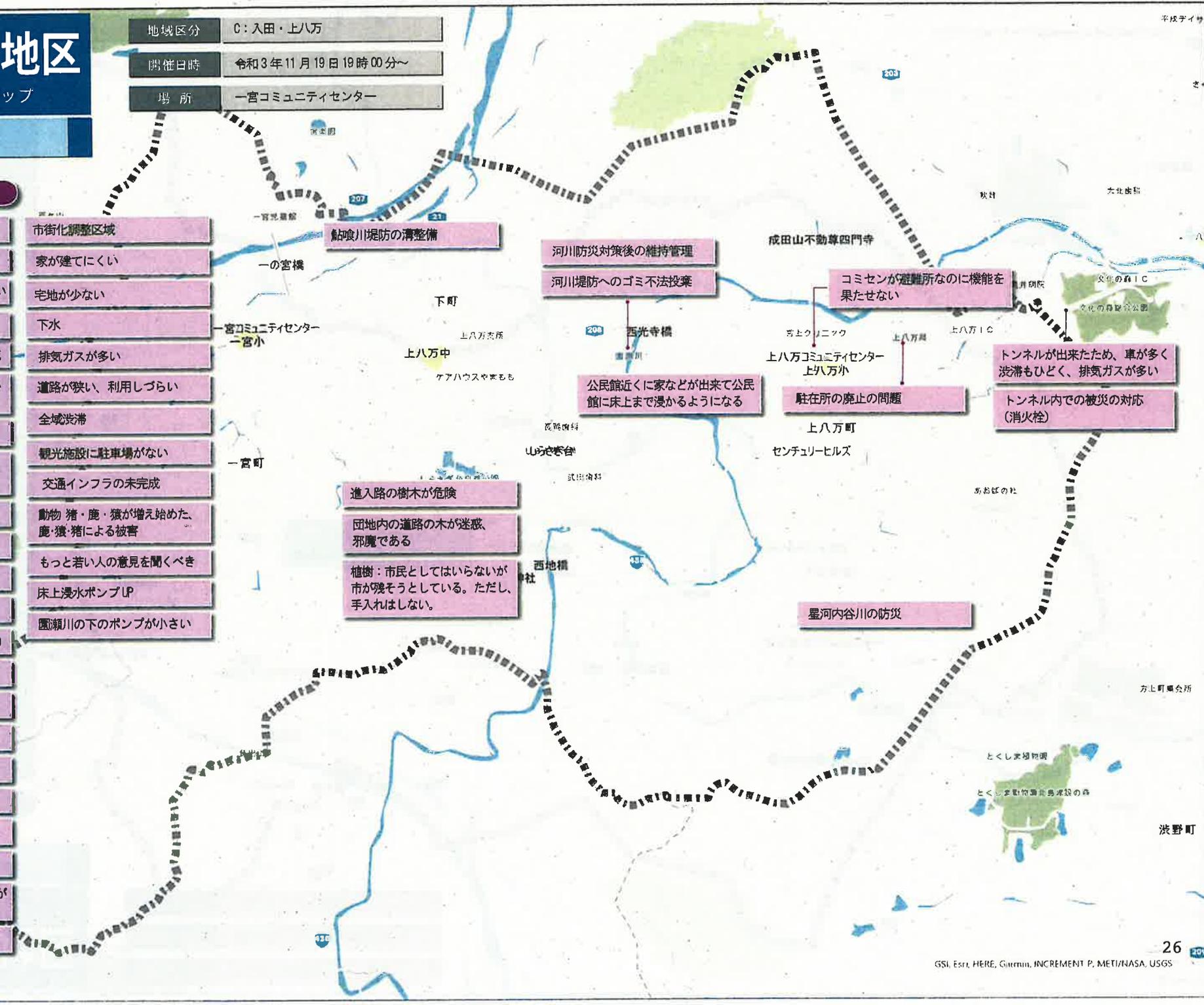
地区全体に関する意見

- 消防団員の不足の問題
- 地域防災の若者の参加者不足
- 人と人のつながりができていない
- 活力のないまち
- 若者が少ない、若い人の人口減
- 人口減によることで子供達の姿がない
- 少子高齢化、現在高齢者が4割
- 少子高齢化による課題が色々出ている
- 人口減少
- 人口の流入がない
- 空家が多い、空家対策
- 利用しづらい狭い空地が多い
- 人の集まる施設がない(道の駅)
- 大型商業施設がない
- 近所に歩いて行ける店が無い
- 街灯のない暗い街
- 素通りの町
- 農家さんが減っている
- 農家の継者がいない
- 農業の衰退
- 農地が放置されている、田畑が荒れている
- 農地放棄、雑草がひどい

- 市街化調整区域
- 家が建てにくい
- 宅地が少ない
- 下水
- 排気ガスが多い
- 道路が狭い、利用しづらい
- 全域渋滞
- 観光施設に駐車場がない
- 交通インフラの未完成
- 動物(猪・鹿・猿)が増え始めた、鹿・猿・猪による被害
- もっと若い人の意見を聞くべき
- 床上浸水ポンプLP
- 墨瀬川の下ポンプが小さい

- 鮎喰川堤防の滞整備
- 河川防災対策後の維持管理
- 河川堤防へのゴミ不法投棄
- 公民館近くに家などが出来て公民館に床上まで浸かるようになる
- 進入路の樹木が危険
- 団地内の道路の木が迷惑、邪魔である
- 植樹：市民としてはいいが市が残そうとしている。ただし、手入れはしない。

- 河川防災対策後の維持管理
- 河川堤防へのゴミ不法投棄
- コミセンが避難所なのに機能を果たせない
- トンネルが出来たため、車が多く渋滞もひどく、排気ガスが多い
- トンネル内での被災の対応(消火栓)
- 公民館近くに家などが出来て公民館に床上まで浸かるようになる
- 駐在所の廃止の問題
- 墨河内谷川の防災



C:上八万地区

市民ワークショップ

③住みたいまちのイメージ

地区全体に対する意見

コミュニティバスが定着し、
交通弱者のいないまち

良い交通環境へ

昔のように集まって話す場がほしい

昔のように隣同士、井戸端会議
があれば良い

地域のつながりを大切にする町

防災対策に力を入れて安全な
まち

5～10年先を見据えた防災
対策（主に人員の確保）

自家栽培の野菜などを販売でき
る場所がほしい

農業の振興策

子どもがたくさんいる町に

買物が出来る町に

駐車場のある道の駅が欲しい

緑多く、山・川有り、自然豊かな
環境

市内から60分車で15～20分で、
自然が多い町

グラウンドの整備（小学校の予定地）

市外の小中学校との交流
（部活）※佐那河内村

農業用水路の清流化

地域区分	0:入田・上八万
開催日時	令和3年11月19日19時00分～
場所	一宮コミュニティセンター

まちづくりセンター（しらさぎ
ドーム）の活用

上八万地区におけるまちづくりの方向性 (案)

【地域の魅力や資源】

- 自然環境が充実
 - ・緑あふれる豊かな自然
 - ・美しい園瀬川、鮎喰川
 - ・ホテル
- 歴史文化資源が保全されている
 - ・一宮城跡、城山、歴史のあるまち
 - ・大麻比古神社、国中神社、大日寺、一宮神社などの神社
 - ・上八万音頭
 - ・一宮小唄
- 良好な住環境が保全されている
 - ・散歩に大変良い（しらさぎ台）
 - ・人口が増えている（しらさぎ台）
 - ・センチュリーヒルズに若い人が増え、家が建ち始めた
- 交通利便性
 - ・令和3年4月から
 - ・上八万コミュニティバスが運行
- コミュニティ活動が充実
 - ・上八万コミュニティセンターに多くの人が寄りはじめた
 - ・上八万コミュニティセンターに野菜売場ができて、若い人も来てくれる
 - ・治安がいい
 - ・地域の人がみんな仲よし

【地域に起こっている変化や課題】

- 道路交通環境の改善
 - ・交通渋滞解消
 - ・交通インフラが未完成
 - ・道路が狭い
- 地域コミュニティの活性化
 - ・若い人が減り高齢化が進んでいる
 - ・人と人とのつながりができていない
 - ・子どもが減り活力がない
 - ・消防団員の不足
 - ・地域防災への若者の参加不足
- 地域環境の改善が課題
 - ・団地内の街路樹が邪魔
 - ・市は植樹を推進するが手入れがされていない
 - ・河川堤防へのゴミの不法投棄
 - ・動物（猪、鹿、猿）が増え始めた
 - ・空き家、空き地の増加
 - ・農地が放置されており雑草が酷い
 - ・人の集まる施設がない
 - ・観光施設に駐車場がない
- 農業の活性化
 - ・農業の衰退
 - ・農家の後継者がいない
- 防犯・防災対策の充実
 - ・上八万コミュニティセンターが避難所になっているが機能を果たせない
 - ・河川、防災対策後の維持管理
 - ・トンネル内での被災時の対応（消火栓）
 - ・星河内谷川の防災
 - ・駐在所の廃止の問題
 - ・街灯がなく暗い
 - ・床上浸水ポンプUP
- 日常の買物等の生活利便施設の充実が課題
 - ・近所に歩いて行ける店がない
 - ・大型商業施設がない

【住みたいまちのイメージ】

- 川や緑の多さを活かした住みやすいまち
 - ・自然豊かな環境
 - ・農業用水路の清流化
- 人々が集まる、活力のあるまち
 - ・まちづくりセンター（しらさぎドーム）の活用
 - ・昔のように集まって話す場
 - ・市外の小、中学校との交流（部活）
 - ・子どもがたくさんいるまち
 - ・駐車場の道の駅
- 身近に生活サービスが享受できる
 - ・コミュニティバスが定着し、交通弱者のいないまち
 - ・買い物に便利なまち
 - ・自家栽培の野菜などを販売できる場所
- 防災に強いまち
 - ・防災対策に力を入れた安全なまち
 - ・5～10年先を見据えた防災対策

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・農業的土地利用の保全
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・空き家、空き地の有効活用（高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用）
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用
 - ・農業を活かした交流活動
- 若い世代の地域活動への参加促進
 - ・若い世代が参加したくなる仕組みづくり
 - ・地区外の若い世代との交流
- 良好な地域環境の維持
 - ・ゴミのポイ捨て、不法投棄の防止
 - ・美化清掃活動の推進
 - ・地域資源の維持管理の仕組みづくり

D:多家良地区

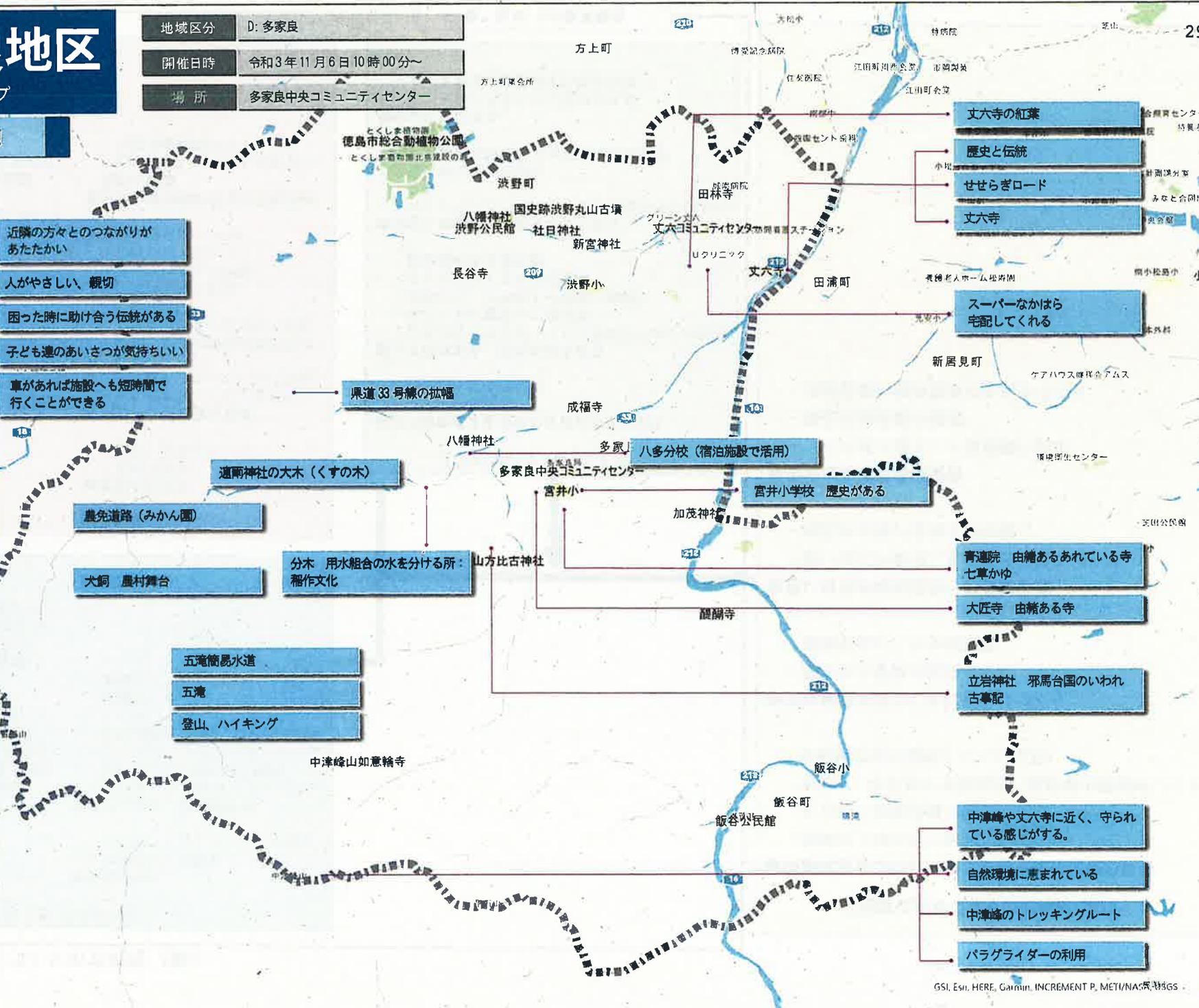
市民ワークショップ

地域区分	D:多家良
開催日時	令和3年11月6日 10時00分～
場所	多家良中央コミュニティセンター

① 地域の魅力・資源

地区全体に関する意見

- 豊かな土壌
- 農村地域がある
- お米がおいしい
殿様米といわれていた
- みかん、すだち、野菜がおいしい
- 農産物の種類が多い
- すだち収穫体験にご協力してもらえた
- 田畑に来るいろいろな鳥や生物が楽しめる
- 若い農家が多い。
(多家良インディゴーズなど)
- 自然が豊か
- 風光明媚
- 自然環境に恵まれている。
有名な寺社仏閣がある。
- 名所旧跡が多い
- 各地区の祭りがある
- 水と緑がきれい
- 工場の無い静かなまち
- 住環境がよい
- 近隣の方々とのつながりがあたたかい
- 人がやさしい、親切
- 困った時に助け合う伝統がある
- 子ども達のあいさつが気持ちいい
- 車があれば施設へも短時間で行くことができる



D: 多家良地区

市民ワークショップ

② 地域の課題

地区全体に関する意見

多家良町全体では、人口減、ただし、丈六町では戸数増、高齢化が進んでいる。

人口減少

一人暮らしの人が多

高齢者の独居が多い

少子高齢化

子ども達の声あまり聞こえない

若い人が多くなってきた。

知らない人が多い

病院へ行くための公共交通の利便性が低い(日赤、徳大)

老人が買い物難民となっている

免許返納後の交通の利便性の問題

公共交通の便が悪い

避難所への移動、利用が困難

住宅地の増加

宅地の増加に伴う地域環境の変化

団地ができてい

新しい団地がたくさんできた

ゴミの収集場所が少ない

焼却施設に対する不安がある

廃棄物処理場があり、ゴミ捨て場になりかけている

小さい店がなくなったり、新しい店ができてい

農作物が安く、収入につながらない

休耕田・休耕地が多い

農業を仕事にして人よりサラリーマンの方が増えている

田畑に雑草が多く荒れている

農家の後継者不足

猟師がいない

猪等の動物の被害が多くなっている

小集団の活動への補助金がない

道路の設備が不十分

朝晩の交通量の増加

道路に街灯が少なく危険

全体に夜、通りが暗い

旧跡の保全ができていない

名所、旧跡が知られていない

観光資源の整備ができていない

水鳥、カワセミ

環境問題(大気、水)

ソーラーパネルが増えている

放置された廃屋が危ない、見た目が悪い

空き家が増えている

建物の有効活用

公共施設が少ない(認定こども園、トイレ)

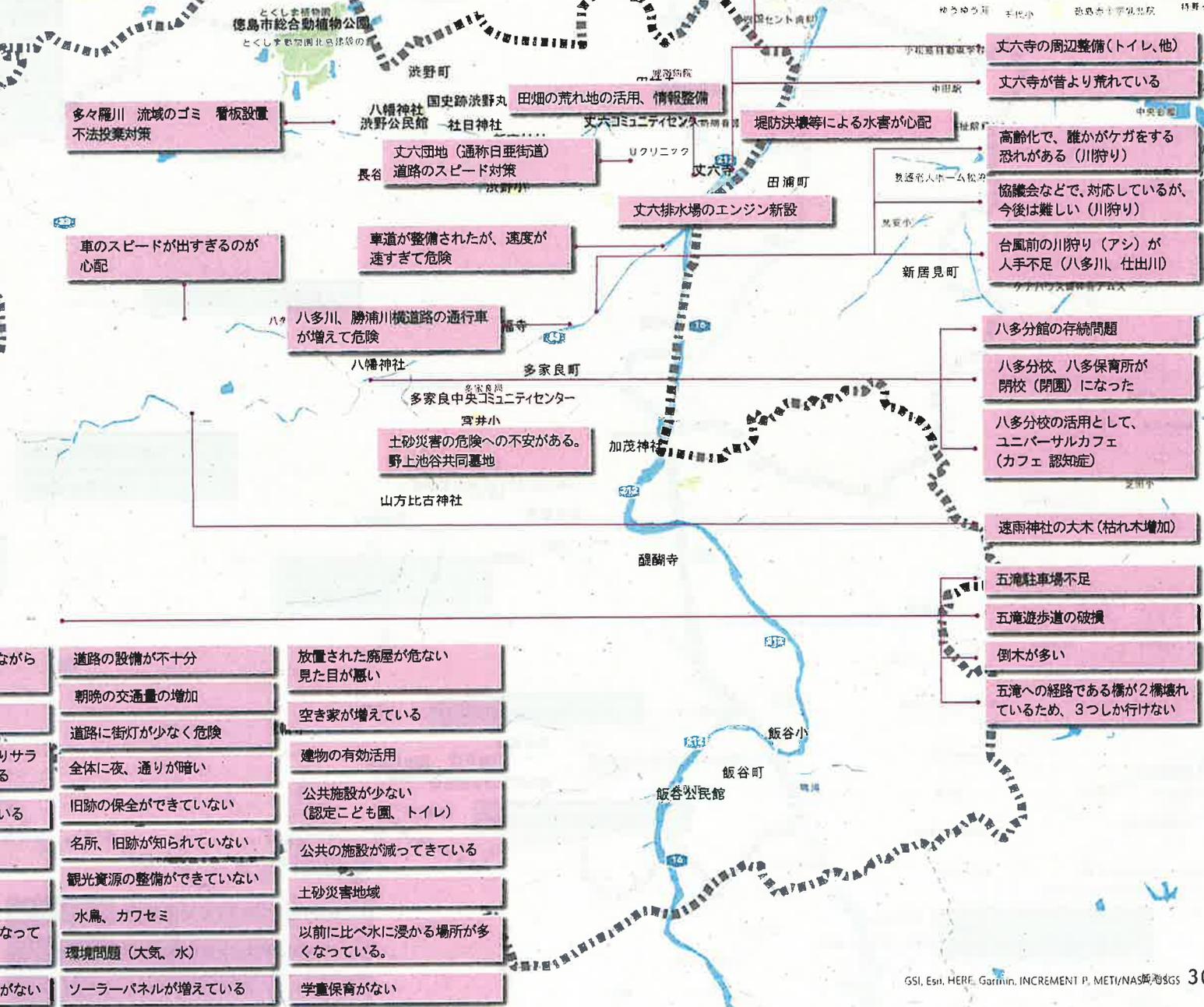
公共の施設が減ってきている

土砂災害地域

以前に比べ水に浸かる場所が多くなっている。

学童保育がない

地域区分	D: 多家良
開催日時	令和3年11月6日 10時00分～
場所	多家良中央コミュニティセンター



D: 多家良地区

市民ワークショップ

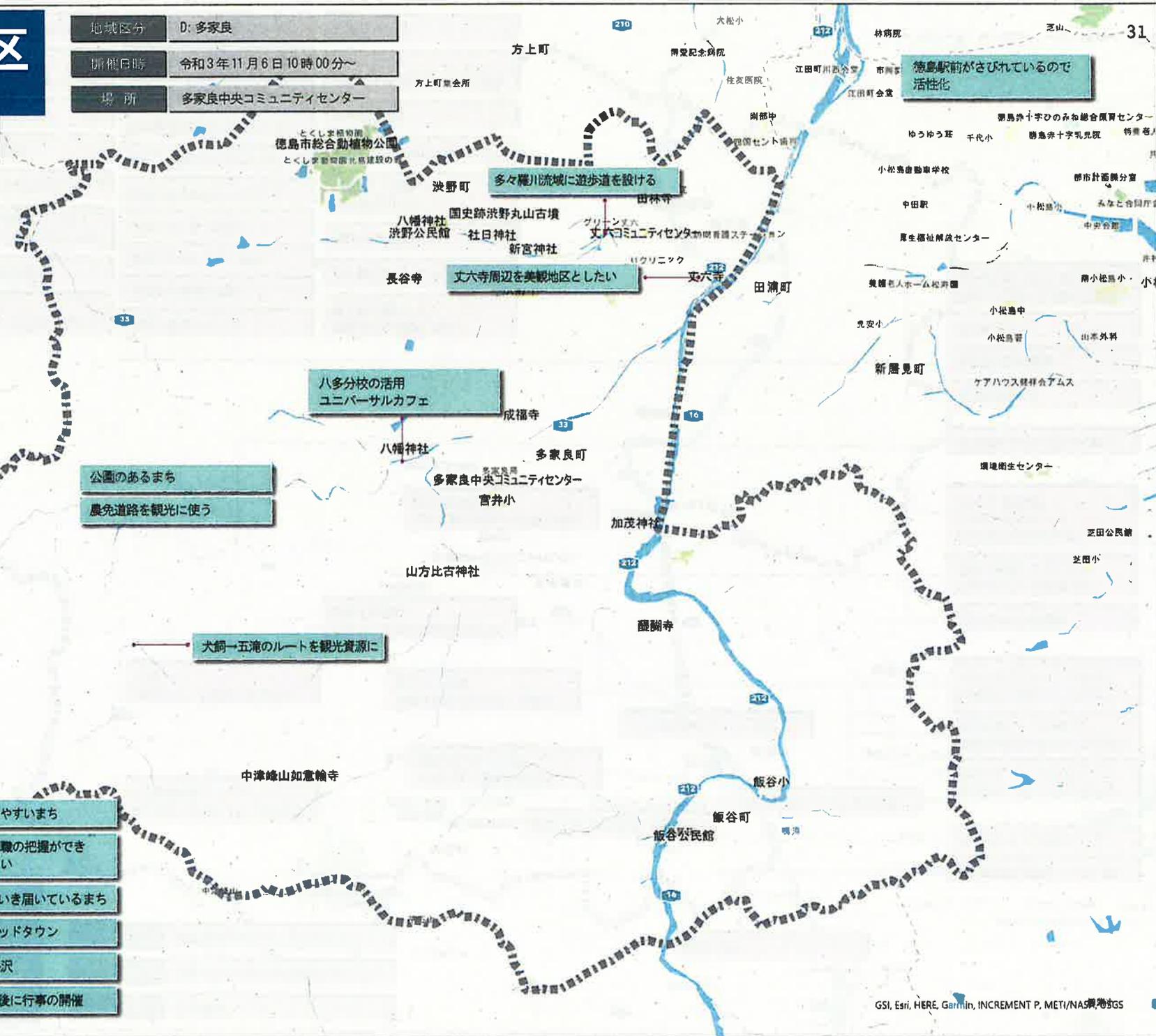
地域区分	D: 多家良
開催日時	令和3年11月6日 10時00分～
場所	多家良中央コミュニティセンター

③住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

- 高齢者が安心できるまちづくり
- 高齢者のくらしやすいまち
- 高齢者も若者もすべての人が住みやすいまちづくり
- 子どもから高齢者まで集まる場所がある
- 高齢者の集まる居場所のあるまち
- 認知症の人と支えあえる
- 認知症の人が学童や保育所、学校で仕事ができる
- 独居住民が困った時、頼っていただけるシステム
- 子どもが多く、明るいまちづくり
- 保育所がいつまでも存続してほしい
- 学童保育の設置
- 広々とした環境で子育てができる
- 地域で子どもを育てる
- 高齢者の増加に伴ない、公共交通機関の利便性が良い町
- 移動手段があまりないので、相乗りタクシー等の手段が欲しい
- 買物のしやすいまち
- 自然が守られた地域
- 田畑のある風景
- 良い住環境で里山散策ができる
- すだち狩り
- 宿泊型施設+農業支援
- みかんの農業支援
- 地域で暮らし続ける環境ができる

- ゴミ出しがしやすいまち
- 地域の専門職の把握ができていたらいい
- 防災教育がいき届いているまち
- レトロなベッドタウン
- 徳島の軽井沢
- コロナ終息後に行事の開催



多家良地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 豊かな自然環境がある
 - ・自然環境に恵まれている
 - ・自然環境が守られている
 - ・丈六寺の紅葉
 - ・中津峰山の資源（トレッキング）
 - ・パラグライダーの利用
 - ・五滝（登山・ハイキング）
 - ・田畑に来る様々な鳥や生物を楽しめる
 - ・風光明媚
 - ・水と緑がきれい
- 歴史や文化が保全されている
 - ・丈六寺
 - ・犬飼農村舞台
 - ・立岩神社
 - ・青連院
 - ・大匠寺
 - ・各地区の祭り
 - ・名所旧跡が多い
- 農業が盛んである
 - ・お米がおいしい
 - ・分木（用水組合の水を分けるところ）がある
 - ・豊かな土壌
 - ・農産物の種類が多い
- 地域コミュニティの繋がりが強い
 - ・近隣住民との繋がりがあたたかい
 - ・困ったときに助け合う伝統がある

【地域に起こっている変化や課題】

- 少子高齢化
 - ・一人暮らしの人が多く
 - ・買い物難民の高齢者が多く
 - ・人口減少（ただし、団地ができているところでは人口増）
- 公共施設の不足・利活用
 - ・公共施設が少ない（こども園、トイレ等）
 - ・八多分校の利活用
- 歴史的文化の保全・活用
 - ・観光資源の整備ができていない
 - ・旧跡の保全が出来ていない
 - ・名所、旧跡が知られていない
- 防災力の向上
 - ・土砂災害の不安
- 害獣被害の増加
- 環境の改善
 - ・環境問題（大気、水）
 - ・焼却施設に対する不安
- 廃棄物処理場の適切な管理
 - ・廃棄物処理場（民間）があり、ゴミ捨て場になりかけている
- 農業の存続
 - ・農家の後継者不足
 - ・農業従事者の減少
 - ・休耕田の増加
- 空き家の増加
 - ・放置された廃屋が危険で、見た目が悪い
- 道路の安全性
 - ・道路の整備が不十分
 - ・車道が整備（拡幅）されたが、自動車の速度が速すぎて危険
 - ・八多川、勝浦川の横の道路を通行する自動車が増加し、歩行者が危険
- 公共交通の不足
 - ・公共交通機関の利便性が悪い

【住みたいまちのイメージ】

- 自然が豊かなまち
 - ・徳島の軽井沢
 - ・自然が守られた地域
 - ・良い住環境
 - ・里山散策ができる
 - ・田畑のある風景
 - ・ハイキング、トレッキング、パラグライダーなどのアクティビティが盛ん
- 子どもが明るく育つまち
 - ・子どもが多く、明るいまち
 - ・広々とした環境で子育てができる
 - ・地域で子どもを育てる
 - ・学童保育の設置
 - ・保育所がいつまでも存続してほしい
- 高齢者が安全安心に暮らせるまち
 - ・高齢者が安心できるまち
 - ・独居住民が困った時、頼っていただけるシステム
 - ・公共交通機関の利便性が良いまち

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 子どもから高齢者まで暮らしやすいまちづくり
 - ・子育てしやすい環境づくり
 - ・高齢者が安心できるまちづくり
 - ・地域で子どもを育てるまち
- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・農業的土地利用の保全
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・空き家、空き地の有効活用（高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用）
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用
 - ・農業を活かした交流活動
 - ・自然を活かしたアウトドアスポーツの里
- 安全安心なまちの実現
 - ・高齢者に優しいインフラ
 - ・交通環境の整備
 - ・環境対策の推進

E: 昭和地区

市民ワークショップ

③住みたいまちのイメージ

地域区分	E: 昭和・津田
開催日時	令和3年10月31日 10時00分
場所	津田コミュニティセンター

地区全体に関する意見

- 大型商業施設誘致によるぎわいづくり
- 子どもがたくさんいる安全なまち
- 町内会がしっかりして、知り合いが多いまち
- 安全安心なまち

小学校区の一元化
(昭和小、富田小)

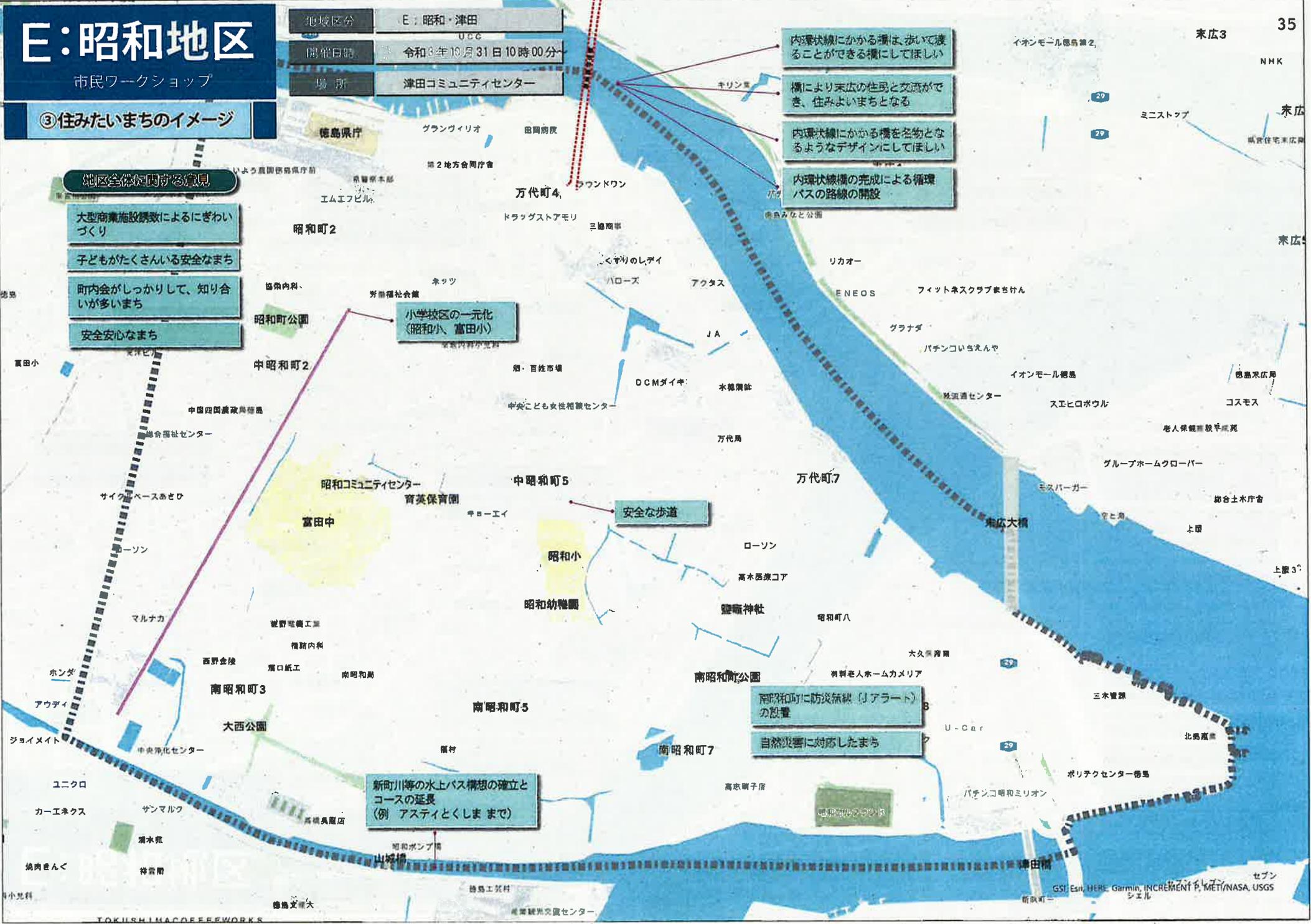
安全な歩道

新町川等の水上バス構想の確立と
コースの延長
(例 アスティとくしままで)

昭和町に防災無線(Jアラート)の設置

自然災害に対応したまち

- 内環状線にかかる橋は、歩いて渡ることができる橋にしてほしい
- 橋により末広の住民と交流ができ、住みよいまちとなる
- 内環状線にかかる橋を名物となるようなデザインにしてほしい
- 内環状線橋の完成による循環バスの路線の開設



昭和地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 市民が利用可能な地域資源
 - ・万代中央ふ頭の資源を活用したにぎわいづくり
 - ・末広・沖洲方面へのアクセスがよい
- 地域コミュニティが活発
 - ・神社の祭りがある
 - ・福祉まつりが盛ん
 - ・町民運動会が盛ん
 - ・住人がフレンドリー
- 高齢者にやさしい住環境
 - ・スーパーなどの店舗が近い
 - ・公園が多い
 - ・閑静な住宅街で住みやすい
- 子育て世代が働きやすい環境
 - ・学童保育がある

【地域に起こっている変化や課題】

- 水辺の景観の改善
 - ・津波等の災害時に、船が、橋、水道橋、家を壊す恐れがある
 - ・ケンチョピアが漁港化し、漁船が多く美観が悪い
- 津波発災時の避難施設の不足
 - ・津波避難場所がない（南昭和町）
 - ・避難タワーや災害対応のためのドローンが必要
- 空き家、空き地の有効活用
 - ・空き家、空き地の増加
 - ・世帯数の減少、高齢化
- 安心安全な生活環境
 - ・防犯カメラ、防犯灯の設置
- 安全な道路整備
 - ・道路が狭く、通学路が危険
 - ・道路の拡幅整備ができてない
 - ・事故が多い
 - ・福島方面へ橋で横断できない（都市計画道路の未整備）
- 乳幼児の保育施設の不足
 - ・昭和幼稚園、昭和保育所、育英認定こども園のあり方の検討が必要
 - ・昭和幼稚園の廃止問題
- 観光資源がない
 - ・山、寺、文化財等の観光資源がほとんどない
 - ・自慢できる施設が少ない
- 地域コミュニティの形成
 - ・小学校区が分断されている
 - ・地域意識の希薄化
 - ・世代間の交流がない
- 商業施設の不足
 - ・地区内に大型商業施設がない

【住みたいまちのイメージ】

- 歩いて暮らせるまち
 - ・内環状線にかける橋は歩いて渡ることができる橋に
 - ・内環状線にかける橋を名物となるようなデザインに
 - ・内環状線（橋）の完成による循環バスの路線の開設
 - ・橋があれば、末広地区との住民間の交流ができる
 - ・安全な歩道の整備
- にぎわいの創出
 - ・大型商業施設の誘致によるにぎわいづくり
- 災害に強い安全安心なまち
 - ・自然災害に対応したまち
 - ・安全安心なまち
 - ・南昭和町に防災無線（Jアラート）の設置
- 地域コミュニティが濃密なまち
 - ・子どもがたくさんいる安全なまち
 - ・町内会がしっかりして知り合いが多いまち
 - ・小学校区の一元化（昭和小、富田小）
- 水辺の資源を活かしたまち
 - ・新町川等の水上バス構想の実現

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の充実とまちなか居住の推進
 - ・商業機能の充実
 - ・子育てしやすい環境づくり
- 災害に強いまちづくり
 - ・河川改修等の浸水対策（津波、浸水リスクの軽減）
 - ・避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
 - ・避難場所の整備
 - ・ケンチョピアの係留船の整理
- 歩いて暮らせるまちづくりの推進
 - ・安全で便利な生活道路の整備
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・水辺の景観保全
 - ・水辺を活かした交流空間の形成
- 若い世代の地域活動への参加促進
 - ・子育て世代が参加したくなる仕組みづくり
 - ・地区外の若い世代との交流
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・住民間の交流の促進
 - ・地域住民による安全安心なまちづくり

E:津田地区

市民ワークショップ

地域区分 E: 昭和・津田
 開催日時 令和3年10月31日 10時00分～
 場所 津田コミュニティセンター

① 地域の魅力・資源、課題

地区全体に関する意見

台風・集中豪雨時の浸水対策

津波が心配

公共の下水道未整備によるイメージダウン

公共下水道の計画から外れている

公共下水道整備（公共下水道区域に指定）都市マスに記載して

空き家が多く、倒壊、火事、蜂の巣等の被害対策（町内会に対して所有者等などの個人情報を知らせていただきたい）

空き家が目立ち、草がはえ、さびれてきた

空き家が市内で一番多い

津波が心配→住むのが不安→空き家が増加

大型スーパーができたから小売店が少ない

住民の高齢化が進んでおり、独居老人が増えている

子育てに優しくない

小学生が少なくなった

高台の避難所を整備

コロナ・インフルエンザ対策施設を増やしてほしい

避難所への道が狭い整備を急いでほしい

交通渋滞が起こりやすい

西新浜から山城への道路 歩行者・自転車道の添架

都市計画道路 対向できないところがある（環状線との取り合い部、待避所を用地買収して道を広げてほしい）

津田山の避難所が活用できていない

津田山があり鳥が来る

津田山の津波避難場所が整備されている⇒有効活用する

津田山や川に囲まれ、自然は減りつつも恵まれている

お地蔵さんが多い

中学校の防災教育

津田西町の道が狭い

車が多くなり歩行者・自転車に優しくなっている

高速道の南進工事が始まった

排水機場の整備（津田港）

高速道にインターが接続された

公共下水道終末処理場の計画は？材木団地

津田のバイオマス工場の環境影響について 環境部署のチェックをすることになっているか？

バイオ発電工事

東環状線工事が進んでいる

新しい道路（環状線）が出来たことに対する安全対策

交通量が多くなっている特にトラック大型車

地区全体に関する意見

地域と学校の連携がスムーズに行われている

近所つきあいなど、人と人とながりがある

各団体がまとまっている

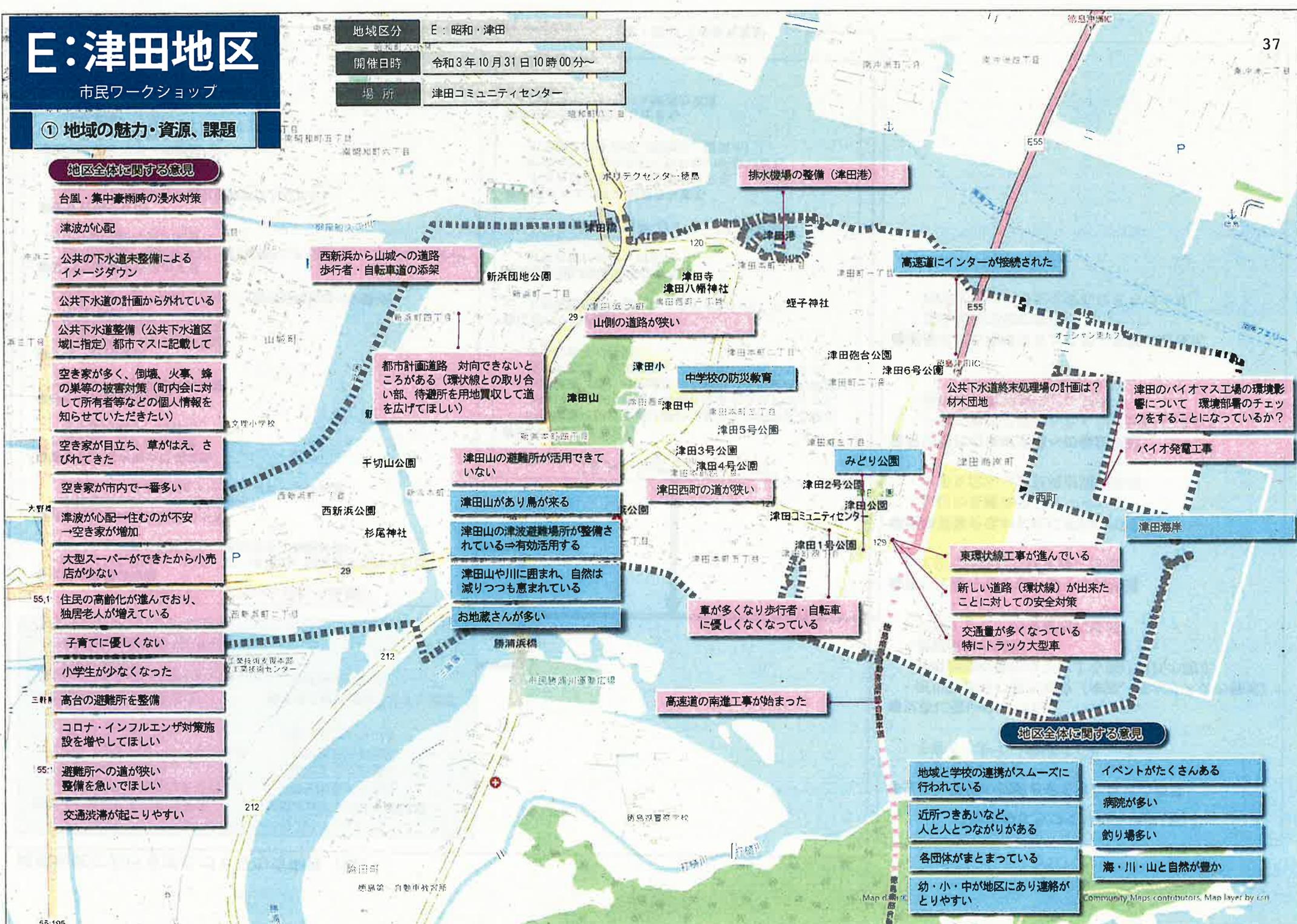
幼・小・中が地区にあり連絡がとりやすい

イベントがたくさんある

病院が多い

釣り場多い

海・川・山と自然が豊か



E:津田地区

市民ワークショップ

②住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

自助・共助の連携が取れているまちづくり

災害に強いまちづくり

電線の地中化（交通障害・防災面）

下水道の整備

自転車が通りやすい道路づくり（歩道をつくる）

健康づくりの講座新設

子育てにやさしいまちづくり

若い夫婦が安心して働けるまち

緑の多いまち

環境も良く、防災に強いまちになれば人が集まってくる

ごみの分別ができてまちがきれい、ごみのないまちづくり

道路が細いので、もう少し広くする

住民の明るい笑顔が見れるまち

地域区分	E：昭和・津田
開催日時	令和3年10月31日10時00分～
場所	津田コミュニティセンター



津田地区におけるまちづくりの方向性 (案)

【地域の魅力や資源】

- 学校を中心とした連携
 - ・地域と学校の連携がスムーズに行われている
 - ・幼、小、中が地区にあり、連絡がとりやすい
- 地域の防災対策が進んでいる
 - ・中学校の防災教育
 - ・津田山に津波避難場所が整備されている⇒有効活用する
- 自然環境が豊か
 - ・海、川、山、自然が豊か
 - ・海が近く、釣り場が多い
 - ・津田海岸
 - ・津田山に鳥が来る
- 交通利便性の向上
 - ・高速道路にインターが接続された
- 地域コミュニティ活動が活発
 - ・人と人がつながっている (近所つきあい)
 - ・各団体がまとまっている
 - ・イベントがたくさんある
- 地域医療が整備されている
 - ・病院が多い

【地域に起こっている変化や課題】

- 自然災害への対応
 - ・台風、集中豪雨時の浸水対策が必要
 - ・津波が心配
 - ・排水機場が整備されていない (津田港)
 - ・津田山の避難所が活用できていない
 - ・避難所への道が狭い
 - ・高台の避難所整備が必要
 - ・新型コロナウイルスやインフルエンザ対策の施設の増設
- 円滑な地域交通のための道路整備
 - ・道が狭い (特に津田西町の山側、都市計画道路の予定地で道幅が狭い箇所がある)
 - ・交通渋滞が起こりやすい
 - ・大型トラックなどの交通量が多くなっており、歩行者や自転車にとって危険
 - ・東環状線の整備と並行した安全対策の推進
- 空き家、空き地を活用
 - ・空き家の増加
 - ・空き家の倒壊、火事、蜂の巣等の被害対策が必要
 - ・町内会に対して、空き家所有者の情報を知らせてほしい
- バイオマス発電所の建設
 - ・バイオマス発電所の環境影響についてのチェックが必要
- 公共下水道の整備
 - ・公共下水道区域に指定
 - ・終末処理場を作ってほしい
- 子育て世代に優しい環境整備
 - ・子育てに優しくない
 - ・小学生が少なくなった
- 日常の買物等の生活利便施設の充実
 - ・小売店が少ない
- 高齢化への対応
 - ・住民の高齢化が進んでいる
 - ・独居老人が増えている

【住みたいまちのイメージ】

- 災害に強いまち
 - ・自助、共助の連携が取れている
 - ・電線の地中化 (交通障害・防災面)
 - ・津田山を防災公園として整備
 - ・津田小学校から津田山東避難場所へ、直接上がれる螺旋階段・スロープを整備
- 緑を活かした環境にやさしいまち
 - ・緑の多いまち
 - ・海岸町における公園、運動場の整備
 - ・下水道の整備
 - ・ごみのないまちづくり (ゴミステーションの設置)
- 歩行者や自転車にやさしいまち
 - ・道を広げるにより自転車が通りやすい道路づくり (歩道をつくる)
 - ・津田山の散歩道

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の充実と自然環境を活かした快適な定住環境の維持
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・子育てしやすい環境づくり (子育て施設や身近な公園の充実)
 - ・空き家、空き地の有効活用
 - ・狭い道の拡幅
 - ・木材団地にゴミステーション
 - ・公共下水道の整備、終末処理場の設置
- 災害に強いまちづくり
 - ・河川改修等の浸水対策 (津波・浸水リスクの軽減)
 - ・防災公園の整備や避難所への動線の整備
 - ・自助、共助による避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
- 地域資源を活かした地域づくり
 - ・海、川、山などの自然環境の活用
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・まちづくり活動団体と住民の連携
 - ・美化清掃活動の推進

F: 渭北地区

市民ワークショップ

地域区分	F: 渭北・渭東・沖洲
開催日時	令和3年10月26日 19時00分～
場所	沖洲コミュニティセンター

① 地域の魅力・資源、課題

地区全体に関する意見

- 商店街が消滅の危機
- 独居老人が増加
- 空家の増加により危険なブロック塀の放置
- 川に挟まれていて水害の恐れ
- 歩道を妨げる歩道橋がある
- 児童館がない
- 下水道のインフラ未整備
- 通学路に防犯カメラがない
- 道路整備（通学路確保）
- マンション住人が増え、町内会未加入が増加
- マンションの急増
- 町内会の活動内容を知らない

地区全体に関する意見

- 歩こう会の参加率が高い
- 学生の街
- 公園が多い

◆耐震化できてない
⇒避難場所に行けない
⇒対岸の学校が避難場所

八坂神社
歩道が汚い（雑草の管理不足）

歩道橋が少なく、老朽化している

老朽化した歩道橋が危ないので撤去してほしい

危ない樹林がある

蜂須賀家墓所

水源がある

歴史ある藩主の菩提寺

興源寺

興源寺川
大岡川の遊歩道の整備がされていない

助任小学校など人気の学校がある

道が細く、家の建て替えが出来ない

コミュニティセンターにエレベーターがない

渭北の名前の由来

助任川水際公園

駅まで徒歩圏

公園の整備が主に近隣コミュニティ向けになっている



F:滑北地区

市民ワークショップ

地域区分	F:滑北・滑東・沖洲
開催日時	令和3年10月26日 19時00分～
場所	沖洲コミュニティセンター

②住みたいまちのイメージ

地区全体を囲む意見

交流拠点としての魅力

地域の人を子供たちのコミュニケーションの場を増やす

世代間のコミュニケーションがとれているまち

公園が使いやすい

安全に通行できる(小学生&高齢者)

安心安全のまちづくり

防犯カメラが多くして抑止力のあるまち



渭北地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 歴史的文化が保全されている
 - ・ 興源寺、蜂須賀家墓所、助任緑地、水源がある
- 歩いて憩える河川敷公園などが整備されている
 - ・ 公園が多い（助任川水際公園、河川敷運動公園）
- 教育施設が充実している
 - ・ 助任小学校など人気の学校がある
 - ・ 文教地区、学生のまち

【地域に起こっている変化や課題】

- 災害に対する整備
 - ・ 避難所、避難所までの動線の耐震化
 - ・ 川に囲まれた地形で水害のリスクが高い
- 社会基盤の整備
 - ・ 下水道が未整備の箇所がある
 - ・ 道が細く、家の建て替えが出来ない場所が多い
 - ・ 徳島中央公園が近隣コミュニティ向けの公園整備になっている
- 商店街の衰退
 - ・ 商店街の消滅の危機
- 子どもの教育環境の整備
 - ・ 児童館がない
- コミュニティセンターの整備
 - ・ コミュニティセンターにエレベーターがない
- 住民同士のコミュニティ形成
 - ・ 新規開発によるマンションの住人は町内会未加入が多い
 - ・ 町内会の活動内容を知らない人が多い
 - ・ マンションの急増
 - ・ 独居老人の増加
 - ・ 空き家の増加
- 安全安心な歩行環境の整備
 - ・ 興源寺川、大岡川の遊歩道が整備されていない
 - ・ 通学路に防犯カメラが設置されていない
 - ・ 通学路の安全を確保する道路整備がされていない
 - ・ 樹林が放置され危険
 - ・ 通りが狭い
 - ・ 歩道が汚い（雑草の管理）
 - ・ 歩行を妨げる歩道橋がある
 - ・ 歩道橋が少ない、古い

【住みたいまちのイメージ】

- 魅力的な交流拠点が保全されている
 - ・ 公園が使いやすい
 - ・ 安全に通行できる（小学生&高齢者）
 - ・ 興源寺、助任緑地へのアクセス路を増やし、利便性向上
- 誰もがコミュニティに加わるまち
 - ・ 地域の人と子どもたちのコミュニケーションの場を増やす
 - ・ 世代間のコミュニケーションがとれているまち
- 安全安心のまち
 - ・ 防犯カメラを設置した安全安心なまち

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 安全安心な歩行環境の整備
 - ・ 防犯カメラの設置
 - ・ 歩行を妨げる歩道橋の撤去
 - ・ 親水空間と合わせた歩きたくなる歩行環境の整備
 - ・ 狭い通りの拡幅整備
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・ 点在する歴史文化施設を歩きやすい歩行環境で繋ぎネットワーク化
- 浸水リスクの軽減
 - ・ 河川改修等の浸水対策
 - ・ 下水道の整備
 - ・ 避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・ まちづくり活動団体、商店街の連携
 - ・ 地域コミュニティとマンション入居者の交流促進
 - ・ 児童館やコミュニティセンターの整備

F: 渭東地区

市民ワークショップ

地域区分	F: 渭北・渭東・沖洲
開催日時	令和3年10月26日19時00分～
場所	沖洲コミュニティセンター

① 地域の魅力・資源、課題

地区全体に関する意見

- 文教区 渭北にとられてしまう
- 小学生の減少
- 若者の減少、子どもの減少
- 沖洲幼稚園→認定こども園
福島幼稚園→存続
城東幼稚園→R5.4閉園
- 空き家が増えた
- 土地が高い
- 道が細いので、家が建てられない
- 渋滞
- 通学、自転車、遠回り
- 河川の浚渫
- ほとんどが埋立地なので地震による液状化の発生
- 津波が心配
- コロナで防災訓練ができていない
- 公園がない

地区全体に関する意見

- 静かな住宅地（中心街に近い）
- 古くからつき合いがある
- 古くからのまち、歴史がある
- 新築が建っている
- 大学生が多い
- 病院が多い
- 飲食店が多い
- スーパーが多く、買い物に困らない
- 大型店が増えた
- バス便が多い

市民病院に近い

町ごとの桜 小学校の桜

大岡川沿い 桜20本余り植樹
(10年前～) (2年前11本、
10年前10本)

消防車が通れない

対向車が通れない

商店街がある

道が明るい

幼稚園が閉園(令和5年4月)
した後、跡地

内環状線の進行状況
進めるのか?やめるのか?

川沿いが気持ちいい

福島本通り 車が減った

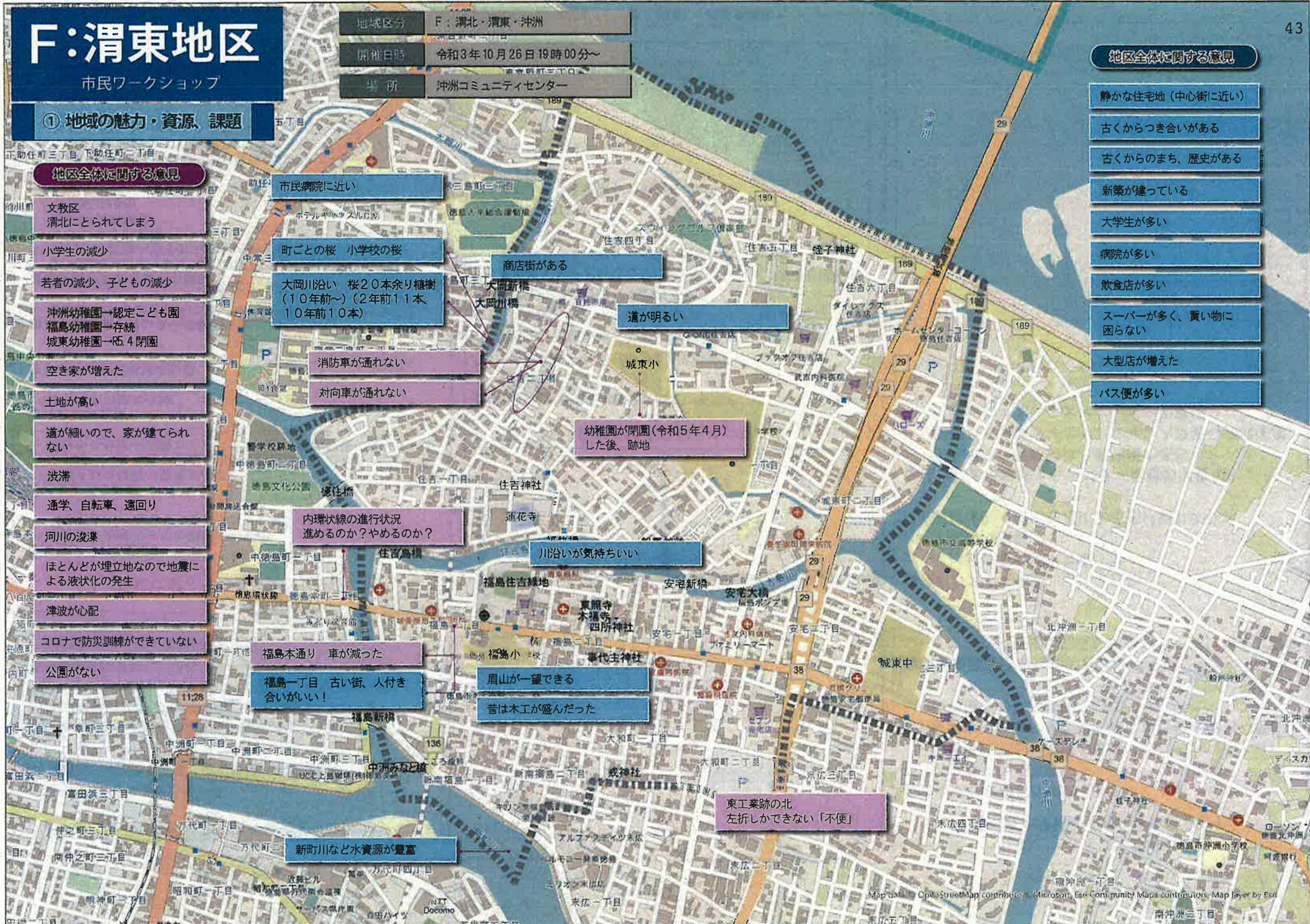
福島一丁目 古い街、人付き
合いがいい!

眉山が一望できる

昔は木工が盛んだった

新町川など水資源が豊富

東工業跡の北
左折しかできない「不便」



F: 渭東地区

市民ワークショップ

地域区分	F: 渭北・渭東・沖洲
開催日時	令和3年10月26日 19時00分～
場所	沖洲コミュニティセンター

② 住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

- 明るく清潔なまち
- 街並み、景観が良い
- 歩きやすい道

河川周辺の整備 桜がきれい



渭東地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 歴史的文化が保全されている
 - ・ 古くからのまち、歴史
 - ・ 昔は木工が盛んだった
- 水と緑の景観資源
 - ・ 新町川など水資源が豊富
 - ・ 川沿いが気持ちいい
 - ・ 大岡川沿いの桜
 - ・ 眉山を一望できる
- 飲食物販の商業施設が多い
 - ・ スーパーが多く、買い物に困らない
 - ・ 大型店が増えた
 - ・ 商店街がある
 - ・ 飲食店が多い
- 静かで明るい住宅環境
 - ・ 静かな住宅地（中心街に近い）
 - ・ 道が明るい
 - ・ 新築が建っている
- 充実した公共交通
 - ・ バス便が多い
- 教育施設の充実
 - ・ 大学生が多い
- 濃密な地域コミュニティ
 - ・ 古くからつき合いがある
 - ・ 人付き合いがいい！
- 充実した医療体制
 - ・ 病院が多い
 - ・ 市民病院に近い

【地域に起こっている変化や課題】

- 自然災害に対する備えが必要
 - ・ 津波が心配
 - ・ コロナで防災訓練ができていない
 - ・ ほとんど埋立地で、地震による液状化が懸念
- 空き家、空き地の活用が必要
 - ・ 空き家が増えた
 - ・ 城東幼稚園の閉園後の跡地の活用
- 渋滞解消も含めた円滑な交通網の整備が必要
 - ・ 内環状線の進捗状況
 - ・ 対向車が通れないような、狭あい道路
 - ・ 渋滞が多い
 - ・ 道が細く、家が建てられない
- 魅力的な子育て、定住環境の充実が必要
 - ・ 若者の減少、子どもの減少
 - ・ 公園がない
 - ・ 城東幼稚園の閉園

【住みたいまちのイメージ】

- 歩いて楽しいまち
 - ・ 明るく清潔な街並み、景観
 - ・ 歩きやすい道
- 緑と水辺が整備されたまち
 - ・ 河川の周辺の整備
 - ・ 桜がきれいなまち

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の向上と居住環境の充実
 - ・ 身近な商業機能の充実
 - ・ 子育てしやすい環境づくり
 - ・ 空き家、空き地の有効活用
 - ・ 円滑な交通を促すための道路網の整備
 - ・ 歩行者ネットワークの整備
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・ 歴史文化資源の活用
- 水と緑を活かした交流空間の充実
 - ・ 水辺を活かした親水空間の形成
 - ・ 水辺のにぎわい拠点づくり
 - ・ 水と緑、桜を活かした地域景観の保全、創出
- 浸水リスクの軽減
 - ・ 河川改修等の浸水対策
 - ・ 避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止

F: 沖洲地区

市民ワークショップ

地域区分	F: 渭北・渭東・沖洲
開催日時	令和3年10月26日 19時00分～
場所	沖洲コミュニティセンター

① 地域の魅力・資源、課題

地区全体に関する意見

通学路の整備 子どもの園の新設にともない更に危険になる

子どもの数の増加によりインフラ整備が必要

子どもの遊ぶ場所が少ない公園で遊ぶと苦情がくる

交番を設置してほしい 諸々の抑止力 最近暴走が多い

交通安全施設の整備

不審者が多いような気がするので、子ども達が心配 見回りの強化 公園が安心できない

南沖洲の住宅地は街灯がないので暗くなると危ない

町内会の組織がないと街灯設置が課題

地区全体に関する意見

高速道路も津波避難に使える

津波避難所と兼ねて小学校・高校

海が近いので、港の整備、活用で地域を活性化したい

高速道路のインターがあるので、サービスエリア等、商業が発展する様に整備(道の駅)

徳島市の交通ネットワークの要

大型商業施設がある

自然が残っている(シオマネキの生息)

吉野川の河口および海浜公園の整備

道路の整備

夕方、車の進入が多くなる

コミュニティセンターから吉野川堤防まで横断歩道が一つもない

公園などで活用できないか

ゴミのイメージ払拭、醜い施設など、プラスのイメージを作るようなものが増えるといい

マリンピアの通勤者の車が、朝夕多く、生活道路に進入してくる

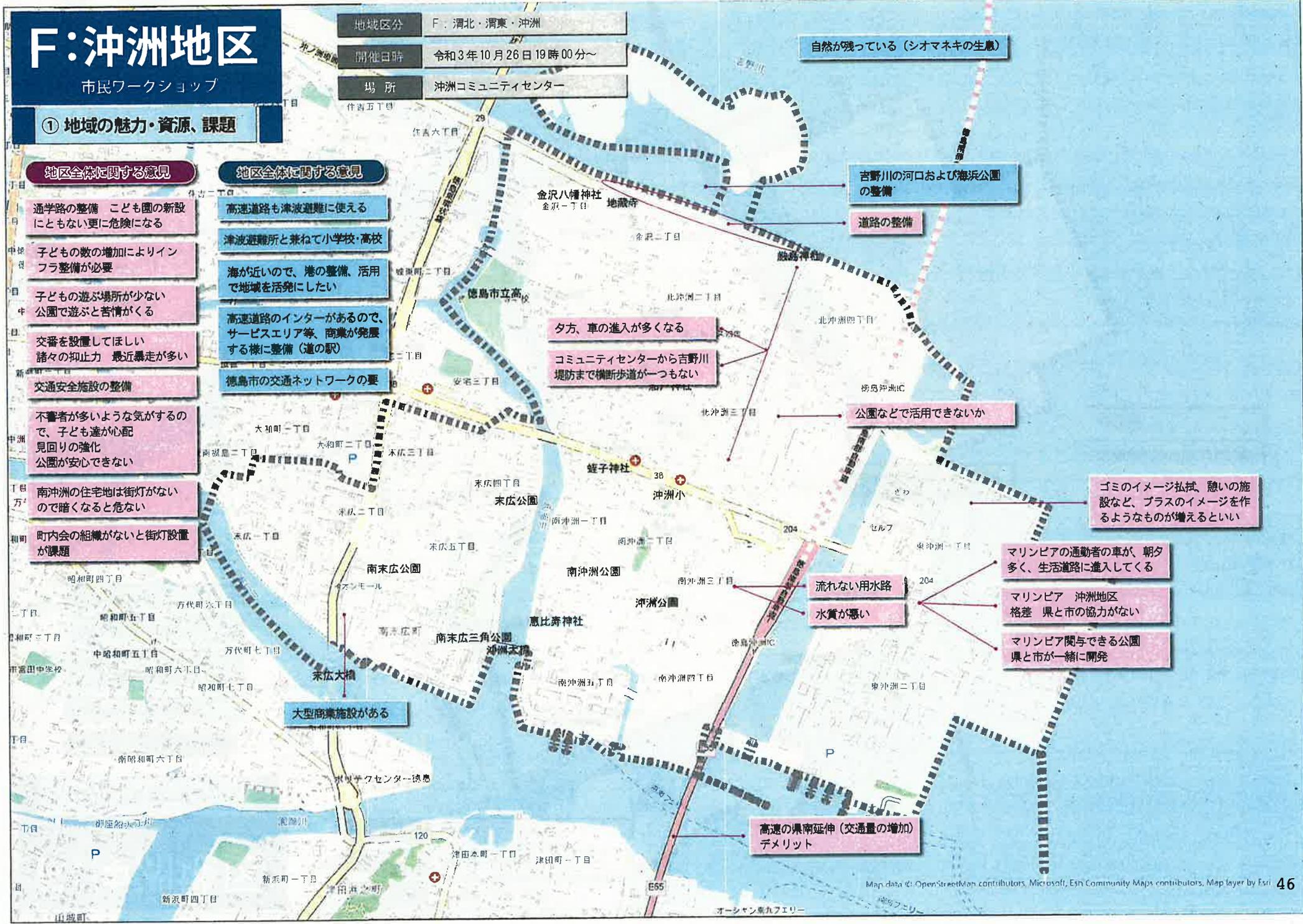
マリンピア 沖洲地区 格差 県と市の協力が無い

マリンピア関与できる公園 県と市と一緒に開発

流れない用水路

水質が悪い

高速の県南延伸(交通量の増加) デメリット



F: 沖洲地区

市民ワークショップ

② 住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

市道以外にも下水道の整備

小、中、高、大学全部ある教育のまち

子育てにやさしい町

安心安全な町

地域区分	F: 渭北・渭東・沖洲
開催日時	令和3年10月26日 19時00分～
場所	沖洲コミュニティセンター



中央市場の移転 跡地利用
土地を活用するサービスエリア

ごみ焼却場に併設した憩える場所

発電設備

Map data © OpenStreetMap contributors, Microsoft, Esri Community Maps contributors, Map layer by Esri

沖洲地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 大型商業施設がある
- 自然災害に対する避難路、避難所が整備されている
 - ・高速道路も津波避難に使える
 - ・津波避難所を兼ねる小学校、高校
- 河口や海が活用されている
 - ・海が近く、港がある
 - ・自然が多く残っている（シオマネキの生息）
 - ・吉野川の河口および海浜公園がある
- 高速道路など要となる交通ネットワークがある
 - ・徳島市の交通ネットワークの要

【地域に起こっている変化や課題】

- 安全安心な公園の整備
 - ・子どもの遊ぶ場所が少ない（公園で遊ぶと苦情がくる）
 - ・子ども数の増加によりインフラ整備が必要
 - ・中央卸売市場が移転後、跡地を公園等で活用したい
- 安全安心な道路（通学路）の整備
 - ・交通安全施設の整備
 - ・通学路の整備（認定こども園の新設に伴い更に危険になる）
 - ・夕方、車の進入が多くなる
 - ・コミュニティセンターから吉野川堤防まで横断歩道が一つもない
 - ・南沖洲の住宅地は街灯がなく、暗くなると危ない
- 安全安心な見守り体制の強化
 - ・交番の設置
 - ・見回りの強化
- 用水路や河口の水質改善や維持管理
 - ・用水路の排水能力不足
 - ・用水路の水質悪化
 - ・ゴミ焼却場のイメージ払拭
- マリニピア周辺地域の円滑な整備
 - ・マリニピアと一体となった公園
 - ・マリニピアへの通勤者の自動車が朝夕増加し生活道路へ流入する
- 高速道路を活用した商業の活性化
 - ・高速道路の県南延伸による交通量の増加

【住みたいまちのイメージ】

- 子育て、教育に適したまち
 - ・小、中、高、大学が全部ある教育のまち
 - ・子育てにやさしいまち
 - ・安全安心なまち
- インフラ整備の行き届いたまち
 - ・市道以外にも下水道の整備
 - ・発電設備の設置
- 高速道路のネットワークを活かしたまち
 - ・ごみ焼却場に併設した市民が憩える場所
 - ・中央卸売市場移転後の跡地の活用
 - ・高速道路のインター付近に道の駅やSA等の商業施設の整備

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の充実と居住環境の推進
 - ・身近な商業機能の充実
 - ・子育てしやすい環境づくり
 - ・子どもの遊び場となる公園の充実
 - ・安全安心な道路空間の整備
- 水と緑を活かしたにぎわいづくり
 - ・水辺を活かした交流空間の形成
 - ・水辺のにぎわい拠点づくり
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・マリニピアと周辺地域との連携強化
- 高速道路ネットワークを活かしたにぎわいづくり
 - ・中央卸売市場移転後の跡地の活用
 - ・交通ネットワークの要となるにぎわい拠点づくり

G:佐古地区

市民ワークショップ

①地域の魅力・資源、課題

地域区分 G:佐古・加茂・加茂名
開催日時 令和3年11月26日19時00分～
場所 加茂コミュニティセンター

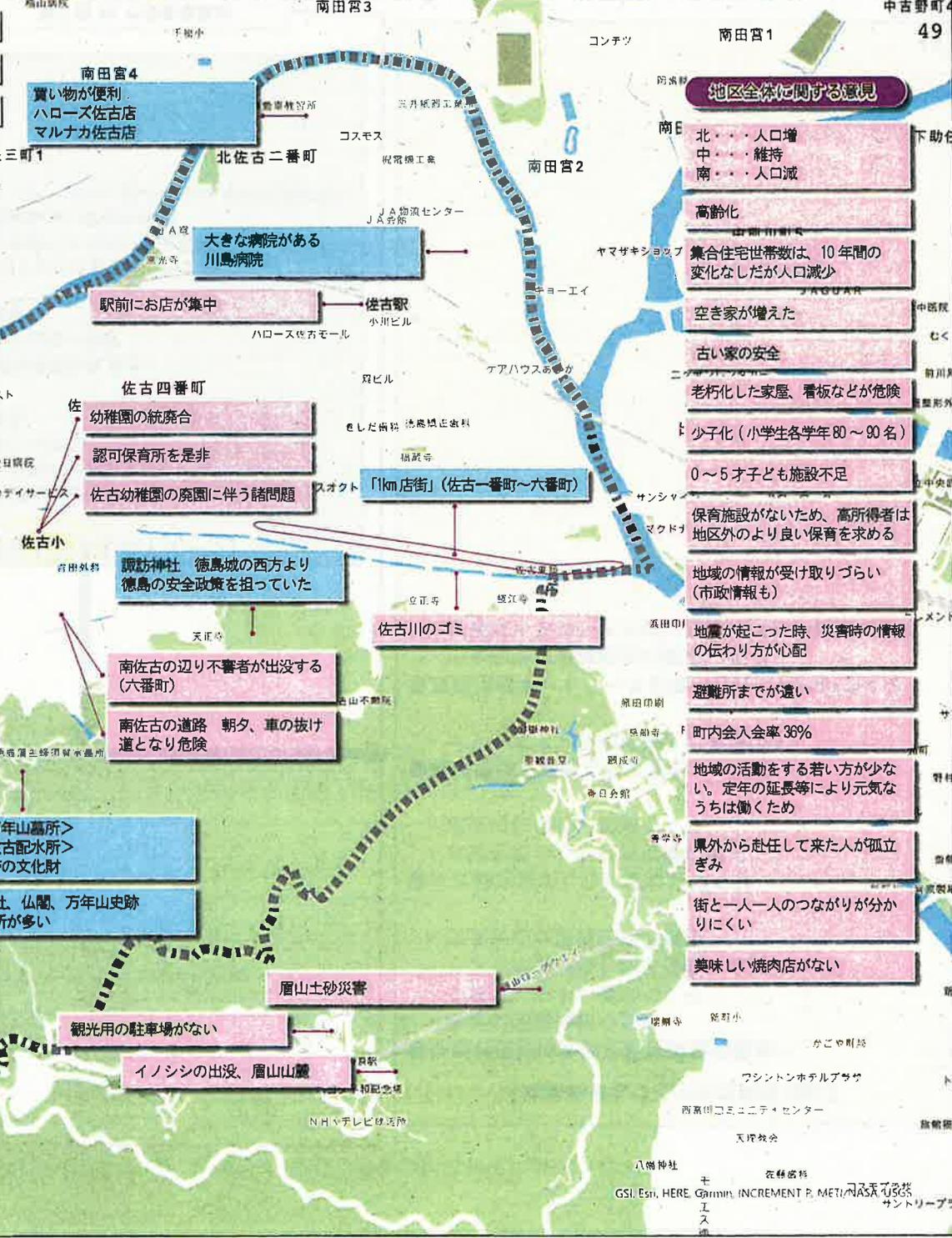
南矢三町1
 車が多い(スクールゾーンで南側)
 子どもが学校から帰る際の安全確保
 地区外から細い道に車が入ってくる
 道路が狭い(通学路)
 スピードが速い

佐古六番町
 大きな病院がある

佐古小
 スーパーがない
 買い物が不便
 佐古西部(五番町より西側)は、日常生活用品店なし

佐古四番町
 幼稚園の統廃合
 認可保育所を是非
 佐古幼稚園の廃園に伴う諸問題

佐古
 諏訪神社 徳島城の西方より徳島の安全政策を担っていた
 南佐古の辺り不審者が出没する(六番町)
 南佐古の道路 朝夕、車の抜け道となり危険



地区全体に関する意見

- 北・・・人口増
- 中・・・維持
- 南・・・人口減
- 高齢化
- 集合住宅世帯数は、10年間の変化なしだが人口減少
- 空き家が増えた
- 古い家の安全
- 老朽化した家屋、看板などが危険
- 少子化(小学生各学年80～90名)
- 0～5才子ども施設不足
- 保育施設がないため、高所得者は地区外より良い保育を求める
- 地域の情報が受け取りづらい(市政情報も)
- 地震が起こった時、災害時の情報の伝わり方が心配
- 避難所までが遠い
- 町内会入会率36%
- 地域の活動をする若い方が少ない。定年の延長等により元気なうちは働くため
- 県外から赴任してきた人が孤立ぎみ
- 街と一人一人のつながりが分かりにくい
- 美味しい焼肉店がない

地区全体に関する意見

- 教育熱心な人が多い
- 高所得者が多い
- アクセスの良いまち
- 学童の定員が多い(4つ)
- 小学校、学童保育が充実している
- 学校、病院、買物など利便性が高い
- 歴史・文化(神社・寺)
- 強力なリーダーがいる
- 長くまちをけん引してほしい
- 住宅地域に適している

<万年山墓所>
 <佐古配水所>
 一帯の文化財

神社、仏閣、万年山史跡
 名所が多い

眉山土砂災害

観光用の駐車場がない

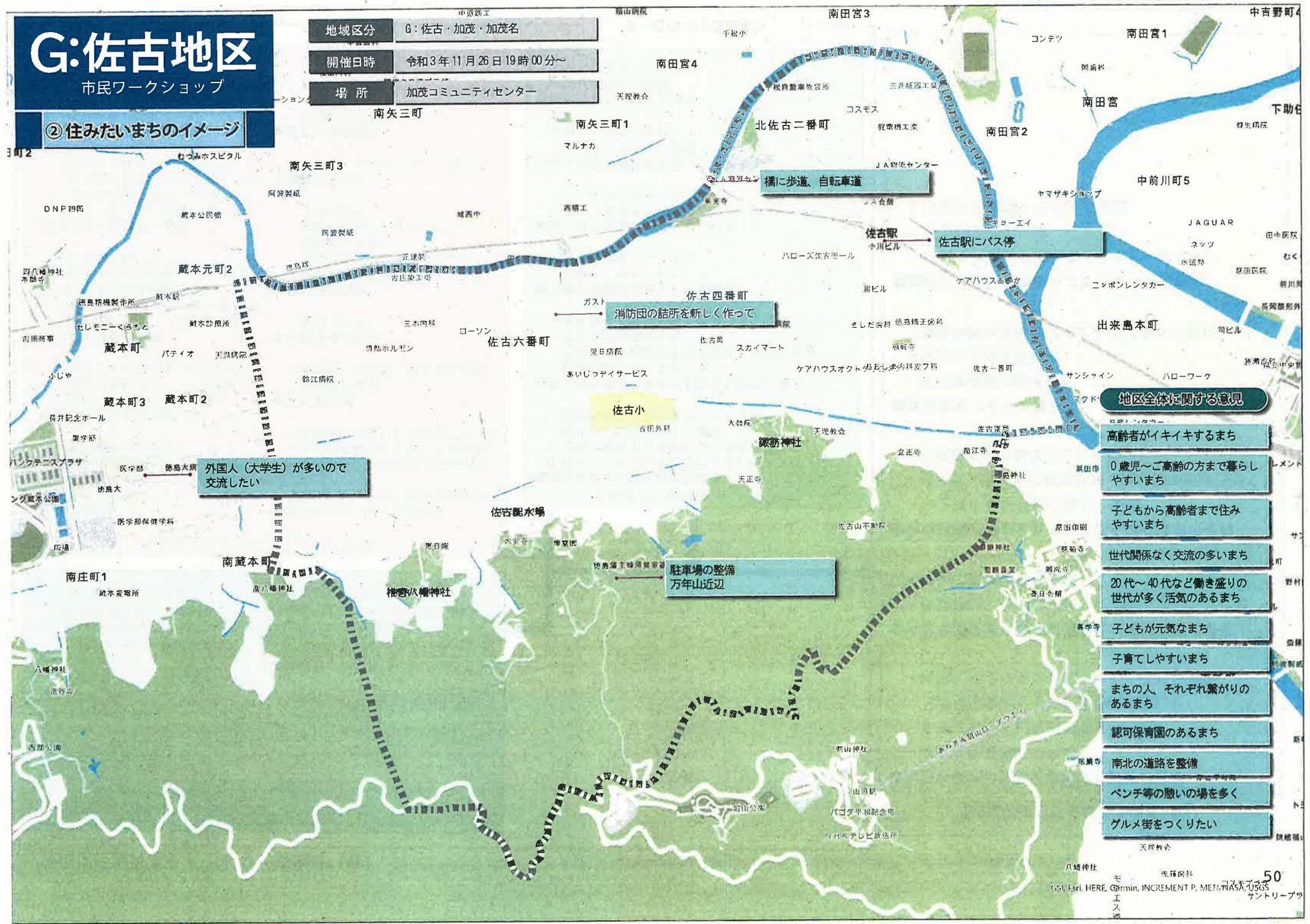
イノシシの出没、眉山山麓

G:佐古地区

市民ワークショップ

②住みたいまちのイメージ

地域区分	G:佐古・加茂・加茂名
開催日時	令和3年11月26日19時00分～
場所	加茂コミュニティセンター



外国人(大学生)が多いので交流したい

消防団の詰所を新しく作って

橋に歩道、自転車道

佐古駅にバス停

駐車場の整備
万年山近辺

地区全体に関する意見

- 高齢者がイキイキするまち
- 0歳児～ご高齢の方まで暮らしやすいまち
- 子どもから高齢者まで住みやすいまち
- 世代関係なく交流の多いまち
- 20代～40代など働き盛りの世代が多く活気のあるまち
- 子どもが元気なまち
- 子育てしやすいまち
- まちの人、それぞれ繋がりのあるまち
- 認可保育園のあるまち
- 南北の道路を整備
- ベンチ等の憩いの場を多く
- グルメ街をつくりたい

佐古地区におけるまちづくりの方向性(案)

【地域の魅力や資源】

- 子育てのしやすい環境がある
 - ・小学校や学童保育が充実
 - ・学童の定員が多い
- 生活利便性が高い
 - ・医院が多い
 - ・学校、病院、買物等利便性が高い
 - ・1km商店街 (佐古一番町～佐古六番町)
 - ・買い物が便利
 - ・住宅地域に適している
 - ・アクセスの良いまち
- 歴史文化資源がある
 - ・諏訪神社など神社仏閣
 - ・万年山史跡など名所が多い
 - ・万年山墓所や佐古配水場等、一帯の文化財
 - ・歴史、文化がある(神社、寺)
- 地域を牽引するリーダーがいる
 - ・地域活動を支えるリーダー
- 教育に力を入れる地域性がある
 - ・教育熱心な人が多い

【地域に起こっている変化や課題】

- 少子高齢化
 - ・高齢者が多い
 - ・少子化(各学年80～90名)
 - ・集合住宅世帯数は、10年間変化なしだが人口は減少
- 近隣商業施設の不足
 - ・駅前に店が集中している
 - ・地区の西側にスーパーがない
 - ・地区によっては買い物が不便
- 子育て環境の不足
 - ・保育施設がない(0～5歳児)
 - ・高所得者は地区外より良い保育を求める傾向にある
 - ・佐古幼稚園の閉園
 - ・認可保育所がほしい
- 安全安心な道路の整備
 - ・スクールゾーン南側の車が多い
 - ・通学時の安全確保(道が狭い)
 - ・細い道を地区外からの流入する車が多くスピードが速い
- 来街者用の施設整備
 - ・観光客用の駐車場がない(眉山)
- 地域コミュニティの活性化
 - ・街と一人一人のつながりが分りにくい
 - ・町内会入会率36%の地区もある
 - ・地域の活動をする若い人が減少
 - ・県外からの転入者が孤立している
- 空き家対策
 - ・空き家が増加
 - ・老朽化した家屋、看板等が危険
- 自然環境の保全
 - ・佐古川のゴミ
- 防災力の強化
 - ・土砂災害の不安(眉山)
 - ・災害時の情報伝達が心配
 - ・避難所まで遠い
 - ・地域の情報が受け取りづらい(市政情報も)
- 鳥獣被害対策
 - ・イノシシの出没(眉山山麓)
- 防犯体制の構築
 - ・不審者への対策

【住みたいまちのイメージ】

- 地域コミュニティのあるまち
 - ・まちの人がそれぞれ繋がっているまち
 - ・世代に関係なく交流の多いまち
 - ・消防団の詰所を新しく設置
 - ・在留外国人(大学生等)との交流
- 全ての住民がイキイキと暮らしやすいまち
 - ・高齢者がイキイキするまち
 - ・0歳児～高齢の方まで暮らしやすいまち
 - ・子どもが元気なまち
 - ・働き盛りの世代が多く活気のあるまち
- 子育て支援が充実しているまち
 - ・子育てしやすいまち
 - ・認可保育園のあるまち
- 歩行者や自転車にやさしいまち
 - ・橋に、歩道や自転車道がある
 - ・ベンチ等の憩いの場を多く
- 公共交通や道路網の整っているまち
 - ・佐古駅にバス停の設置
 - ・南北の道路の整備
- 観光資源を活用したまち
 - ・万年山周辺の整備
 - ・グルメ街をつくりたい

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の充実とまちなか居住の推進
 - ・身近な商業機能の充実
 - ・子育てしやすい環境づくり (認可保育園などの保育施設の充実)
 - ・円滑で安全な交通を促すための道路の整備
- 自然や歴史文化資源を活かした地域の魅力増進
 - ・諏訪神社、万年山史跡、佐古配水場等の文化財
 - ・周辺の駐車場等の整備
- 地域環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・空き家、空き地の有効活用(高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用)
- 防災まちづくりの推進
 - ・河川改修等の浸水対策
 - ・眉山の土砂災害対策
 - ・避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・子育て世代が参加したくなる仕組みづくり
 - ・多世代交流の促進
 - ・在留外国人等との交流の促進

G:加茂地区

市民ワークショップ

地域区分	G: 佐古・加茂・加茂名
開催日時	令和3年11月26日 19時00分～
場所	加茂コミュニティセンター

① 地域の魅力・資源、課題

地区全体に関する意見

- 福祉もちつき
- 全町運動会
- 夏まつり
- 文化祭
- スポーツや文化活動が盛んである
- 加茂地区の各種行事に住民が協力的である
- 人々(地区)が優しい
- 学校や教育施設が充実している
- 文教(高校)地区: 城内、県立工業、城北高校、中央高校
- 学園都市、高校が4校ある
- 医療施設や量販店が多くて便利
- JR: 徳島駅、佐古駅が近い
- 車両を使って、東西南北へ行くことができる
- 交通が良い
- 名所の明記(例) 煙硝蔵等の所在地

地区全体に関する意見

- ゴミの出し方を決まったルール通りにしてほしい
- 急速な都市化で新規住民との触れ合いが少ない
- 住民は増加しているが、町内会等への加入者が少ない
- 住民の連携が無い
- 下水工事の推進
- 水洗便所
- 空家が多い
- 休耕地が多くなり雑草がたくさん茂っている
- 土手の雑草を早く刈って欲しい
- 水害のない地区にしたい
- 土地開発の問題点と狭い道路の拡張

春日公園の整備

- 春日公園
- 春日1
- 春日2
- 春日3

県道30号線開通で交通の便が良い

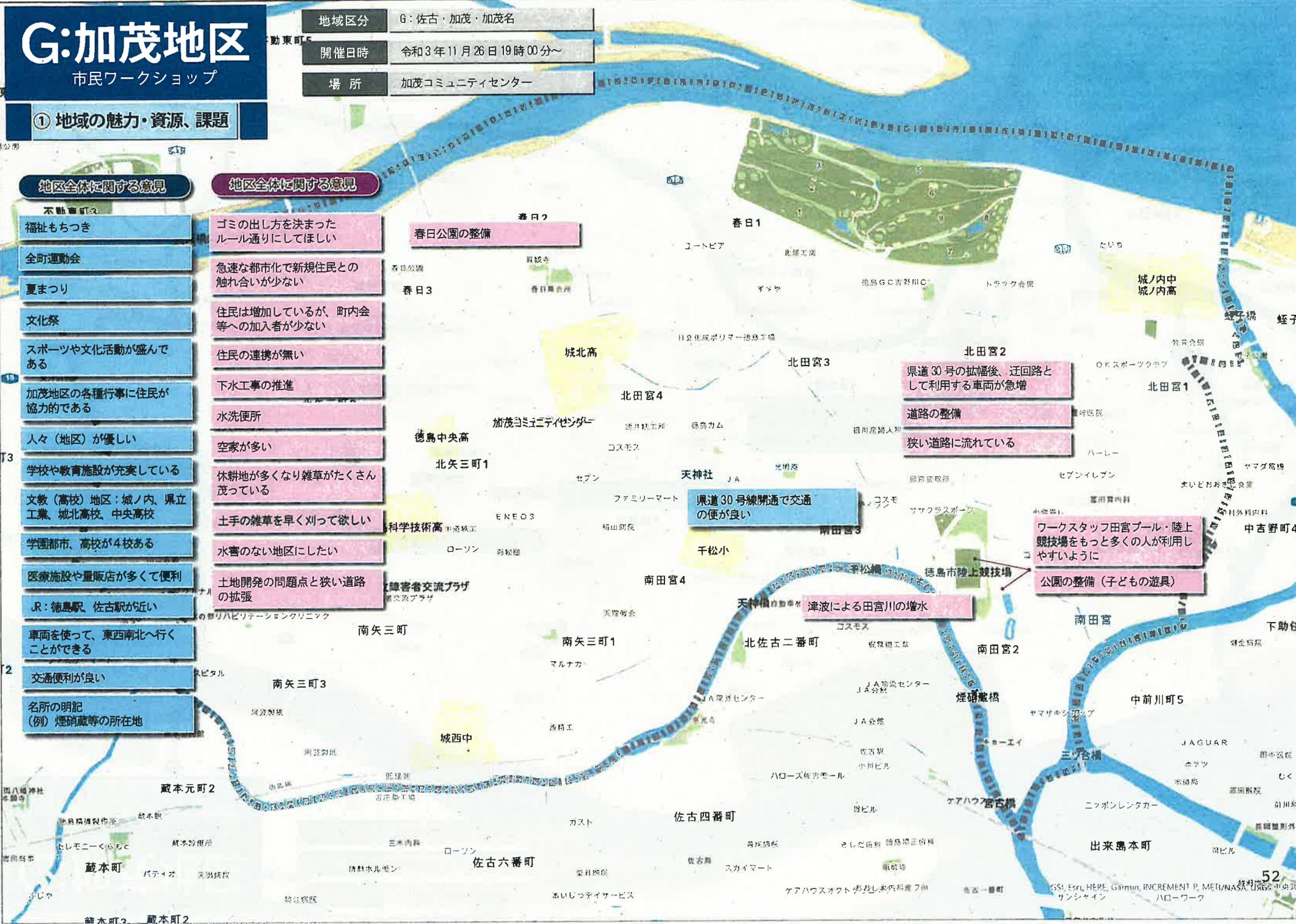
- 北田宮3
- 北田宮4
- 南田宮3
- 南田宮4

- 北田宮2
- 北田宮1
- 北田宮3
- 北田宮4
- 南田宮3
- 南田宮4

- ワークスタッフ田宮プール・陸上競技場をもっと多くの人が利用しやすいように
- 公園の整備(子どもの遊具)

津波による田宮川の増水

- 北佐古二番町
- 南田宮2
- 南田宮3
- 南田宮4



G:加茂地区

市民ワークショップ

地域区分	G:佐古・加茂・加茂名
開催日時	令和3年11月26日 19時00分～
場所	加茂コミュニティセンター

②住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

- 緑や田園を活かしたまちづくり
- 地域のつながりを増やす協議体を作ってほしい
- 地域の活動に若い人がもっと参加出来る様な地域になれば良い
- 田宮街道と交通安全
- 子どもが進べる所にしてほしい
- この地区は文教地区で学生が多い
- 高齢者にやさしいまちに



加茂地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 地域コミュニティが充実
 - ・加茂地区の各種行事に住民が協力的である
 - ・福祉もちつき、全町運動会、夏まつり、文化祭
 - ・人々が優しい
- 教育・文化の充実
 - ・学校や教育施設が充実している
 - ・学園都市（高校が4校あり）
 - ・スポーツや文化活動が盛んである
 - ・煙硝蔵
- 利便性が高く生活しやすい
 - ・医療施設や量販店が多くて便利
 - ・県道30号線開通で交通の便が良い
 - ・JR徳島駅、佐古駅が近い
 - ・車による東西南北への移動がしやすい

【地域に起こっている変化や課題】

- コミュニティの活性化が必要
 - ・住民は増加しているが、町内会等への加入者が少ない
 - ・新規住民との触れ合いが少ない
 - ・住民の連携がない
- 地域環境の改善が課題
 - ・ルール通りにゴミ出しをしてほしい
 - ・下水工事の推進
 - ・土手の雑草除去
 - ・空き家や休耕地の急増
 - ・休耕地が増え、雑草がたくさん茂っている
- 道路環境整備が課題
 - ・県道30号線の拡幅後、狭い道路を迂回路として利用する車両が急増している
 - ・土地開発の問題点（計画的な開発）
 - ・狭い道路の拡張
- 浸水対策の充実が必要
 - ・水害のない地区にしたい
 - ・津波による田宮川の増水対策
- 公園の整備
 - ・陸上競技場、田宮公園プールを利用しやすい施設に
 - ・公園の整備（子どもの遊具）

【住みたいまちのイメージ】

- 緑を活かした住みやすいまち
 - ・緑や田園を活かしたまち
- 地域コミュニティが活発なまち
 - ・地域の活動にもっと若い人が参加できるような仕組みを
 - ・地域のつながりを増やす協議体の設置
 - ・天神社等での日曜市や農産市の開催
 - ・高齢者にやさしいまち
- 子どもにやさしい学生のまち
 - ・子どもが遊べる場所があるまち
 - ・学生の多い文教地区
 - ・令和3年4月に開校した全国初の県立夜間中学校「しらさぎ中学校」の生徒数増加
- 公共交通や道路網の整っているまち
 - ・田宮街道
 - ・JR駅の新設（加茂コミセン付近）

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・子育てしやすい環境づくり
(子育て施設や身近な公園の充実)
 - ・空き家、空き地の有効活用（高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用）
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・若者と高齢者が交流、連携する仕組みづくり
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・学校と連携した地域の活性化
 - ・既存施設を活用したイベント（産直市等）によるにぎわいづくり

G:加茂名地区

市民ワークショップ

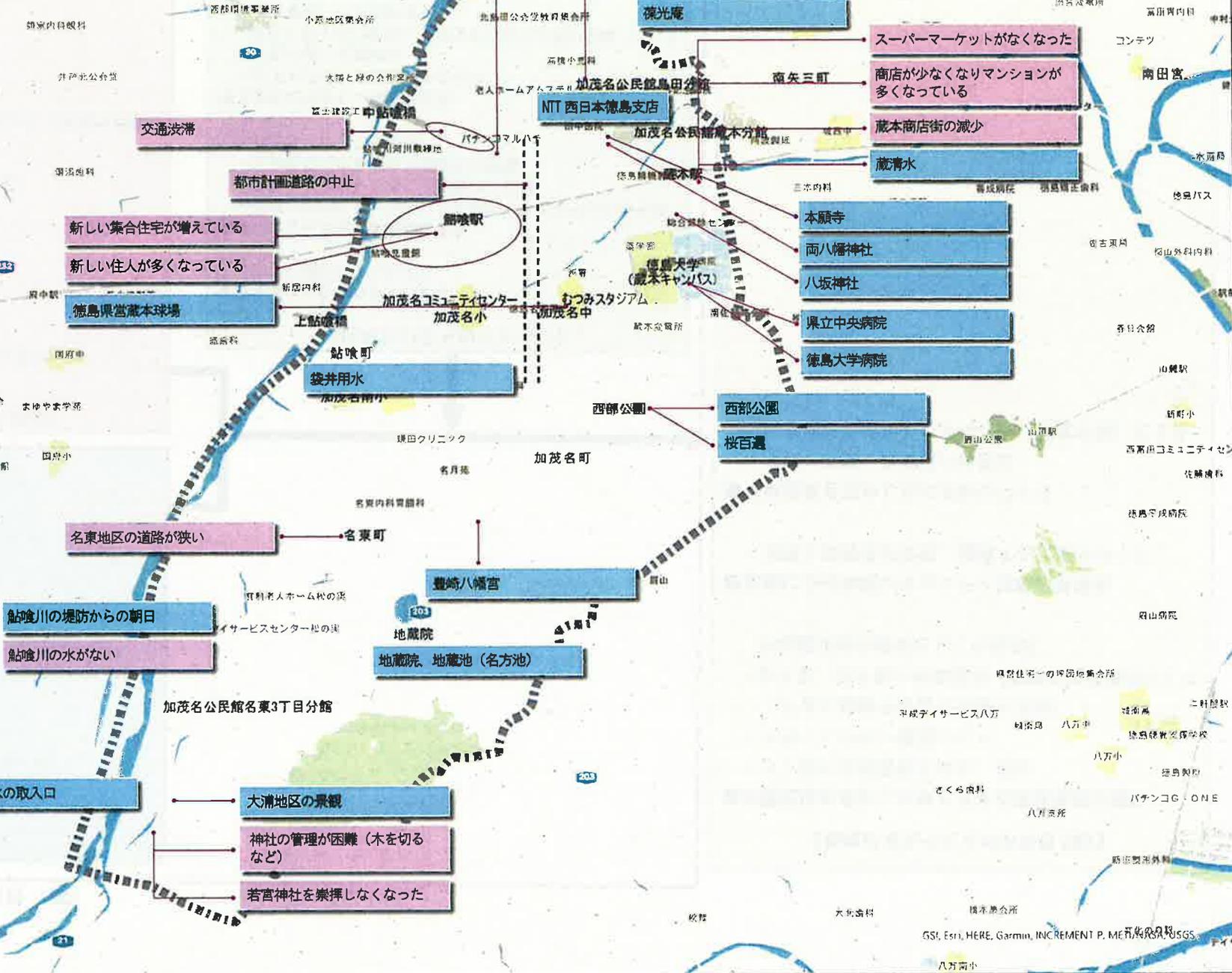
① 地域の魅力・資源、課題

地区全体に関する意見

- 集合住宅の一人暮らしが多い
- 世代交代が起こっているが、引継者がいない
- 空き家が多く、増加している
- 自分さえ良ければいいと思う人が多くなった
- 一人暮らしの老人が多い
- 町内会に入る人が少ない(若い人も高齢者も)
- 若い人の減少
- 子どもの減少
- 農地の減少

地域区分	G:佐古・加茂・加茂名
開催日時	令和3年11月26日 19時00分～
場所	加茂コミュニティセンター

特養老人ホーム美園
国府リハビリテーションフェニックス



交通渋滞

都市計画道路の中止

新しい集合住宅が増えている

新しい住人が多くなっている

徳島県営蔵本球場

加茂名公民館島田分館

加茂名公民館蔵本分館

加茂名小

加茂名中

加茂名南小

加茂名東小

加茂名東3丁目分館

加茂名東小

加茂名東小

加茂名東小

加茂名東小

加茂名東小

加茂名東小

NTT 西日本徳島支店

加茂名公民館島田分館

加茂名公民館蔵本分館

加茂名小

加茂名中

加茂名南小

加茂名東小

加茂名東3丁目分館

加茂名東小

スーパーマーケットがなくなった

商店が少なくなりマンションが多くなっている

蔵本商店街の減少

蔵清水

本願寺

両八幡神社

八坂神社

県立中央病院

徳島大学病院

西部公園

桜百選

豊崎八幡宮

地蔵院

地蔵院、地蔵池(名方池)

大溝地区の景観

神社の管理が困難(木を切るなど)

若宮神社を崇拝しなくなった

金魚池 水の取入口

名東地区の道路が狭い

鮎喰川の堤防からの朝日

鮎喰川の水がない

加茂名公民館名東3丁目分館

加茂名東小

加茂名東小

加茂名東小

加茂名東小

加茂名東小

加茂名東小

加茂名公民館島田分館

加茂名公民館蔵本分館

加茂名小

加茂名中

加茂名南小

加茂名東小

加茂名東3丁目分館

加茂名東小

スーパーマーケットがなくなった

商店が少なくなりマンションが多くなっている

蔵本商店街の減少

蔵清水

本願寺

両八幡神社

八坂神社

県立中央病院

徳島大学病院

西部公園

桜百選

豊崎八幡宮

地蔵院

地蔵院、地蔵池(名方池)

大溝地区の景観

神社の管理が困難(木を切るなど)

若宮神社を崇拝しなくなった

金魚池 水の取入口

G:加茂名地区

市民ワークショップ

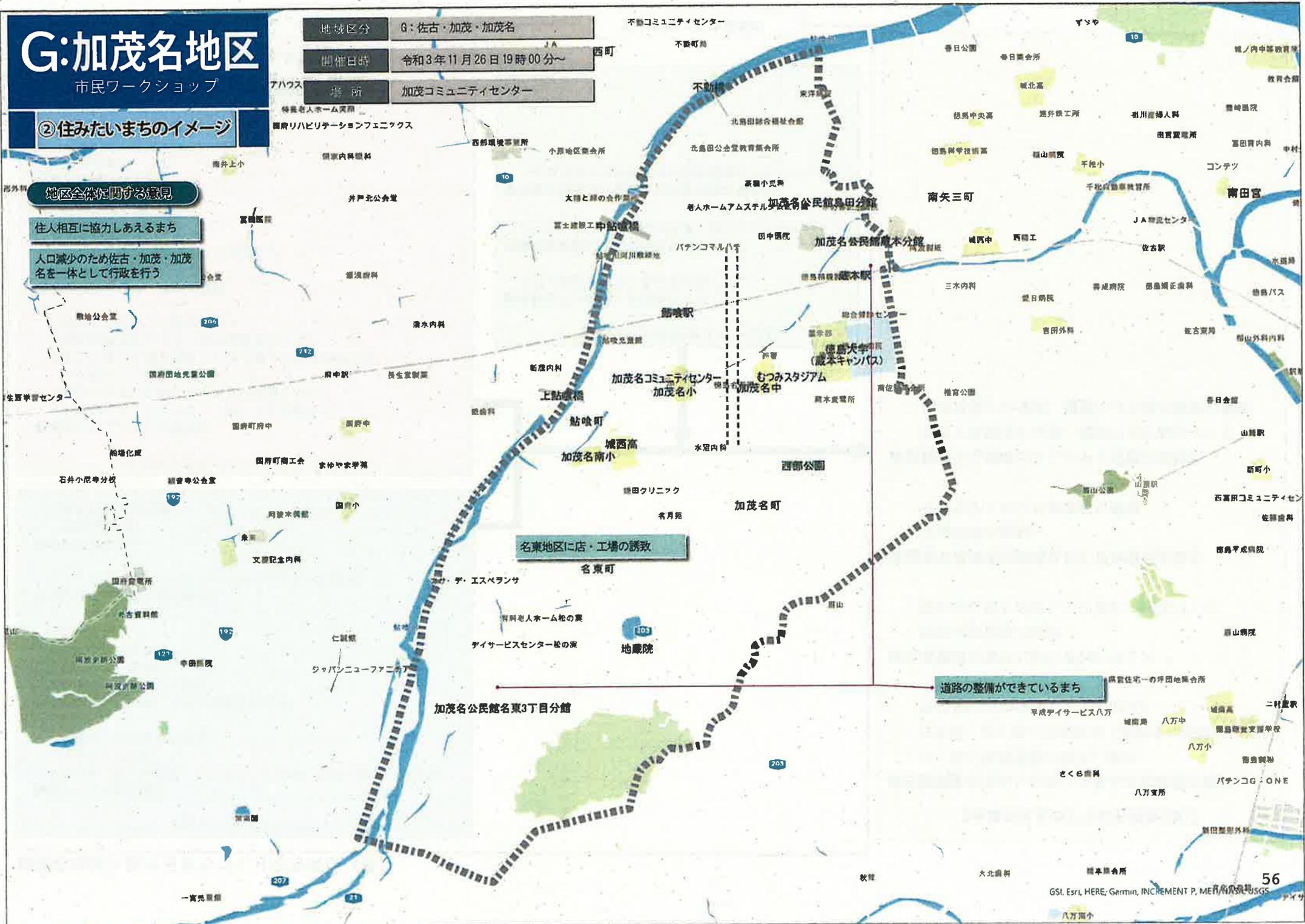
地域区分	G:佐古・加茂・加茂名
開催日時	令和3年11月26日 19時00分～
場所	加茂コミュニティセンター

②住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

住人相互に協力しあえるまち

人口減少のため佐古・加茂・加茂名を一体として行政を行う



名東地区に店・工場の誘致
名東町

道路の整備ができています

加茂名地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 歴史文化資源がある
 - ・篠光庵、両八幡神社、八坂神社、本願寺、豊崎八幡宮、蔵清水
 - ・大浦地区の景観
 - ・地蔵院、地蔵池（名方池）
- 豊かな自然と公園、スポーツ施設がある
 - ・鮎喰川の堤防からの朝日
 - ・袋井用水、金魚池
 - ・西部公園、桜百選
 - ・徳島球場
- 利便性の高い商業施設がある
 - ・ショッピングプラザタクト、ダイレックス島田店
- 中核病院がある
 - ・徳島大学病院
 - ・徳島県立中央病院

【地域に起こっている変化や課題】

- 地域コミュニティの活性化
 - ・町内会に入る人が少ない（若い人も高齢者も）
 - ・自分さえ良ければいいと思う人が多くなった
 - ・一人暮らしの高齢者が多い
 - ・新しい集合住宅が増えている（新しい住民が増えた）
 - ・世代交代が起こっているが後継者がいない
 - ・子ども、若い人の減少
- 地域環境の維持・保全が課題
 - ・空き家の増加
 - ・神社の管理が困難（木々の伐採など）
 - ・農地の減少
 - ・鮎喰川の水量が減少
- 道路交通環境の改善
 - ・交通渋滞
 - ・名東地区の道路が狭い
 - ・都市計画道路が中止されている
- 日常の買物等の生活利便施設の充実が課題
 - ・蔵本商店街の衰退
 - ・蔵本駅周辺のスーパーマーケットがなくなった

【住みたいまちのイメージ】

- 地域コミュニティが活発なまち
 - ・住人相互が協力しあえるまち
- 地域間連携による協力体制のあるまち
 - ・佐古、加茂、加茂名地区を一体として行政を行う
- 道路交通環境が整備された安全安心なまち
 - ・名東地区や公民館周辺の道路整備ができているまち

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・空き家、空き地の有効活用（高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用）
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用
 - ・豊かな自然を活用したにぎわい拠点づくり
- 道路交通環境が整備された安全安心なまち
 - ・交通渋滞の解消
 - ・歩きやすく広い生活道路の整備
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・若者と高齢者が交流、連携する仕組みづくり
 - ・周辺地域との交流、連携による協力体制の構築

H:内町地区

市民ワークショップ

① 地域の魅力・資源、課題

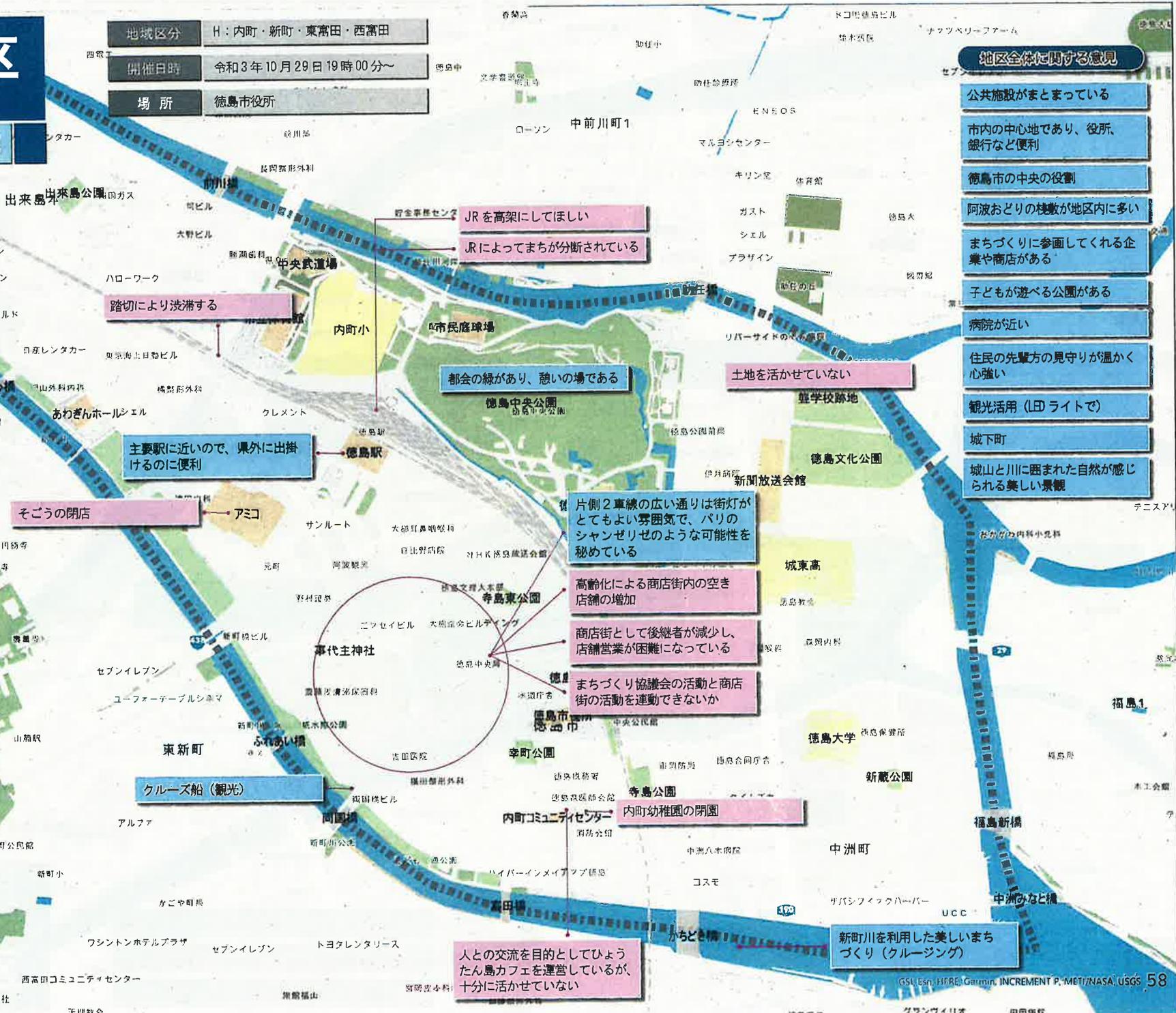
地区全体に関する意見

- 教育機関の整備をしてほしい
- 認定こども園がまだできていない
- 近くにスーパーがなく、日用品の買い物が不便
- 車に乗れなくなった時に、買物をする場所が近くにない
- 高齢者が多くなり地域の担い手づくりに課題がある
- 地域活動の発信力の不足
- マンションが多くなってきている
- 空家、空店舗が増えている
- 公園が少ないので子供たちが遊べる場所が欲しい

地域区分	H:内町・新町・東高田・西高田
開催日時	令和3年10月29日 19時00分~
場所	徳島市役所

地区全体に関する意見

- 公共施設がまとまっている
- 市内の中心地であり、役所、銀行など便利
- 徳島市の中央の役割
- 阿波おどりの枝数が地区内に多い
- まちづくりに参画してくれる企業や商店がある
- 子どもが遊べる公園がある
- 病院が近い
- 住民の先輩方の見守りが温かく心強い
- 観光活用 (LED ライトで)
- 城下町
- 城山と川に囲まれた自然が感じられる美しい景観



H:内町地区

市民ワークショップ

② 住みたいまちのイメージ

地区全体に対する意見

教育機関が整備されたまち

ひょうたん島の中で生活が完結できるまちづくり

一年中踊れる恒久的な棟敷が欲しい

デイリーで利用できる生活に密着したスーパーがあり、飲食店、アミューズメント、エンターテインメントが充実したまち

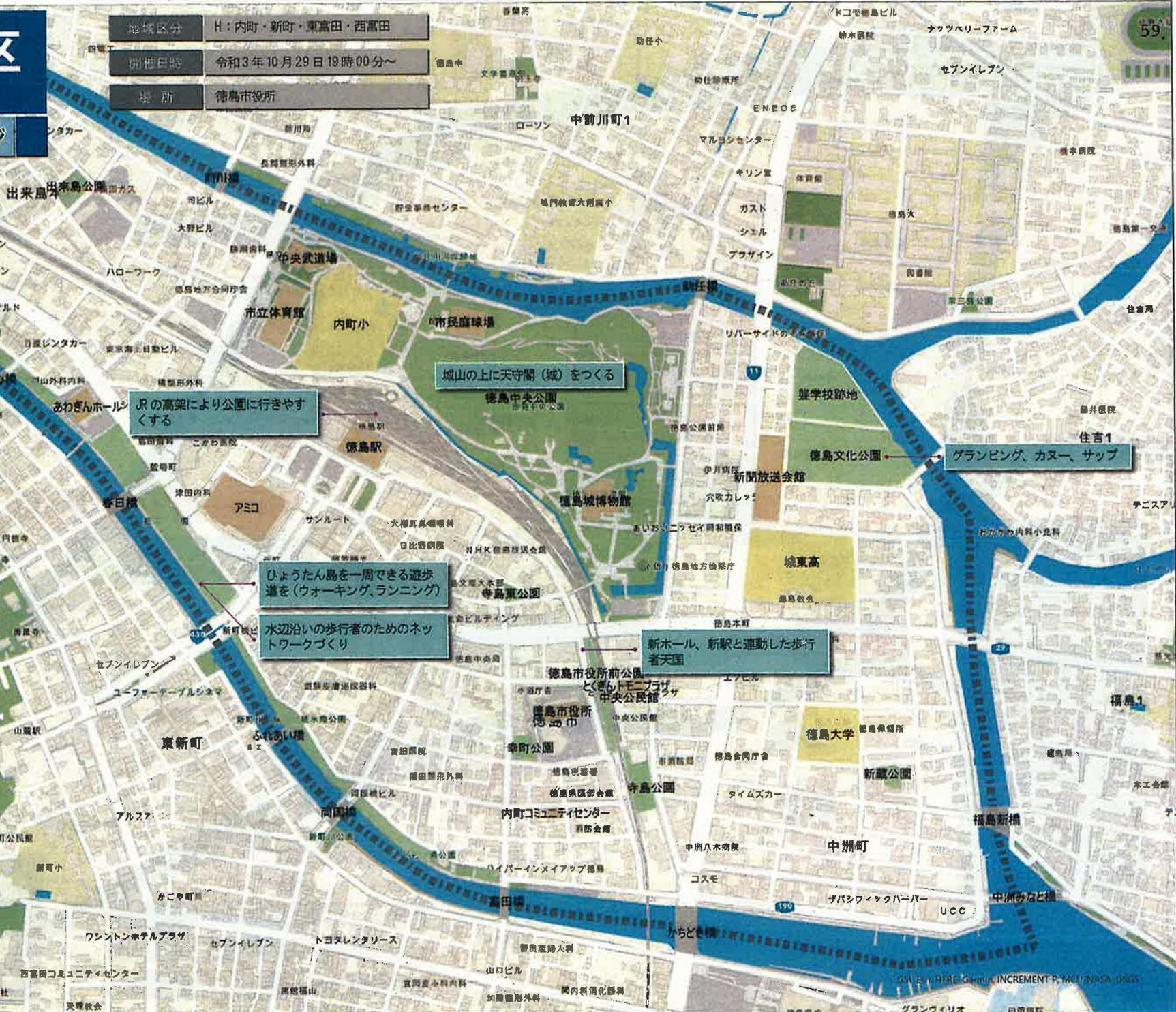
地域の子どもたちを地域の首で見守るまち

新しい人が増えて活性化のチャンスなので、一緒に進めていきたい

2世代、3世代で住めるまち

山や川を活かしたまち
(新たなものは要らない)

地域区分	H:内町・新町・東高田・西高田
開催日時	令和3年10月29日 19時00分～
場所	徳島市役所



城山の上に天守閣(城)をつくる

JRの高架により公園に行きやすくなる

ひょうたん島を一周できる遊歩道を(ウォーキング、ランニング)

水辺沿いの歩行者のためのネットワークづくり

新ホール、新駅と連動した歩行者天国

グランピング、カヌー、サップ

内町地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 利便性が高く生活しやすい
 - ・ 公共施設、銀行、病院などが近くにあり便利
 - ・ 徳島駅に近く、県外への移動に便利
- 水と緑の景観資源
 - ・ 城山と川に囲まれた美しい景観、身近な自然としての価値
 - ・ 徳島中央公園は、都心の貴重なみどりであり憩いの場
 - ・ 両国通りは街灯の雰囲気が非常によい
 - ・ 子どもが遊べる公園がある
- 観光、交流資源が優れている
 - ・ 新町川のクルーズ船、夜間のライティング
 - ・ 阿波おどりの棧敷席
 - ・ 城下町
- 地域住民等とのつながりが強い
 - ・ まちづくりに参画してくれる企業や商店がある
 - ・ 新しい住民が増え活性化のチャンス

【地域に起こっている変化や課題】

- JR高架事業の停滞
 - ・ 鉄道により地区が分断されている
 - ・ 花畑踏切の渋滞
- 子育て環境の充実
 - ・ 教育機関が少ない（内町幼稚園の閉園、認定こども園の未整備）
 - ・ 公園など子どもの遊び場が少ない
- 商業施設の不足
 - ・ 近くにスーパーがなく、日用品の買い物が不便
 - ・ そごうの閉店
 - ・ 商店街の後継者が減少し店舗営業が困難、空き店舗の増加
- 観光・交流機能の不足
 - ・ ひょうたん島カフェの活用を
 - ・ 土地（豊学校跡地、徳島文化公園）の活用を
- まちづくりの担い手の活性化
 - ・ まちづくり協議会と商店街の連携不足
 - ・ 高齢化によるまちづくりの担い手不足
 - ・ 地域活動の発信が不十分

【住みたいまちのイメージ】

- 地域資源を活かした観光・交流拠点の形成
 - ・ ひょうたん島を一周できる遊歩道の整備によるネットワークの形成
 - ・ 飲食店、アミューズメント、エンターテインメントの充実
 - ・ 通年観光に活用できる恒久的な棧敷
 - ・ 新ホールへのアクセス利便性の強化（新駅設置や徳島駅に連絡する道路整備による歩行者優先の道づくり）
 - ・ グランピング、カヌー、サップなどのアクティビティの充実
 - ・ 歴史文化拠点としての城山の機能充実（天守閣の再建等）
- 身近に生活サービスを楽しむまち
 - ・ ひょうたん島の中で生活が完結できるまち
 - ・ 生活に密着したスーパー等の商業施設の充実
- 安心して子育てできるまち
 - ・ 地域の子どもを地域の皆で見守るまち
 - ・ 教育機関が充実したまち
 - ・ 多世代で住めるまち

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 鉄道の高架化を見据えた駅周辺のまちづくり
 - ・ 眉山～徳島駅～徳島中央公園のシンボル軸形成
 - ・ （鉄道で分断された）南北の市街地の一体化
 - ・ 広域的な商業機能の充実
 - ・ 商店街の活性化
- 生活利便性の充実とまちなか居住の推進
 - ・ 身近な商業機能の充実
 - ・ 子育てしやすい環境づくり
（子育て施設や身近な公園の充実）
- 水と緑を活かしたまちなか観光、交流空間の充実
 - ・ ひょうたん島の歩行空間のネットワーク化
 - ・ ひょうたん島と地域内の集客拠点のネットワーク化
 - ・ ひょうたん島のにぎわい拠点づくり
 - ・ 徳島中央公園の集客機能の充実
- 新ホールを核としたにぎわいづくり
 - ・ アクセス手段の充実
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・ まちづくり活動団体と商店街の連携
 - ・ 地域コミュニティとマンション入居者の交流、連携

H:新町地区

市民ワークショップ

地域区分 H: 内町・新町・東露田・西露田

開催日時 令和3年10月29日 19時00分～

場所 徳島市役所

① 地域の魅力・資源、課題

地区全体に関する意見

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 新町のイメージがそもそも悪い | スーパーがない |
| 魅力、資源を生かせていない | 買い物不便 |
| まちなかが暗く、不安 | 居酒屋が増えてきた |
| 高齢者が多い | 賑わっていた頃をもう一度という声は非常に多い |
| 若い人の集客が出来ていない | 店舗減少 |
| 中高生の子が訪れない | 小売店が少なくなって飲食店が増えた |
| 来る用事がない | 飲食店の増加により物販業の魅力が減少 |
| 来客者がますます減少している | 魅力的な商店が少なくなっている |
| 家賃が高い | 最寄店が少なくなっている |
| 新規出店が少ない
家賃相場がずれている | 空き店舗増加 |
| 賃貸、若い人、1Kが多い。 | 少子=学童減少 |
| 駐車場にお金がかかる | |
| 夜間、昼間にスケーパーする人がいる | |
| マンション(賃貸)などの入居者が少ない | |

地区全体に関する意見

地価の値段が下がり、マンション(分譲)が増えて、人口も増えている

- アーケードが20時で消灯してしまう、暗い、怖い
- アーケードがあることで車が通れない
- アーケードは民間、道は市道

- 眉山(大滝山)
- 眉山山頂からの夜景
- 雄大な眉山 ロープウェイ

- 新町川
- 天神さん
- 阿波おどり会館
- お盆になると、阿波踊りの中心になる
- 阿波銀ビルが出来た
- 市営地下駐車場

- 全天候型のアーケード
- 新町エリア 商店街
- マルシェ的な朝市(ボードウォーク)

- 新町小学校が全部で90人になってしまった
- 新町幼稚園の閉園

H:新町地区

市民ワークショップ

②住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

歩いて暮らせる生活

まちなかで買い物ができる

SNS 対策（活用して発信が必要）

普段使いの出来る町

にぎわいをとりもどす→人流

若い方に好まれる町にしたい
(10代~30代)

誰でも受け入れる土壌

小売店が増えればいい

レトロ&おしゃれな雰囲気

中心地ならではの上品さ

地域区分 H：内町・新町・東富田・西富田

開催日時 令和3年10月29日 19時00分~

場所 徳島市役所



新町地区におけるまちづくりの方向性（案）

【地域の魅力や資源】

- 水と緑の景観資源
 - ・雄大な眉山、眉山山頂からの夜景、眉山のロープウェイ、大滝山
 - ・新町川、マルシェ的な朝市（ボードウォーク）
- 歴的文化資源が充実している
 - ・眉山の天神さん
 - ・阿波おどり会館
 - ・お盆は阿波おどりの中心になる
- 身近な商業機能が充実している
 - ・新町エリアの商店街、全天候型のアーケード
 - ・阿波銀プラザができた
- 観光客や近隣の来街者の利便性が確保されている
 - ・市営地下駐車場がある
- 人口が増えている
 - ・地価が下がり、分譲マンションの建築が増えて、人口も増えている

【地域に起こっている変化や課題】

- 安心で明るい新町のイメージの創出
 - ・新町のイメージがそもそも悪い
 - ・まちなかが暗く、不安を感じる
 - ・夜間、昼間にまちなかでスケボーする人がいる
- 地域資源の有効活用
 - ・地域の魅力、資源が活かせていない
 - ・若い人の集客ができていない
- 若い人や子育て世代が住みやすい住環境の整備
 - ・家賃が高い
 - ・家賃が高く、若い人が借りられるのは1Kが多い
 - ・マンション（分譲）等の入居者が少ない
- 教育環境の整備
 - ・新町幼稚園の閉園
 - ・新町小学校が児童数90人になってしまった
 - ・少子化、学童減少
- 商店街の活性化、商業施設の利便性向上
 - ・アーケードが20時で消灯する
 - ・アーケードがあることで車が通れない
 - ・スーパーや物販店等の最寄店が少なくなっており、買い物不便
 - ・家賃相場が高く、新規出店数が少ない
 - ・飲食店、居酒屋の増加
 - ・空き店舗の増加
 - ・魅力的な商店が少なくなっている
 - ・にぎわっていた頃をもう一度、という声が非常に多い
- 来街者が来やすい環境整備
 - ・来客者が減少
 - ・駐車場が有料

【住みたいまちのイメージ】

- にぎわいのあるまち、歩いて楽しいまち
 - ・歩いて暮らせるまち
 - ・まちなかで買い物ができる
 - ・にぎわいを取り戻し、人の流れを増やす
 - ・今のニーズにあった商店街
 - ・レトロ&おしゃれ
 - ・中心地ならではの上品さ
 - ・小売店が増えればいい
- 若い人が住みたくなる、来たくなるようなまち
 - ・SNS対策（SNSを活用し発信）
 - ・若い人（10代～30代）に好まれるまちにしたい
 - ・誰でも受け入れる土壌が必要

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 中心部活性化によるにぎわいのあるまち
 - ・既存の商店街の活性化
 - ・周辺住民も来街者も楽しめるにぎわいのある商店街づくり
 - ・若者が住みたくなる、来たくなるまちづくり
- 生活利便性の充実とまちなか居住の推進
 - ・マンション等のまちなか居住の誘導
 - ・子育てしやすい環境づくり（子育て施設や教育環境の充実）
- 水と緑、歴史を活かしたまちなか観光、交流空間の充実
 - ・水辺の歩行者空間のネットワーク化
 - ・水辺や地域内の集客拠点のネットワーク化
 - ・眉山の環境保全、充実（ロープウェイ、大滝山）
 - ・阿波おどりを中心としたにぎわいづくり

H:東富田地区

市民ワークショップ

① 地域の魅力・資源、課題

地域区分 H:内町・新町・東富田・西富田

開催日時 令和3年10月29日19時00分～

場所 徳島市役所

地区全体に関する意見

親、子ども、まちを巻き込んだ
運営方法

子どもたちと地域活動を実施

新富川や眉山に囲まれて変化が
あり、景色がいい

自転車での移動が便利なまち

住みやすく、便利なまち

公園が多い

保育園の子どもが公園を使っている

小学校、幼稚園、保育所がある

たけのぼこら (歴史資源)

駅がある

学生は公共交通機関を使っている

鉄道利用者が減ったうえ、
線路が地域を分断

踏切が8つあり、危険で渋滞
している

鉄道高架の計画に戦略がない

バス、電車で乗っていない

コミュニティセンター
が手狭になっている

地区全体に関する意見

歩道の路面状況が悪い

スーパーが減少 (買い物の不便)

横断歩道の白線が見えない

徒歩では買い物に行けない

横断歩道に水がたまりやすい

人口密度が非常に高い

道路がせまくて危険

信号を守らない

老人が多い

街路樹の根でつまづく

老人のための施設がない

街路樹が大きい

若い夫婦が少ない

街路樹のせいで、点字ブロック
がガタガタになっている

若い人が地域から出て
高齢者が増えている

排水が悪い

小学生、子どもが少ない

公園で子どもが遊んでいない

土地の値段が高い

民間保育所の人数が増えてきて
いる

空き地、空き家の増加

人材不足

コインパーキング
駐車場が増えた

里に働きに来ている人であるため、
地元で賃賃がない人もいる

マンションが増加し、コミュニ
ケーションが不足

町内会の活動低下

消防団もあるが働く世代は職場に
いるため団員が少ない

東富田地区におけるまちづくりの方向性 (案)

【地域の魅力や資源】

- 利便性の高い住環境
 - ・ 便利で住みやすい
 - ・ 駅がある
 - ・ 公園が多い
 - ・ 自転車での移動が便利
- 保育、教育施設が充実している
 - ・ 小学校、幼稚園、保育所がある
- 歴史文化資源がある
 - ・ たぬきのほこら等の歴史資源がある
- 水と緑の景観資源が優れている
 - ・ 新町川や眉山に囲まれていて景色がいい
 - ・ 川沿いや公園が散歩に最適

【地域に起こっている変化や課題】

- 歩行しやすい道路の整備
 - ・ 横断歩道に水がたまる
 - ・ 街路樹で路面が凸凹になっておりつまづく
 - ・ 点字ブロックの維持管理
 - ・ 歩道の路面状況が悪い
 - ・ 信号を守らない
 - ・ 排水が悪い
 - ・ 横断歩道の白線が見えない
- 空き家、空き地の有効活用
 - ・ 空き家、空き地の増加
 - ・ 駐車場の増加
- 公共交通の整備
 - ・ 踏切が8つあり危険、渋滞
 - ・ 鉄道高架の計画に戦略がない
 - ・ 鉄道利用者の減少
 - ・ 線路が地域を分断している
- 魅力的な地域の形成
 - ・ 土地（地価）が高い
 - ・ 働くために来ているだけの人もおり、地元へ愛着がない人も多い
- 子育てのしやすいまちづくり
 - ・ 公園で子どもが遊んでいない
 - ・ 子どもの減少
 - ・ 若い夫婦が少ない
- 住民間のコミュニケーションの形成
 - ・ マンションの増加により地域のコミュニケーションが不足
 - ・ 町内会の活動低下
 - ・ 消防団員が少ない（働く世代は昼間働いているため）
- 高齢者に優しいまちづくり
 - ・ 高齢者のための施設がない
- 商業施設の不足
 - ・ スーパーの減少（買い物不便）
 - ・ 徒歩で買い物に行けない

【住みたいまちのイメージ】

- いきいきとした中心市街地
 - ・ 中心市街地の活性化
 - ・ 川でイベントを開催
- 子育てのしやすいまち
 - ・ 認定こども園があるまち
 - ・ 子どもが住みやすいまち
 - ・ 歩道が広くてベビーカーが通りやすいまち
- 高齢者に優しいまち
 - ・ 歩道がフラットで歩きやすいまち
 - ・ 高齢者のための施設
- 歴史的・文化資源を活用したまち
 - ・ たぬきのほこらを観光資源として活用
- 安全安心なまち
 - ・ 安全で住みやすいまち
 - ・ コミュニケーションがとりやすい地域
 - ・ 人が集まる場をつくる
 - ・ 災害時に速やかな協力体制があるまち

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の充実とまちなか居住の推進
 - ・ 歩行環境の整備
 - ・ 身近な商業機能の充実
 - ・ 子育てしやすい環境づくり
 - ・ 空き家、空き地対策の推進
- 鉄道の高架化
 - ・ 鉄道により分断された市街地の一体化
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・ 歴史文化資源の活用
 - ・ 水辺を活かした交流空間の形成
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・ 住民間のコミュニケーションの充実
- 安全安心なまちの実現
 - ・ 災害時に協力体制があるまち
 - ・ 消防団員の増加

西富田地区におけるまちづくりの方向性(案)

【地域の魅力や資源】

- 歴史文化資源が保全されている
 - ・歴史的な施設等すばらしいものがある
(八幡神社、国瑞彦神社、観音寺)
 - ・江戸時代からの歴史あるまち、城下町西富田
 - ・眉山麓の寺社仏閣を連動して観光地に
 - ・権現造り(観音寺)
 - ・忍者の歴史
 - ・モラエスの住居跡
- 自然環境が保全されている
 - ・自然豊かな眉山の有効な活用
 - ・眉山のざくろ石、青石、茂助ヶ原
- 良好な住環境が保全されている
 - ・落ちつきのある住宅街

【地域に起こっている変化や課題】

- 町内会活動や地域コミュニティの活性化
 - ・町内会の集まりが少ない
 - ・後継者が少ない
 - ・人間関係の希薄化
- 自然災害への対応
 - ・土砂災害の危険性
 - ・避難路の見直し
- 自然環境の保全
 - ・眉山の登り口や登山道の整備
 - ・山際なので虫、動物が多い
- 道路交通環境の整備
 - ・一方通行が多い
 - ・交差点の見通しが悪い
 - ・狭い道の電柱をどうにかしてほしい
- 公共交通の充実
 - ・バスの本数が少ない
- 若者世代の定住を目的とした仕組みづくり
 - ・少子化の進行
 - ・若い人が住んでくれない
 - ・住みやすいが働く場所がない
 - ・土地の価格が高い
- 高齢者が暮らしやすい地域づくり
 - ・高齢化の進行
 - ・独居の高齢者が多い
 - ・病気やケガの増加
 - ・高齢化に伴う社会移動の停滞化
- 日常の買物等の生活利便施設の充実
 - ・買い物に困っている
- 空き家、空き地の有効活用
 - ・まちなかが空洞化し、空き家、空き地、駐車場が増加

【住みたいまちのイメージ】

- 地域資源を活かした観光、交流拠点の形成
 - ・サイクリング、ランニング、ウォーキングの拠点となる施設
 - ・眉山中腹の銭湯
 - ・眉山でアスレチック場、オートキャンプ場
 - ・石の博物館
- 多世代交流が活発なまち
 - ・空き部屋を有効活用した子どもや高齢者の交流
 - ・多世代交流のできるまち
 - ・若者が住みたくなるまち
- 高齢者に優しいまち
 - ・主治医が近くに確保できる
 - ・高齢者に対しサポートのできるまち
- 身近に生活サービスを受用できるまち
 - ・大型商業施設が近くにある
 - ・公共交通を中心とした利便性の確保
- 地域の魅力の積極的な情報発信
 - ・歴史のまちを看板、マンホールでPR
 - ・眉山の歴史を市民に知ってもらう

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 生活利便性の充実とまちなか居住の推進
 - ・身近な商業機能の充実
 - ・まちなか居住の誘導
 - ・子育てしやすく、若者が住みやすい環境づくり
(子育て施設や身近な公園の充実)
 - ・高齢者に優しいインフラ、交通環境の整備
 - ・空き家、空き地の有効活用(多世代交流の場等としての活用)
- 地域資源を活用したにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源の活用
 - ・眉山を活かした地域の活性化(アウトドア施設等)
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・若者と高齢者が交流、連携する仕組みづくり

I:八万地区

市民ワークショップ

地域区分	I:八万・勝占
開催日時	令和3年11月22日 19時00分～
場所	八万中央コミュニティセンター

①地域の魅力・資源

地区全体に関する意見

スーパーがたくさんあり買い物を近くで済ませることができる

新しい店があり人が集まりやすい

道路が広がって子どもたちが通学に使ってくれるようになり、子どもの声が聞こえて地域の雰囲気良くなった

幼小中高大まである文教のまち

病院が近くにある

避難場所が多い

町民体育祭がある。
1,000名が参加する(14チームの対抗戦)

住みやすいので人口が増えている

豊かな自然(山、川、海)が広がっている

黒岩神社の景観

眉山のハイキングコース

子どもの見守りカメラが設置されている

若い人が増えてきている

神社の秋祭りによってコミュニケーションがとれる

秋には祭りがあり、神輿が出る。
(昨年、今年はコロナのため中止)

鉄道があり市バスが通り交通便利

近所づきあいがある

あじさいロード

園瀬川の清流がある

風光明媚

豊かな自然

緑が多い

文化の森総合公園がある



I : 八万地区

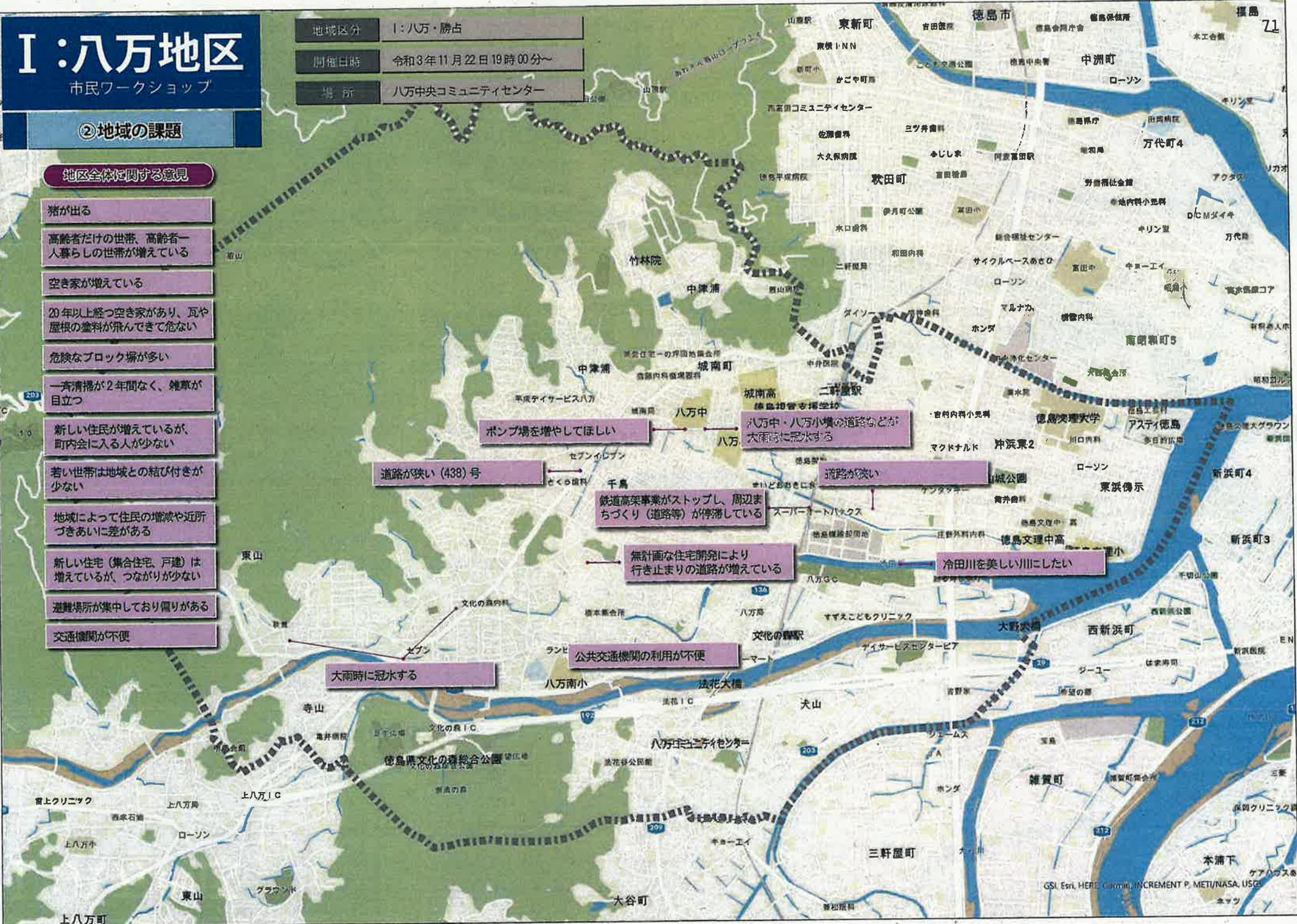
市民ワークショップ

地域区分	1:八万・勝占
開催日時	令和3年11月22日 19時00分～
場所	八万中央コミュニティセンター

②地域の課題

地区全体に関する意見

- 猪が出る
- 高齢者だけの世帯、高齢者一人暮らしの世帯が増えている
- 空き家が増えている
- 20年以上経つ空き家があり、瓦や屋根の塗料が飛んできて危ない
- 危険なブロック塀が多い
- 一斉清掃が2年間なく、雑草が目立つ
- 新しい住民が増えているが、町内会に入る人が少ない
- 若い世帯は地域との結び付きが少ない
- 地域によって住民の増減や近所づきあいに差がある
- 新しい住宅（集合住宅、戸建）は増えているが、つながりが少ない
- 遊戯場が集中しており偏りがある
- 交通機関が不便



ポンプ場を増やしてほしい

八万中・八万小橋の道路などが大雨時に冠水する

道路が狭い(438)号

道路が狭い

鉄道高架事業がストップし、周辺まちづくり(道路等)が停滞している

無計画な住宅開発により行き止まりの道路が増えている

冷田川を美しい川にしたい

大雨時に冠水する

公共交通機関の利用が不便

I : 八万地区

市民ワークショップ

地域区分	I : 八万・勝占
開催日時	令和3年11月22日 19時00分～
場所	八万中央コミュニティセンター

③住みたいまちのイメージ

地区全体に関する意見

- 町民全体が町内会に入会する
- 安全・安心の地域
- 通学路の安全
- 子ども達が安心して学校に登校できる
- 暮らしやすいまち
- 子育てしやすいまち
- 高齢者が楽しく住めるまち
- 年を取っても自分の家を中心にコンパクトに用が足せるような施設が整ったまち
- 歩道が整備されたまち
- 車の免許を返納しても電動バイク等で近所に移動できるまち
- 近所の人と適度な距離を取った付き合いができる安心感を持てるまち
- 地域社会とのつながりが強いまち
- つながりが出来て近所付き合いが増えるまち
- エコステーションを作ってほしい



八万地区におけるまちづくりの方向性(案)

【地域の魅力や資源】

- 豊かな自然環境がある
 - ・眉山のハイキングコース
 - ・園瀬川の清流
 - ・風光明媚
 - ・文化の森総合公園
 - ・あじさいロード
 - ・山、川、海が広がっている
- 生活利便性が高い
 - ・鉄道、市バス路線により交通便利
- 住みやすい環境がある
 - ・住みやすく、人口が増えている
 - ・若者の流入がある(沖浜)
- 商業施設が充実している
 - ・スーパーが多い
 - ・新しい店があり人が集まりやすい
 - ・買物を近くで済ませることができる
- 歴史文化資源がある
 - ・黒岩神社の景観
- 防犯・防災体制が整っている
 - ・子どもの見守りカメラ設置
 - ・避難場所が多い
- 教育施設が充実している
 - ・文教のまち(幼・保・小・中・高大学が集まっている)
- 地域コミュニティの充実
 - ・町民体育祭(1000人規模)
 - ・近所付き合いがある
 - ・秋には祭りがあり神輿が出る
- 文化施設が整っている
 - ・文化施設が多い(文化の森総合公園、アスティとくしま)

【地域に起こっている変化や課題】

- 地域コミュニティの活性化
 - ・新しい住民は増えているが、町内会に入る人が少ない
 - ・若い世帯や新しい世帯は地域との結び付きが少ない
- 子育てしやすい環境
 - ・住宅が増えているが、子どもは少ない
- 単身世帯が増加傾向にある
 - ・高齢者だけの世帯、単身高齢者世帯の増加(若い人と同居している人が少ない)
- 空き家の増加
 - ・危険な空き家の存在
 - ・危険なブロック塀が多い
- 道路整備、公共交通機関の充実
 - ・宅地開発により行き止まりの道路が増えている
 - ・道路が狭い(沖浜)
 - ・鉄道高架事業のストップによる周辺まちづくり(道路等)の停滞
- 自然環境の保全
 - ・冷田川を美しい川にしたい
 - ・一斉清掃がなく、雑草が目立つ
- 環境対策
 - ・エコステーションの設置を
- 浸水対策
 - ・道路冠水対策(八万小中横)
 - ・ポンプ場の増設を
- 鳥獣被害対策が必要

【住みたいまちのイメージ】

- 安全安心で暮らしやすいまち
 - ・通学路の安全
 - ・交通の安全、道路の狭さの解消(国道438号線)
 - ・高齢者が楽しく住める
 - ・子育てしやすいまち
 - ・子どもが安心して学校に登校できる
 - ・高齢者が自宅中心に生活可能なコンパクトなまち
 - ・歩道が整備されたまち
 - ・運転免許証を返納しても気軽に安全に移動できる
- 地域コミュニティ活動が活発なまち
 - ・八万町全体の町内会をつくる
 - ・つながりができて近所付き合いが増える
 - ・地域社会とのつながりが強いまち
- 自然環境の美しいまち
 - ・文化の森
 - ・園瀬川
 - ・あじさい等の自然を活かした美しいまち

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 豊かな自然環境を活かした快適な定住環境の維持
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・子育てしやすい環境づくり
 - ・環境に配慮したエコステーションの設置
- 歩いて暮らせるまちづくりの推進
 - ・歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり
 - ・子どもや高齢者も安全に歩ける道づくり
- 安全安心なまちの実現
 - ・老朽化した空き家対策の推進
 - ・安全で便利な生活道路の整備
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・若い世代や新しい住民が参加したくなる仕組みづくり
 - ・祭り等の地域活動の支援

勝占地区におけるまちづくりの方向性(案)

【地域の魅力や資源】

- 歴史文化資源や自然が豊か
 - ・歴史的資源がある(護国神社、勝占神社など)
 - ・自然が豊かで自然観察施設(野鳥の観察小屋など)がある
 - ・秋祭り(10月)
 - ・弁天山、登頂証明書(標高6.1m)
 - ・弁天まつり
 - ・大神子海岸、遊歩道の散策
- 利便性が高く生活がしやすい
 - ・店が多く、生活がしやすい
 - ・東西南北の交通の便が良い
 - ・病院が多く安心
- 良好な住環境の保全
 - ・落ち着いた暮らしやすい地域
 - ・大神子団地からの住宅の広がり、静か
 - ・県南や市内のベッドタウン
- 若者の転入増により子ども増加
 - ・若い夫婦が新居を建て移住
 - ・土地が安く入手できる
 - ・地区の西側は人口増加

【地域に起こっている変化や課題】

- 地域コミュニティの活性化及び担い手づくり
 - ・地域コミュニティが築かれない
 - ・新興住宅は多いが町内会がない
 - ・若い世代の地域コミュニティへの不参加
 - ・農業地域の高齢化、後継者問題
- 地域環境の改善が課題
 - ・河川土手のゴミ
 - ・農業用水が深く、危ない
 - ・公園が狭い、少ない、手入れができていない
 - ・アスレチックが使用禁止(大神子公園)
 - ・小学校や保育所のトイレが少ない
- 日常の買物等の生活利便施設の充実が課題
 - ・歩いて行けるスーパーがない
- 道路交通環境の改善
 - ・通学路に歩道がない(国道のみあり)
 - ・宅地周辺は道路が狭く、車が対向できない
 - ・狭あい道路の拡張を
 - ・国道合流の信号待ちが長い
 - ・55号バイパスの大型車通行時の振動
 - ・交通量増加による事故の増加
- 防災対策の充実
 - ・洪水対策の充実を
 - ・浸水しやすい場所が多い
 - ・勝浦川の土手の補強
 - ・川の拡張工事の早期終了を
 - ・海に近いので津波が心配
 - ・川のカーブ箇所での氾濫が心配
 - ・災害時の避難所が分からない
- 空き家、空き地の有効活用
 - ・大神子団地等で空き家が増加
 - ・地権者が分からず活用できない

【住みたいまちのイメージ】

- 水辺や緑が整備されたまち
 - ・水路が整備された水とふれあえる公園(打樋川)
 - ・美しい水のきれいな川に(打樋川)
 - ・広い公園施設のある緑豊かな憩いの場
- 地域コミュニティ活動が活発なまち
 - ・地域の人と助け合いながら、それぞれが心豊かに過ごせるまち
 - ・世代を問わず憩える場所
- 道路・交通環境が整備された安全安心なまち
 - ・車と接触しない遊歩道のあるまち
 - ・通学路の安全なまち

【地域のまちづくりの方向性(案)】

- 田園環境を活かしたゆとりある定住環境の維持
 - ・水と緑の地域景観の保全、創出
 - ・空き家、空き地の有効活用(高齢者の居場所づくりや地域交流の場等としての活用)
 - ・子育てしやすい環境づくり
- 地域資源を活かしたにぎわいづくり
 - ・歴史文化資源や自然が多い環境の活用(護国神社、弁天山、大神子海岸等)
- 浸水リスクの軽減、防災まちづくり
 - ・河川改修等の浸水対策(土手の補強、打樋川の排水)
 - ・避難体制の強化などによる逃げ遅れの防止
- 良好な地域環境の維持
 - ・ゴミのポイ捨て、不法投棄の防止
 - ・美化清掃活動の推進
- 協働による地域コミュニティ活動の活性化
 - ・若い世代が参加したくなる仕組みづくり
 - ・世代を問わず憩える場所づくり

